



平成 27 年度

第 51 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 28 年 5 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は平成27年度第2回目の調査で、県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、昨年11月から12月にかけて、郵送法で実施しました。

具体的内容としては、「高齢者が地域で暮らし続けるための施策」、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」、「道路整備」、「障害者施策」、「地域リハビリテーション」、「環境保全に関する取組」、「食育」、「花の消費」、「人権問題」の9項目について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々に御活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査に御協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成28年5月

千葉県総合企画部長 遠山 誠一

目次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1 高齢者が地域で暮らし続けるための施策について	17
（1）介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向	17
（2）介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか	19
（3）地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、 特に千葉県に求めること	21
2 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて	25
（1）犯罪や防犯に関する主な情報入手源	25
（2）提供してほしい犯罪情報等	27
（3）犯罪に遭わないために心がけていること	29
（4）自主防犯活動（防犯パトロール隊など）参加状況	31
（5）犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むこと	33
3 道路整備について	36
（1）主な道路利用内容	36
（2）千葉県内の道路状況の満足度	38
（3）今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題	40
4 障害者施策について	44
（1）障害のある人に対する支援経験	44
（2）障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見の有無	46
（3）「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」 認知状況	48
（4）「障害者差別解消法」認知状況	50
5 地域リハビリテーションについて	53
（1）リハビリテーションを受けた経験	53
（2）適切なリハビリテーションが提供されたと思うか	55
（3）適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと	57
（4）「地域リハビリテーション」という言葉の認知度	59
（5）「地域リハビリテーション」推進の必要性	61

6	環境保全に関する取組について-----	64
	(1) 普段の生活での取組実施状況 -----	64
	(2) 「次世代自動車」使用状況 -----	71
	(3) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティア活動の参加状況 -----	73
	(4) 太陽光など再生可能エネルギー利用設備の設置状況 -----	75
7	食育について-----	80
	(1) 食育への関心度 -----	80
	(2) 食育に関心を持ったきっかけ -----	82
	(3) 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか -----	84
	(4) 「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、 「食事バランスガイド」参考度 -----	86
	(5) 食を通じたコミュニケーションの実施状況 -----	88
	(6) 直近1年以内での農林漁業体験の参加経験 -----	90
	(7) お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数 -----	92
8	花の消費について-----	95
	(1) 花の購入頻度 -----	95
	(2) 子どもの頃にもっとも近い状況 -----	97
	(3) 花を購入する時 -----	99
	(4) 花を購入しない理由 -----	101
	(5) 花のある暮らしのよいところ -----	103
9	人権問題について-----	106
	(1) 過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたこと-----	106
	(2) 差別や人権侵害を受けた内容 -----	108
	(3) 差別や人権侵害を受けた時の対応 -----	110
	(4) 今まで以上に啓発すべき人権問題 -----	112
	(5) 人権が尊重される社会を実現するために必要な取組-----	114
10	自由回答-----	117
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	123

調査の概要

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

県政の主要課題

- ①高齢者が地域で暮らし続けるための施策について
- ②犯罪のない安全で安心なまちづくりについて
- ③道路整備について
- ④障害者施策について
- ⑤地域リハビリテーションについて
- ⑥環境保全に関する取組について
- ⑦食育について
- ⑧花の消費について
- ⑨人権問題について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）
- (6) 調査時期 平成 27 年 11 月 26 日～平成 27 年 12 月 21 日

4. 調査機関

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,506件
	有効回収数 (C)	1,504件
	無効回収数	2件
回収率	(B / A)	50.20%
有効回収率	(C / A)	50.13%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女個人
 標 本 数 : 3,000 人
 地 点 数 : 市 部 193 地点
 郡 部 7 地点
 計 200 地点
 抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
 さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
 平成27年4月1日現在市制施行の
 地域をさす。



〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満 20 歳以上の人口（平成 27 年 4 月 1 日現在の推定数）に対して、3,000 の標本数を比例配分した。

〔抽 出〕

1. 平成 22 年国勢調査時に設定された調査区を、第 1 次抽出単位となる調査単位として使用した。

2. 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,023,052 600 40	0 0 0	1,023,052 600 40
②葛南地域	1,330,297 750 50	0 0 0	1,330,297 750 50
③東葛飾地域	1,209,953 705 47	0 0 0	1,209,953 705 47
④印旛地域	557,063 315 21	36,628 15 1	593,691 330 22
⑤香取地域	68,624 45 3	31,141 15 1	99,765 60 4
⑥海匝地域	146,091 90 6	0 0 0	146,091 90 6
⑦山武地域	138,872 75 5	42,547 30 2	181,419 105 7
⑧長生地域	77,167 60 4	53,609 30 2	130,776 90 6
⑨夷隅地域	51,571 30 2	15,598 15 1	67,169 45 3
⑩安房地域	106,405 60 4	7,493 0 0	113,898 60 4
⑪君津地域	272,970 165 11	0 0 0	272,970 165 11
計	4,982,065 2,895 193	187,016 105 7	5,169,081 3,000 200

（注）上段は満 20 歳以上の人口（平成 27 年 4 月 1 日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
① 千葉地域	千葉市中央区市場町	15	①	市原市北国分寺台2丁目	15
	千葉市中央区千葉寺町	15		市原市若宮6丁目	15
	千葉市中央区松波1丁目	15		市原市犬成／滝口	15
	千葉市中央区星久喜町	15	② 葛南地域	市川市南八幡1丁目	15
	千葉市中央区仁戸名町	15		市川市菅野2丁目	15
	千葉市中央区蘇我1丁目	15		市川市中山4丁目	15
	千葉市中央区新田町	15		市川市新田2丁目	15
	千葉市花見川区花園2丁目	15		市川市宮久保3丁目	15
	千葉市花見川区幕張町1丁目	15		市川市高谷1丁目	15
	千葉市花見川区宮野木台3丁目	15		市川市市川3丁目	15
	千葉市花見川区作新台8丁目	15		市川市下貝塚1丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市妙典1丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台3丁目	15		市川市大野町3丁目	15
	千葉市稲毛区轟町3丁目	15		市川市本行徳	15
	千葉市稲毛区小仲台6丁目	15		市川市幸2丁目	15
	千葉市稲毛区千草台2丁目	15		市川市押切	15
	千葉市稲毛区小仲台9丁目	15		市川市香取1丁目	15
	千葉市稲毛区小深町	15		市川市新井3丁目	15
	千葉市若葉区桜木5丁目	15		市川市真間4丁目	15
	千葉市若葉区大草町	15		船橋市前原西8丁目	15
	千葉市若葉区みつわ台3丁目	15		船橋市浜町2丁目	15
	千葉市若葉区千城台東4丁目	15		船橋市本町2丁目	15
	千葉市若葉区東寺山町	15		船橋市東船橋1丁目	15
	千葉市緑区辺田町	15		船橋市栄町2丁目	15
	千葉市緑区高津戸町	15		船橋市本中山6丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野2丁目	15		船橋市西船2丁目	15
	千葉市美浜区幸町2丁目	15		船橋市北本町2丁目	15
	千葉市美浜区真砂5丁目	15		船橋市上山町3丁目	15
	千葉市美浜区打瀬2丁目	15		船橋市藤原1丁目	15
	千葉市美浜区高洲1丁目	15		船橋市金杉台1丁目	15
	市原市青葉台4丁目	15		船橋市八木が谷2丁目	15
	市原市五井5430番地	15		船橋市松が丘5丁目	15
	市原市八幡	15		船橋市新高根2丁目	15
	市原市ちはら台東1丁目／2丁目	15		船橋市高根台1丁目	15
	市原市姉崎	15		船橋市習志野台5丁目	15
	市原市中	15		船橋市飯山満町2丁目	15
	市原市五井976番地	15		船橋市習志野1丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
② 葛南地域	船橋市田喜野井4丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市木間ヶ瀬	15
	習志野市津田沼5丁目	15		柏市旭町5丁目	15
	習志野市谷津3丁目	15		柏市十余二／松ヶ崎	15
	習志野市藤崎3丁目	15		柏市亀甲台町1丁目	15
	習志野市花咲1丁目	15		柏市豊四季	15
	習志野市東習志野6丁目	15		柏市松葉町5丁目	15
	八千代市大和田新田	15		柏市増尾4丁目	15
	八千代市米本団地1街区	15		柏市南増尾4丁目	15
	八千代市勝田台1丁目	15		柏市東中新宿4丁目	15
	八千代市八千代台北13丁目	15		柏市西柏台2丁目	15
	八千代市八千代台北4丁目	15		柏市花野井	15
	八千代市大和田新田／萱田町	15		柏市高柳	15
	浦安市北栄1丁目	15		柏市東2丁目	15
	浦安市富士見4丁目	15		流山市宮園3丁目	15
	浦安市美浜4丁目	15		流山市流山3丁目	15
	浦安市今川2丁目	15		流山市駒木	15
③ 東葛飾地域	松戸市竹ヶ花	15		流山市大字東深井	15
	松戸市胡録台	15		流山市平和台5丁目	15
	松戸市古ヶ崎2丁目	15		我孫子市久寺家1丁目	15
	松戸市松戸新田	15		我孫子市天王台2丁目	15
	松戸市二十世紀が丘萩町	15		我孫子市中峠	15
	松戸市栄町5丁目	15		我孫子市我孫子1丁目	15
	松戸市常盤平柳町	15		鎌ヶ谷市初富本町1丁目	15
	松戸市常盤平3丁目	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷2丁目	15
	松戸市高塚新田388～391番地／紙敷	15		鎌ヶ谷市軽井沢	15
	松戸市新松戸5丁目	15		鎌ヶ谷市中央1丁目	15
	松戸市二ツ木	15	④ 印旛地域	成田市土屋	15
	松戸市小金原2丁目	15		成田市川栗	15
	松戸市五香7丁目	15		成田市三里塚御料	15
	松戸市高塚新田123番地	15		成田市加良部2丁目	15
	松戸市殿平賀	15		佐倉市宮前3丁目	15
	松戸市六高台6丁目	15		佐倉市江原台2丁目	15
	松戸市中根長津町	15		佐倉市臼井田	15
	野田市目吹	15		佐倉市上座	15
	野田市山崎	15		佐倉市井野	15
	野田市宮崎	15		四街道市和良比	15
	野田市岩名1丁目	15		四街道市栗山	15

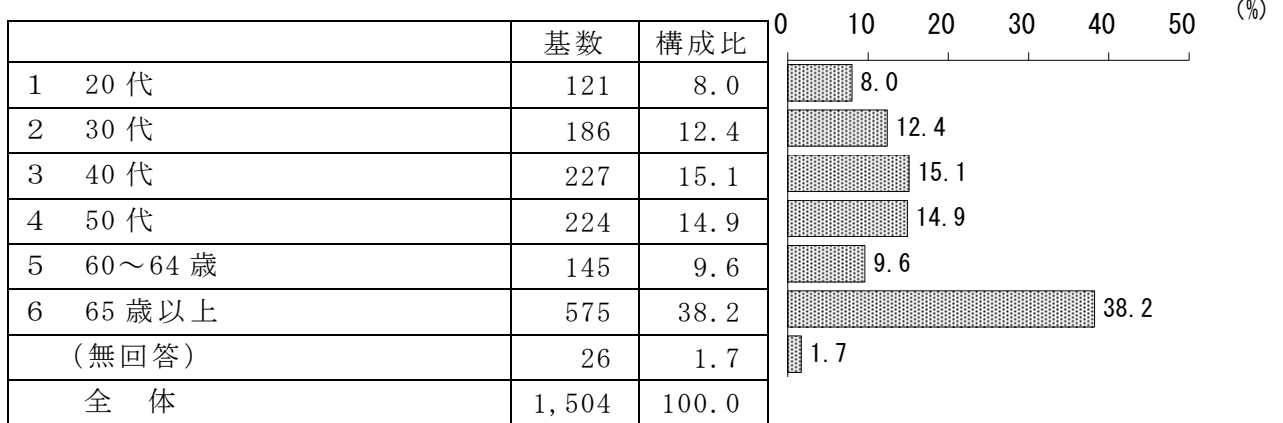
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	四街道市大日	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市出水／墨名	15
	八街市朝日	15		いすみ市榎澤	15
	八街市吉倉	15		夷隅郡御宿町久保	15
	印西市平賀学園台2丁目	15	⑩ 安房地域	館山市中里	15
	印西市原山2丁目	15		館山市北条	15
	印西市高花1丁目	15		鴨川市金束	15
	白井市池の上1丁目	15		南房総市白浜町滝口	15
	白井市西白井3丁目	15	⑪ 君津地域	木更津市清見台南5丁目	15
	富里市根本名	15		木更津市真舟2丁目	15
	富里市日吉台4丁目	15		木更津市岩根3丁目	15
	印旛郡栄町安食2丁目	15		木更津市請西東5丁目	15
⑤ 香取地域	香取市佐原イ／佐原ニ	15		君津市南子安2丁目	15
	香取市入会地	15		君津市北子安6丁目	15
	香取市新里	15		君津市末吉	15
	香取郡神崎町武田／新の全域	15		富津市中	15
⑥ 海匝地域	銚子市君ヶ浜／海鹿島町	15		富津市望井	15
	銚子市春日町	15		袖ヶ浦市長浦駅前6丁目	15
	銚子市中央町／若宮町／大橋町	15		袖ヶ浦市滝の口	15
	旭市鎌数	15			
	旭市萬力	15			
	匝瑳市西小笹／登戸の全域	15			
⑦ 山武地域	東金市田間	15			
	東金市日吉台3丁目	15			
	山武市椎崎	15			
	山武市成東	15			
	大網白里市細草	15			
	山武郡九十九里町下貝塚	15			
	山武郡横芝光町鳥喰新田	15			
⑧ 長生地域	茂原市木崎	15			
	茂原市木崎	15			
	茂原市高師	15			
	茂原市法目	15			
	長生郡白子町浜宿	15			
	長生郡長南町千田	15			

回答者の属性

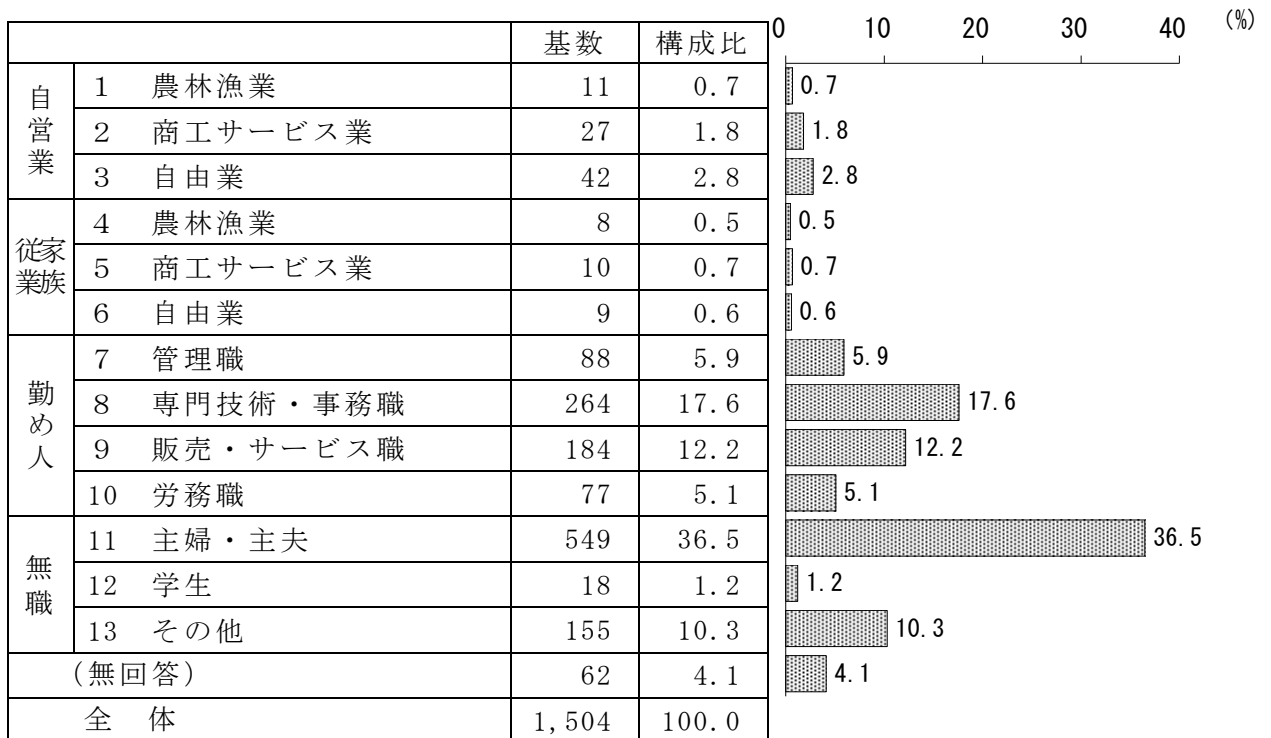
1. 性



2. 年 代

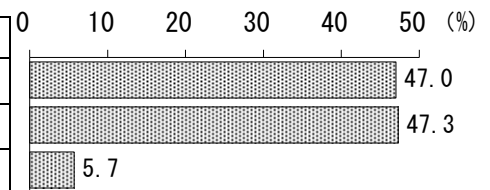


3. 本人職業



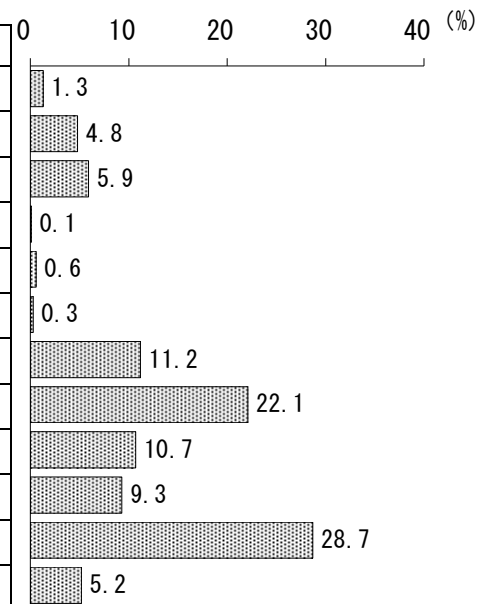
4. 世帯内の地位

	基数	構成比
1 主として家計を支えている	707	47.0
2 家計を支えていない	712	47.3
(無回答)	85	5.7
全 体	1,504	100.0



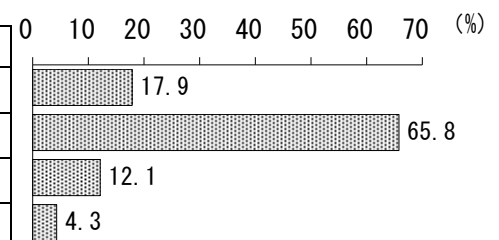
5. 世帯主職業

	基数	構成比
自営業	1 農林漁業	9 1.3
	2 商工サービス業	34 4.8
	3 自由業	42 5.9
従家業族	4 農林漁業	1 0.1
	5 商工サービス業	4 0.6
	6 自由業	2 0.3
勤め人	7 管理職	80 11.2
	8 専門技術・事務職	157 22.1
	9 販売・サービス職	76 10.7
	10 労務職	66 9.3
	11 無職	204 28.7
	(無回答)	37 5.2
全 体 (「4.世帯内の地位」の2)	712	100.0



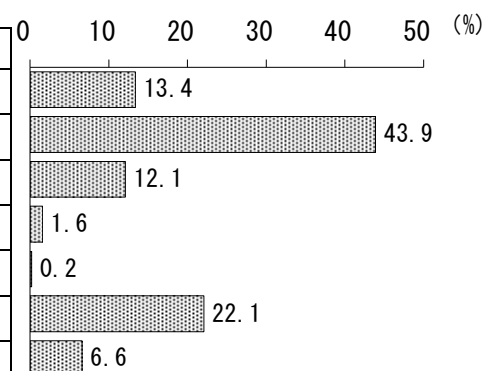
6. 未既婚

	基数	構成比
1 未婚	269	17.9
2 既婚（配偶者有）	989	65.8
3 既婚（配偶者離死別）	182	12.1
(無回答)	64	4.3
全 体	1,504	100.0



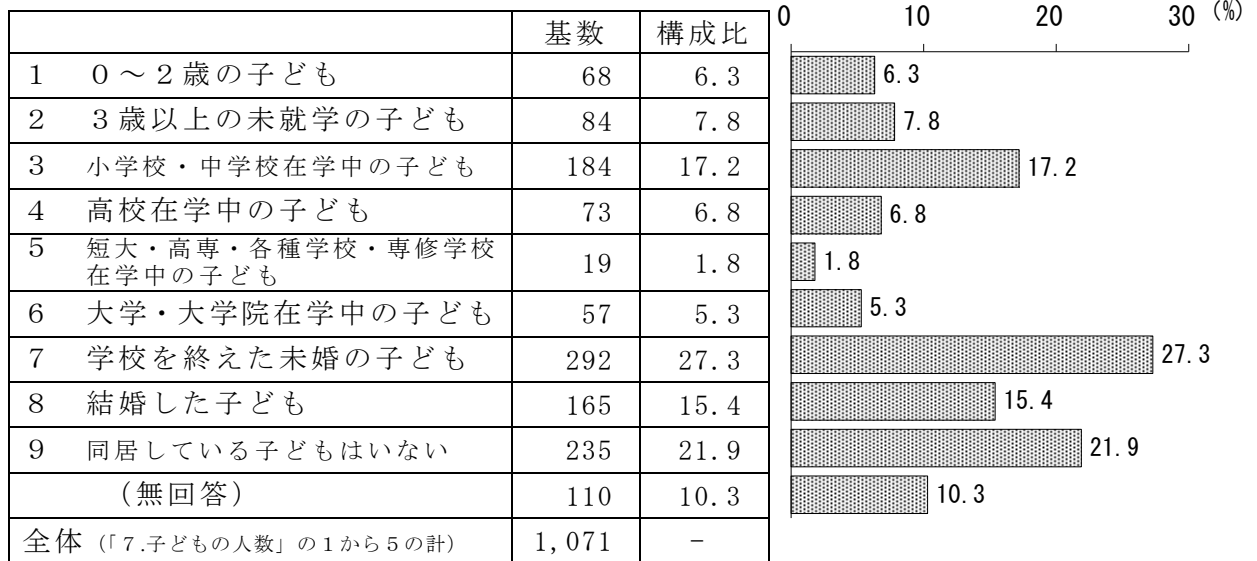
7. 子どもの人数

	基数	構成比
1 1人	202	13.4
2 2人	660	43.9
3 3人	182	12.1
4 4人	24	1.6
5 5人以上	3	0.2
6 子どもはいない	333	22.1
(無回答)	100	6.6
全 体	1,504	100.0

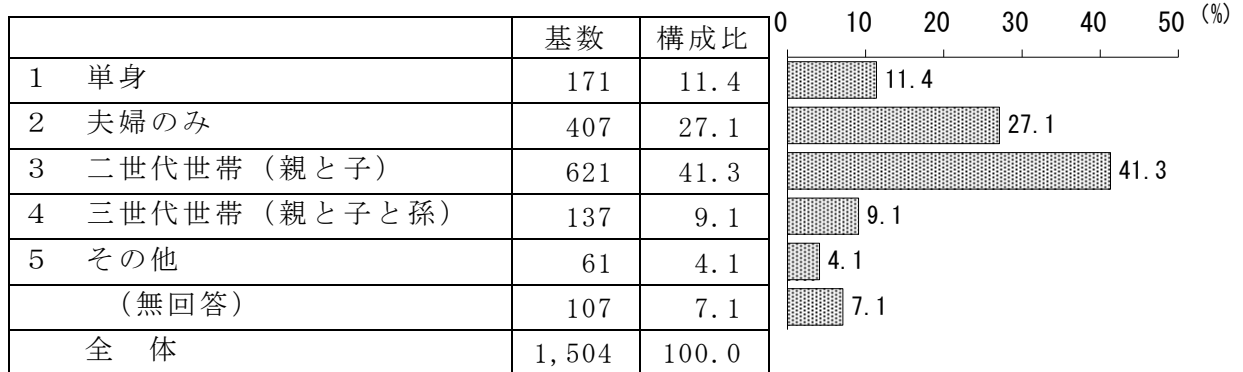


8. 子どもの成長段階

※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。



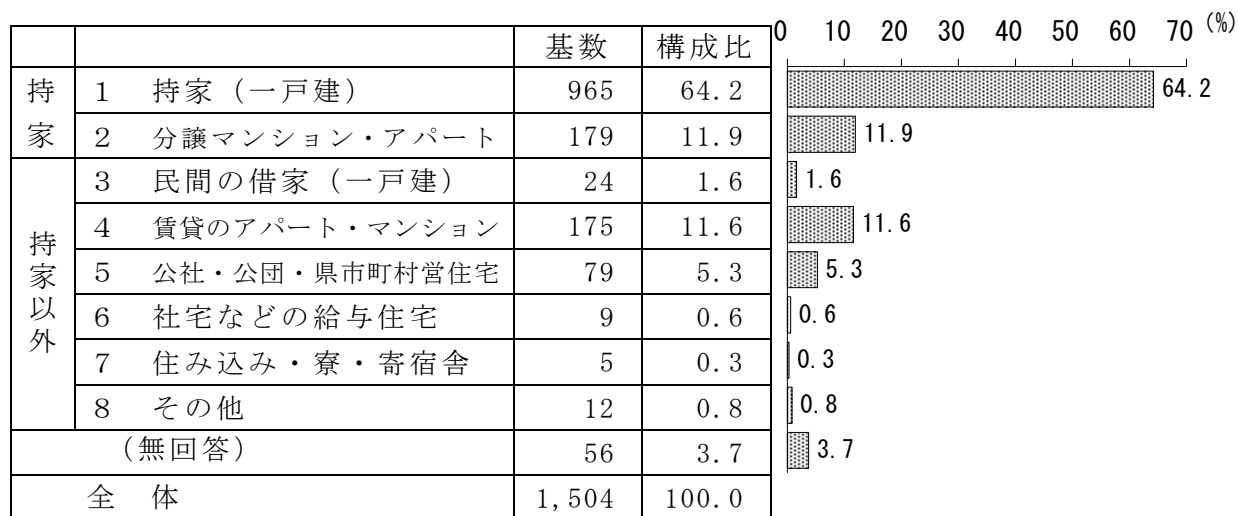
9. 家族構成



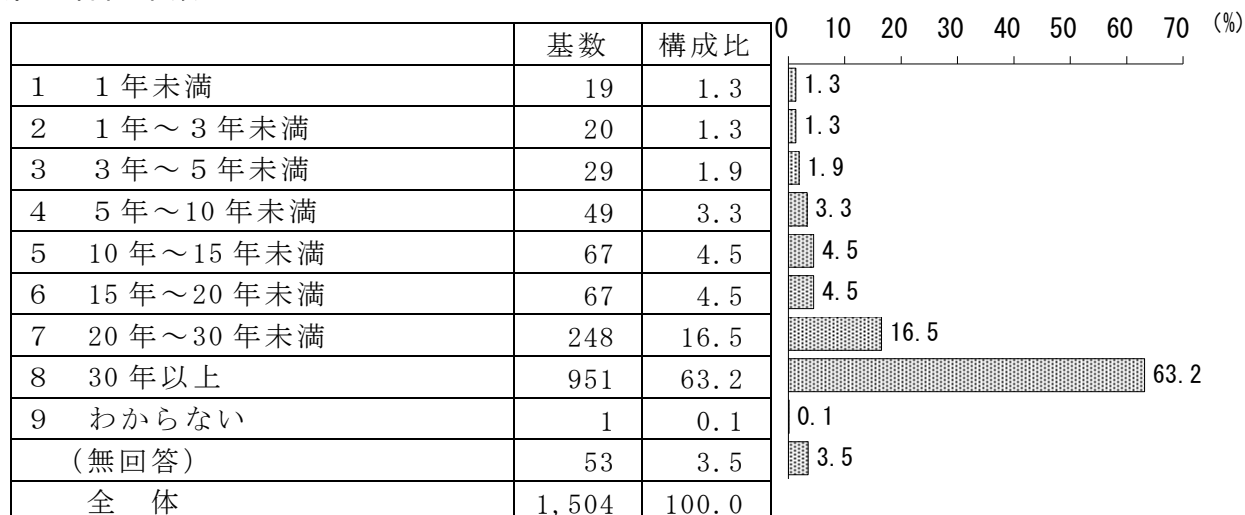
10. 高齢者の同居の有無



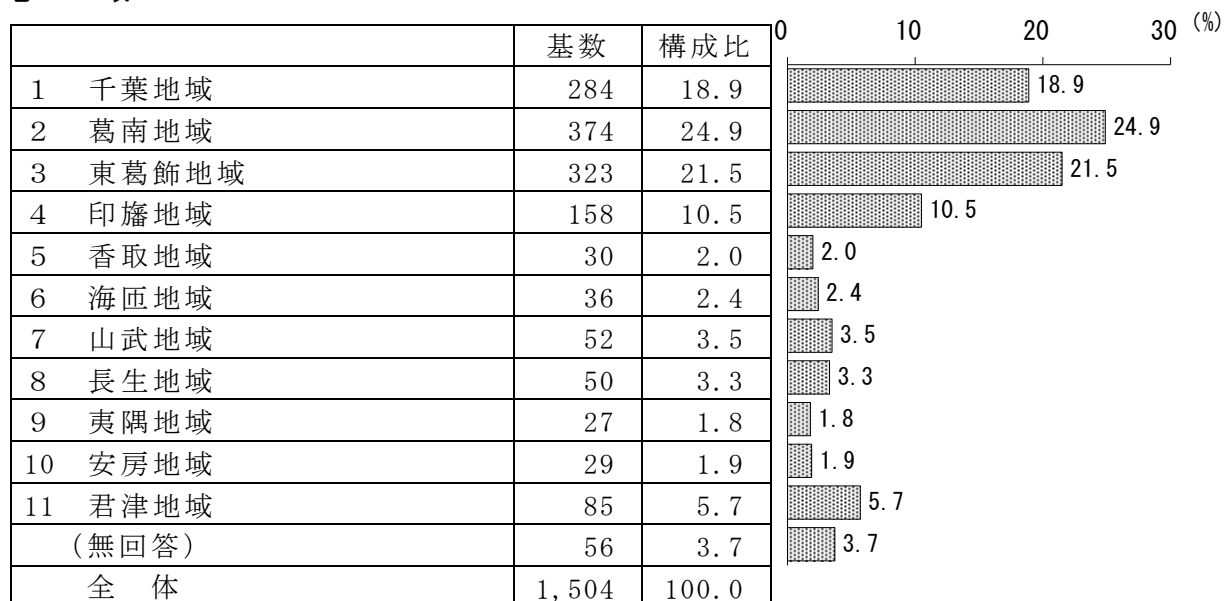
11. 住 宅



12. 県内居住年数



13. 地 域



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数 (n)						
総 数	1,504 人	± 2.19%	± 2.92%	± 3.34%	± 3.57%	± 3.65%
千葉地域	284	± 5.03%	± 6.71%	± 7.69%	± 8.22%	± 8.39%
葛南地域	374	± 4.39%	± 5.85%	± 6.70%	± 7.16%	± 7.31%
東葛飾地域	323	± 4.72%	± 6.29%	± 7.21%	± 7.71%	± 7.87%
印旛地域	158	± 6.75%	± 9.00%	± 10.31%	± 11.02%	± 11.25%
香取地域	30	± 15.49%	± 20.65%	± 23.66%	± 25.29%	± 25.82%
海匝地域	36	± 14.14%	± 18.85%	± 21.60%	± 23.09%	± 23.57%
山武地域	52	± 11.77%	± 15.69%	± 17.97%	± 19.21%	± 19.61%
長生地域	50	± 12.00%	± 16.00%	± 18.33%	± 19.59%	± 20.00%
夷隅地域	27	± 16.33%	± 21.77%	± 24.94%	± 26.66%	± 27.21%
安房地域	29	± 15.75%	± 21.01%	± 24.07%	± 25.73%	± 26.26%
君津地域	85	± 9.20%	± 12.27%	± 14.06%	± 15.03%	± 15.34%
男 性	633	± 3.37%	± 4.50%	± 5.15%	± 5.51%	± 5.62%
女 性	843	± 2.92%	± 3.90%	± 4.46%	± 4.77%	± 4.87%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

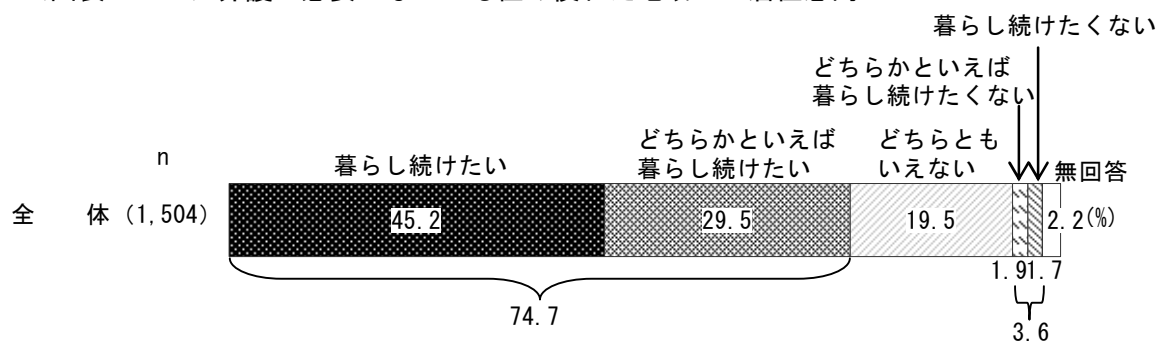
1 高齢者が地域で暮らし続けるための施策について

(1) 介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向

◇『暮らし続けたい』が7割台半ば

問1 あなたは、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。(○は1つ)

<図表1-1>介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向



介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいかを聞いたところ、「暮らし続けたい」(45.2%)が4割台半ば、「どちらかといえば暮らし続けたい」(29.5%)を合わせた『暮らし続けたい』(74.7%)は7割台半ばである。一方、「どちらかといえば暮らし続けたくない」(1.9%)、「暮らし続けたくない」(1.7%)を合わせた『暮らし続けたくない』は3.6%となっている。(図表1-1)

【地域別】

地域別にみると、『暮らし続けたい』は“山武地域”(84.6%)で8割台半ばと最も高く、“海匠地域”(80.6%)で8割と高くなっている。(図表1-2)

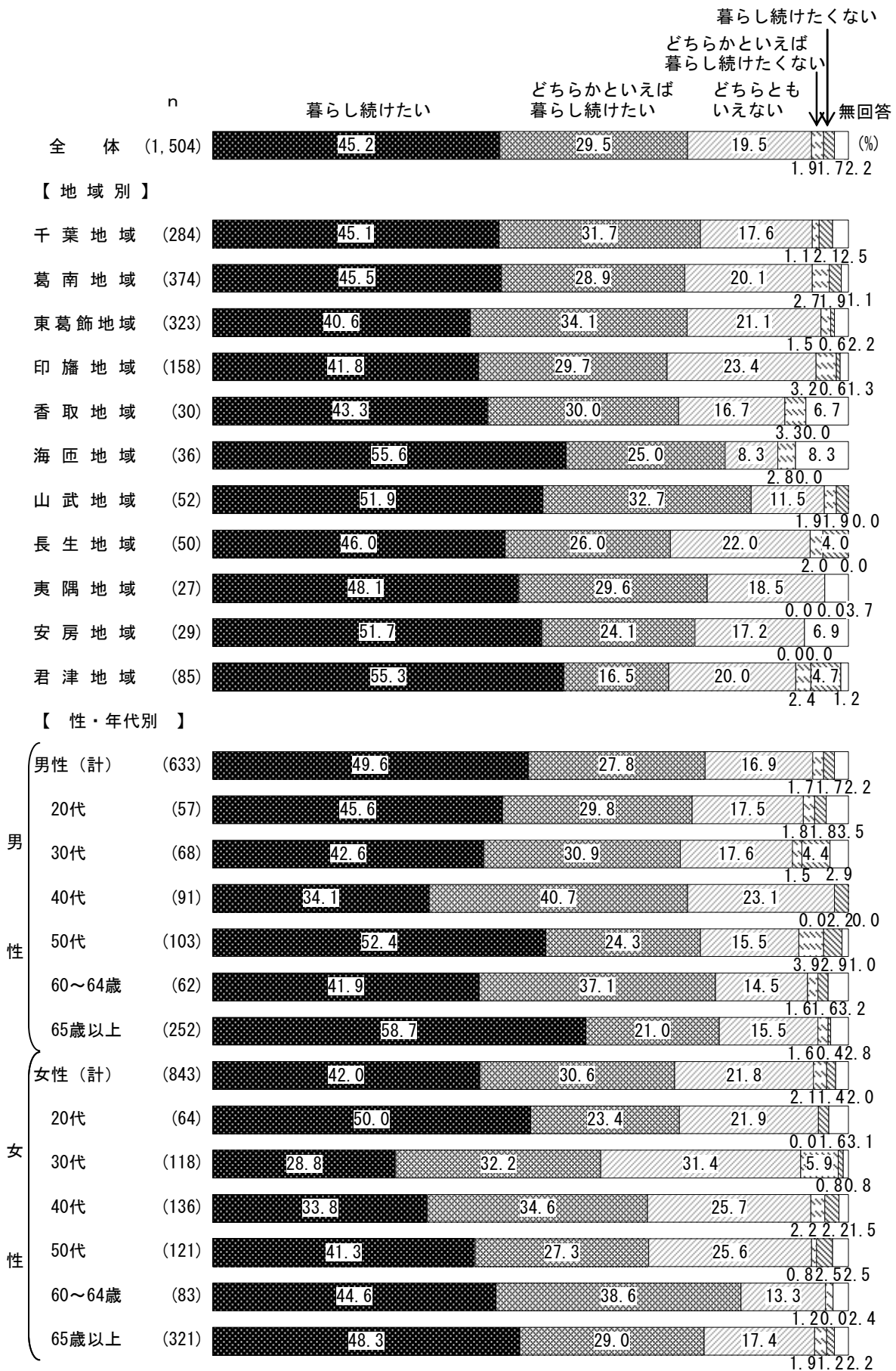
【性・年代別】

性別でみると、『暮らし続けたい』は男性(77.4%)の方が約8割と高い。

性・年代別にみると、『暮らし続けたい』は女性の60～64歳(83.1%)で8割台半ばと最も高く、男性の65歳以上(79.8%)、男性の60～64歳(79.0%)で約8割と他の年代に比べて高くなっている。

(図表1-2)

<図表 1-2>介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向／地域別、性・年代別

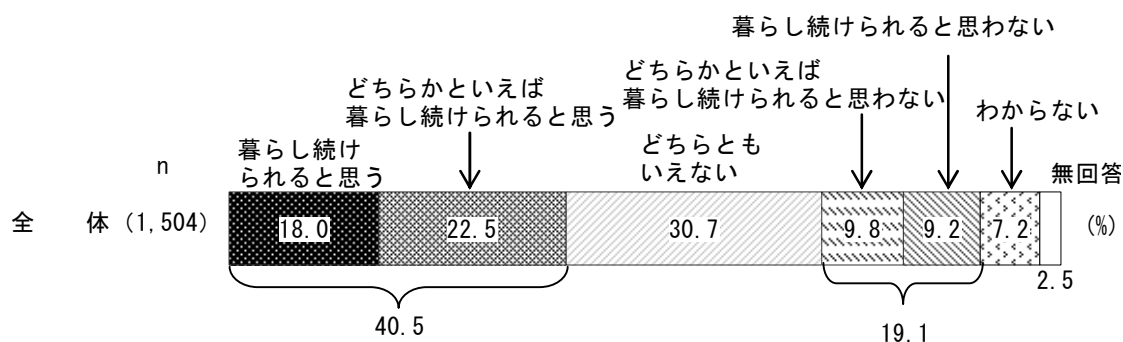


(2) 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか

◇『暮らし続けられると思う』が4割

問2 あなたは、介護が必要になっても現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。(○は1つ)

＜図表1－3＞介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか



介護が必要になっても現在住んでいる自宅や地域で暮らし続けられるかを聞いたところ、「暮らし続けられると思う」(18.0%)が約2割、「どちらかと言えば暮らし続けられると思う」(22.5%)を合わせた『暮らし続けられると思う』(40.5%)は4割となっている。一方、「どちらかといえば暮らし続けられないと思う」(9.8%)と「暮らし続けられないと思う」(9.2%)を合わせた『暮らし続けられないと思う』(19.1%)は約2割となっている。(図表1－3)

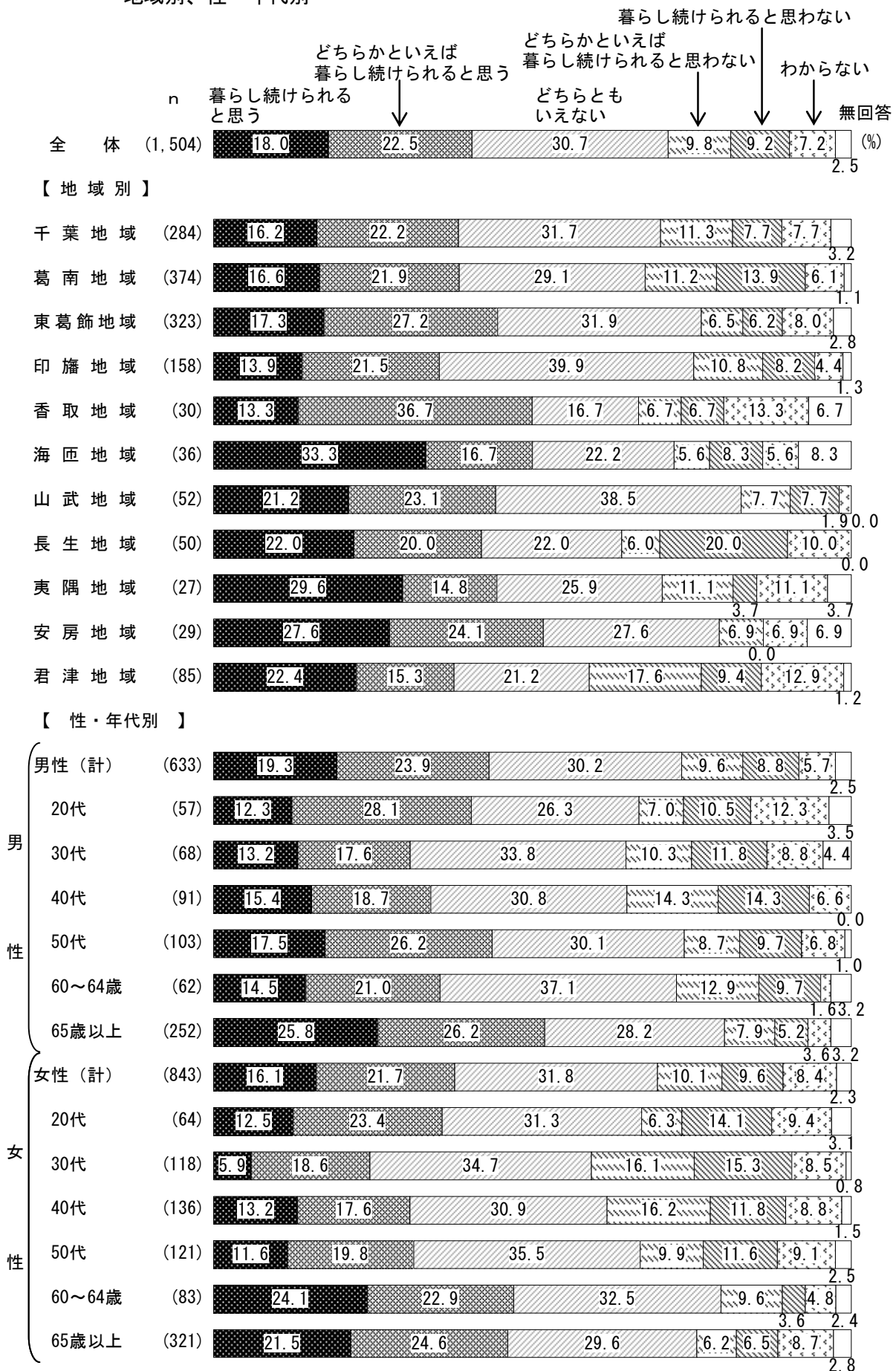
【地域別】

地域別にみると、『暮らし続けられると思う』は“安房地域”(51.7%)、“海匝地域”、“香取地域”(共に50.0%)で5割以上と他の地域に比べて高くなっている。(図表1－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『暮らし続けられると思う』は男性の65歳以上(52.0%)で5割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。一方、『暮らし続けられないと思う』は女性の30代(31.4%)で3割を超えて高く、男性の40代(28.6%)、女性の40代(27.9%)で約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1－4)

＜図表１－４＞介護が必要になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思うか／
地域別、性・年代別

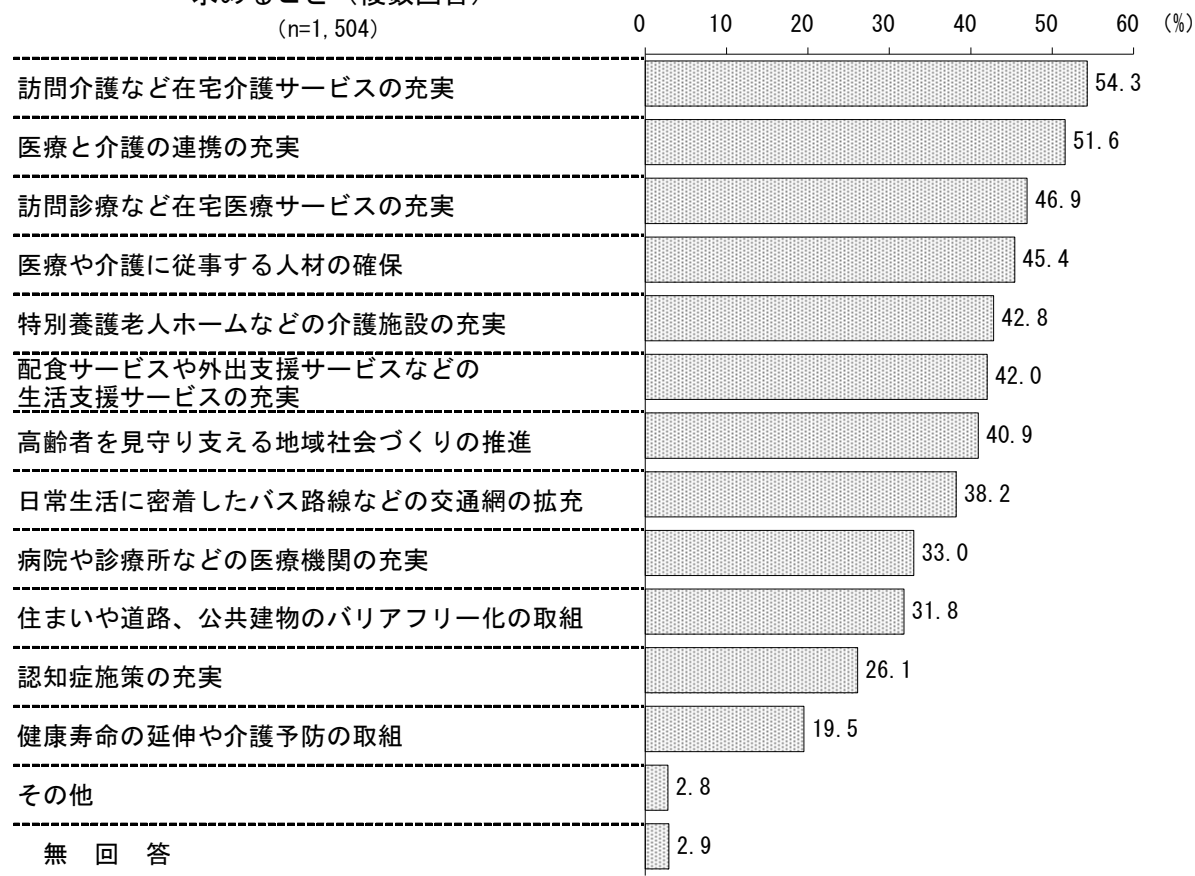


(3) 地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること

◇「訪問介護など在宅介護サービスの充実」が５割台半ばで最も高い

問３ あなたが、地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めることは何ですか。（○はいくつでも）

＜図表１－５＞地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること（複数回答）



地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、千葉県に求めることは「訪問介護など在宅介護サービスの充実」（54.3%）が５割台半ばで最も高く、以下、「医療と介護の連携の充実」（51.6%）、「訪問診療など在宅医療サービスの充実」（46.9%）、「医療や介護に従事する人材の確保」（45.4%）、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」（42.8%）、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」（42.0%）、「高齢者を見守り支える地域社会づくりの推進」（40.9%）が続く。（図表１－５）

【地域別】

地域別にみると、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」は“夷隅地域”（66.7％）で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表1－6）

【性・年代別】

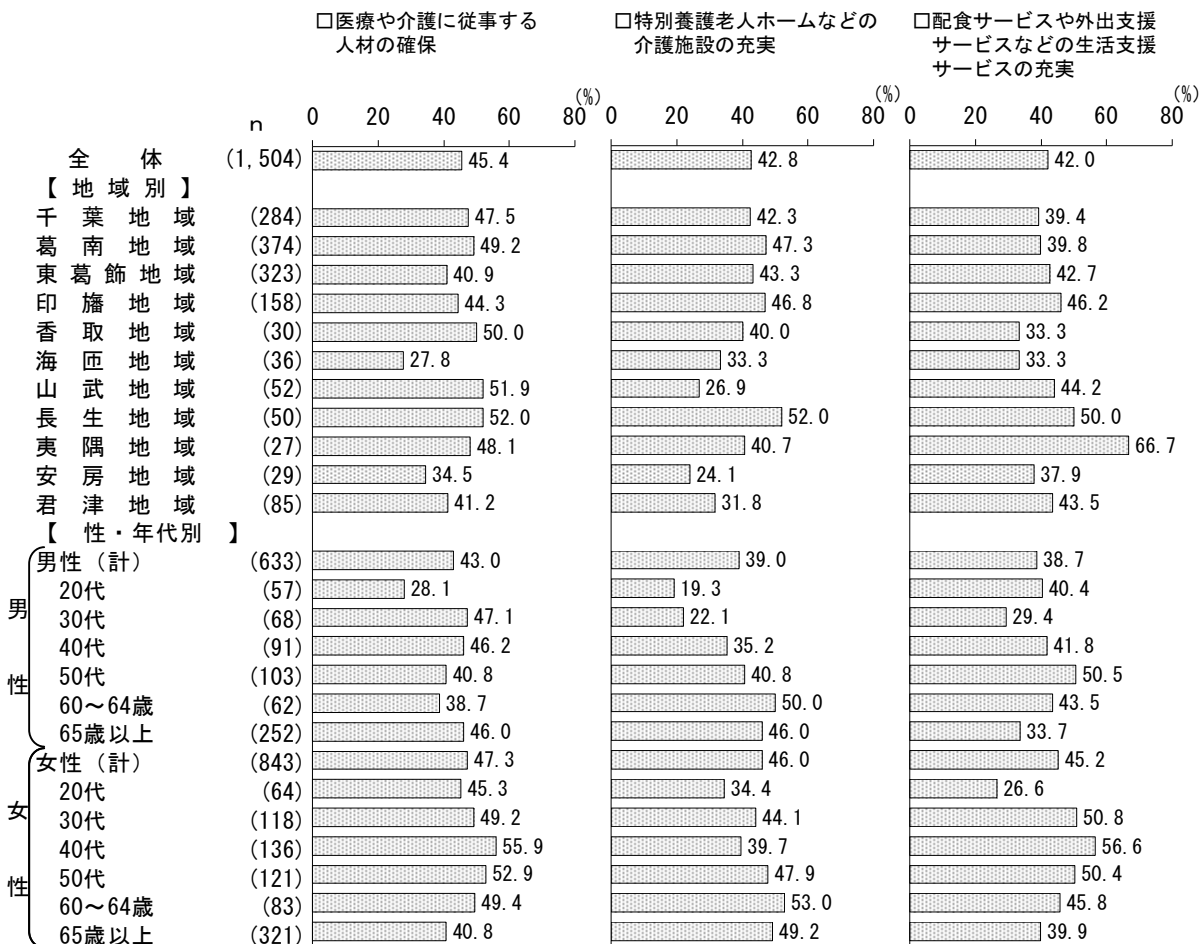
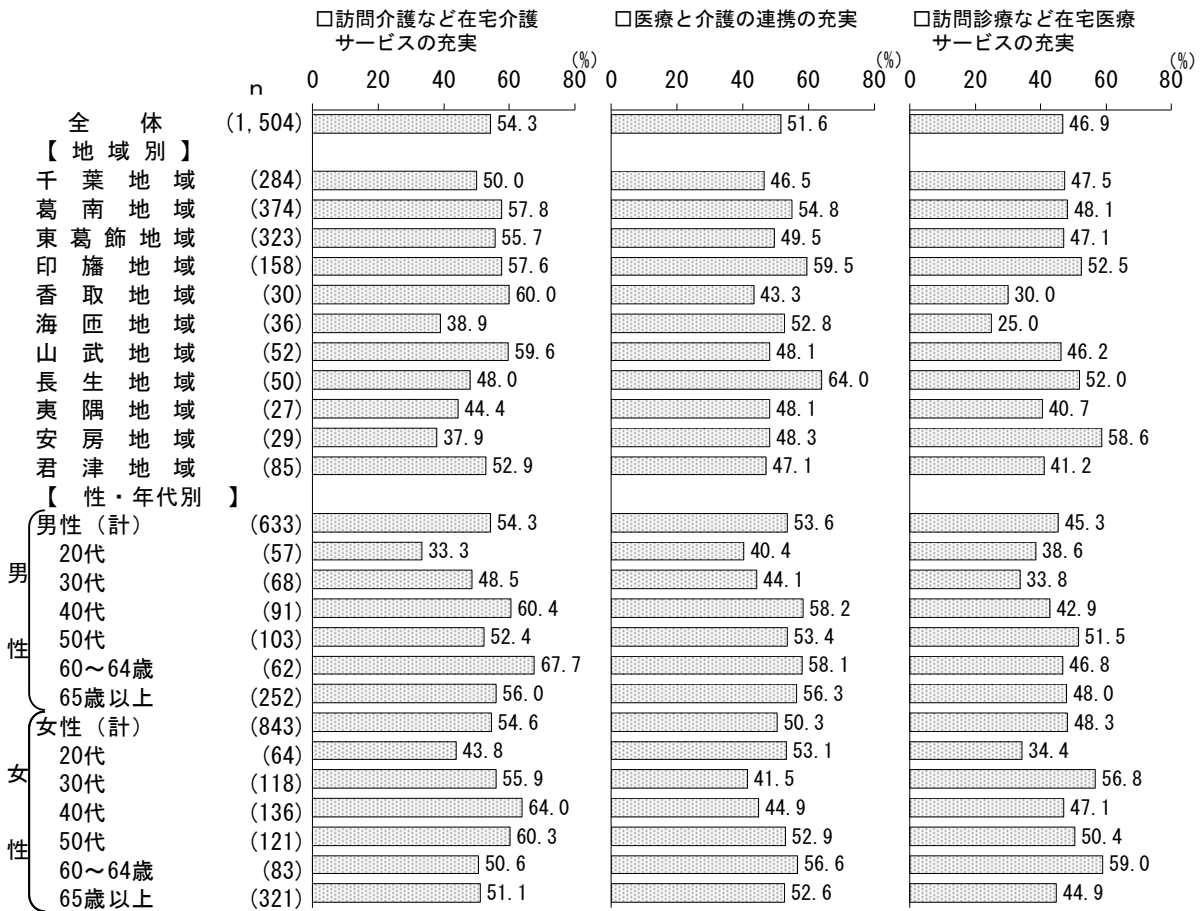
性別でみると、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」（46.0％）、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」（45.2％）は女性の方が4割台半ばと高い。

性・年代別にみると、「訪問介護など在宅介護サービスの充実」は男性の60～64歳（67.7％）で約7割、女性の40代（64.0％）で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

また、「訪問診療など在宅医療サービスの充実」は、女性の60～64歳（59.0％）で約6割、女性の30代（56.8％）で5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、「医療や介護に従事する人材の確保」は男性の20代（28.1％）で約3割、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」は男性の20代（19.3％）で約2割と低い。（図表1－6）

＜図表１－６＞地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



このほかに、「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」やここまでの質問（問１～問３）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、366人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」の自由回答（抜粋）

○若い人ほど、高齢者、介護など興味がないと思うので、興味や理解しやすい広報や情報を発信してほしい。（男性、30代、葛南地域）

○暮らしやすい施策の為に、また、サービスと言って、我々県民の負担が増加しては困る。こども110番や見守り隊みたいな民生委員よりも気軽なつながりがあるといいと思う。
（女性、60～64歳、千葉地域）

○私たちが高齢者になる頃は、施設不足になると聞いている。もっと施設や人材を増やしてほしい。また働きやすい職場にして、人材を確保してほしい。（女性、50代、葛南地域）

○バリアフリー、医療、介護等について、大きな改善がみられない。一層充実されることを期待しています。（男性、60～64歳、千葉地域）

○介護する側も重要と思われます。介護する側の働きやすい環境作りも取り組むべきでは。勤務体制、賃金等。（女性、40代、君津地域）

○①健康を維持する、食生活、運動などの生活習慣を頻繁に啓発する。具体的なデータと共に。
②高齢者同士や、子供達、地域の人達と交流できる機会を増やす。心身の健康に役立つと思われる。
③自然が多い運動（ウォーキング等）ができる場所と、市民の為の農園（農作業で身体を動かす）をつくると、心にも体にも良い影響を与えられる。（男性、20代、印旛地域）

○高齢者が自宅にひきこもらない様に、無料で集まって話せる場所を作って欲しい。
（女性、20代、東葛飾地域）

○新聞配達員や郵便局員など、毎日地域を巡回している方は、対高齢者においてはポストへの投函ではなく、手渡しをして様子を見てもらう。（女性、30代、千葉地域）

○元気な高齢者などのボランティアの小規模の組織を多数作り、要介護の人たちの手助けをし、そのボランティアの精神をねづかせる様に、行政または地域リーダーを育てる様な状況を作ったと思う。（男性、65歳以上、香取地域）

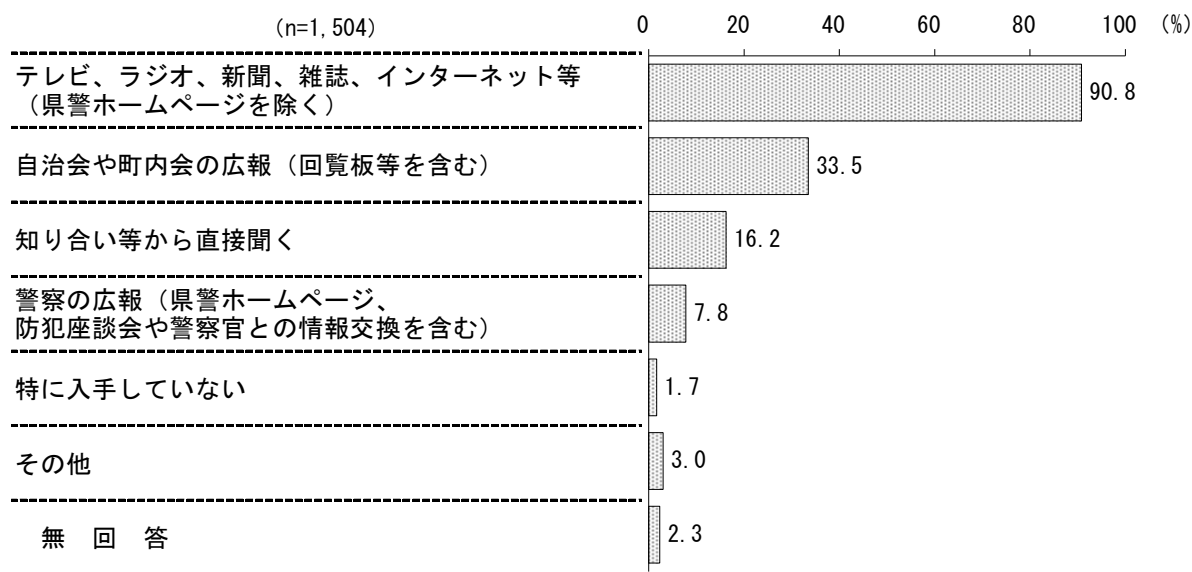
2 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて

(1) 犯罪や防犯に関する主な情報入手源

◇テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等が主である

問4 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。(〇は2つまで)

＜図表2-1＞犯罪や防犯に関する主な情報入手源（2つまで）



犯罪や防犯に関する情報の入手源を2つまで選んでもらったところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等（県警ホームページを除く）」（90.8%）が9割と最も高くなっている。以下、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」（33.5%）、「知り合い等から直接聞く」（16.2%）が続く。

（図表2-1）

【地域別】

地域別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等（県警ホームページを除く）」は“長生地域”（94.0%），“葛南地域”（93.6%）で9割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は“東葛飾地域”（39.0%），“君津地域”（38.8%）で約4割と他の地域に比べて高くなっている。（図表2-2）

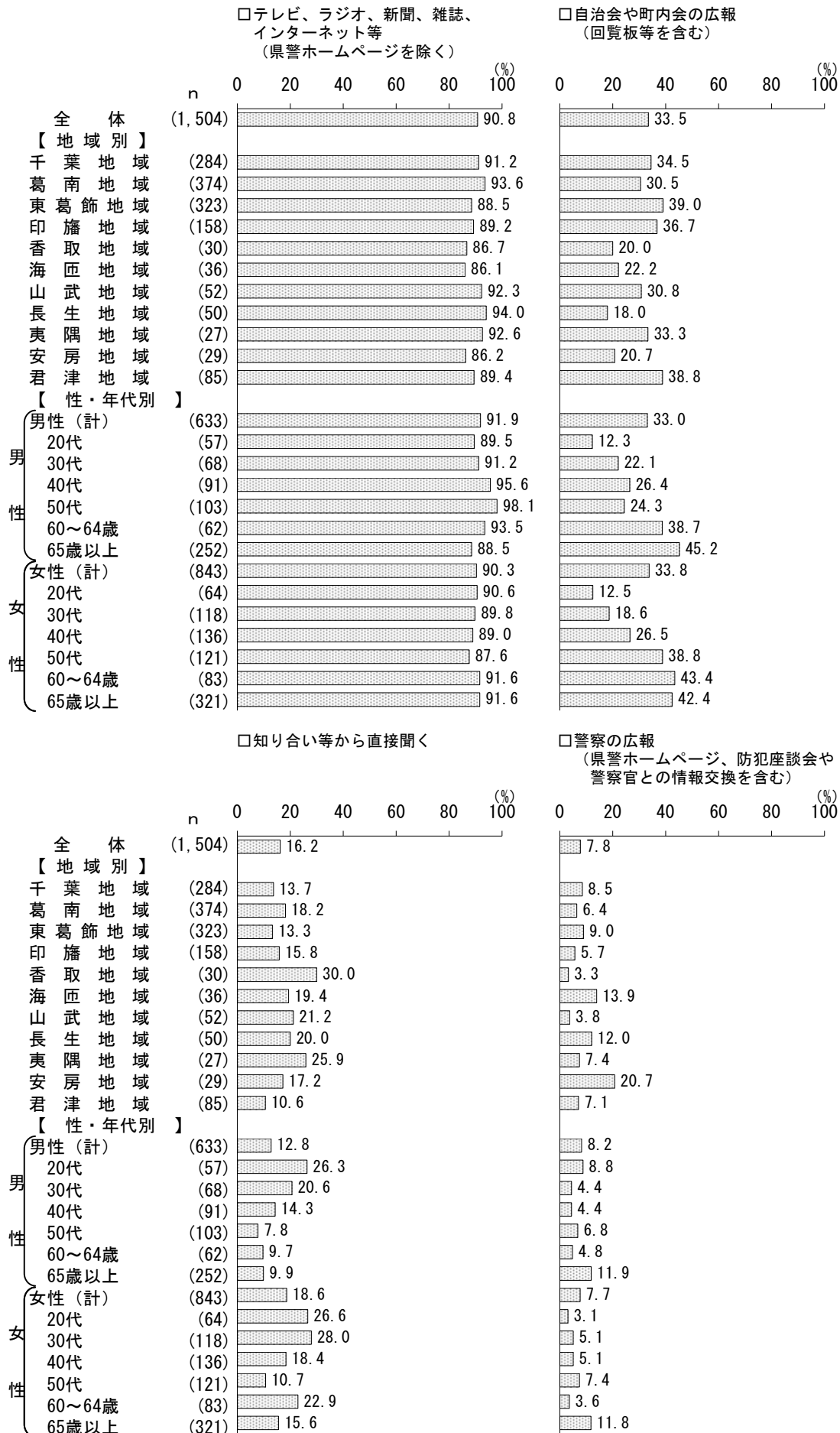
【性・年代別】

性・年代別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等（県警ホームページを除く）」は男性の50代（98.1%）で約10割と他の年代に比べて高くなっている。

また、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は男性の65歳以上（45.2%）、女性の60～64歳（43.4%）、女性の65歳以上（42.4%）で4割以上と他の年代に比べて高くなっている。

「知り合い等から直接聞く」は女性の30代（28.0%）で約3割、女性の20代（26.6%）、男性の20代（26.3%）で2割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。（図表2-2）

＜図表２－２＞犯罪や防犯に関する主な情報入手源（２つまで）／地域別、性・年代別

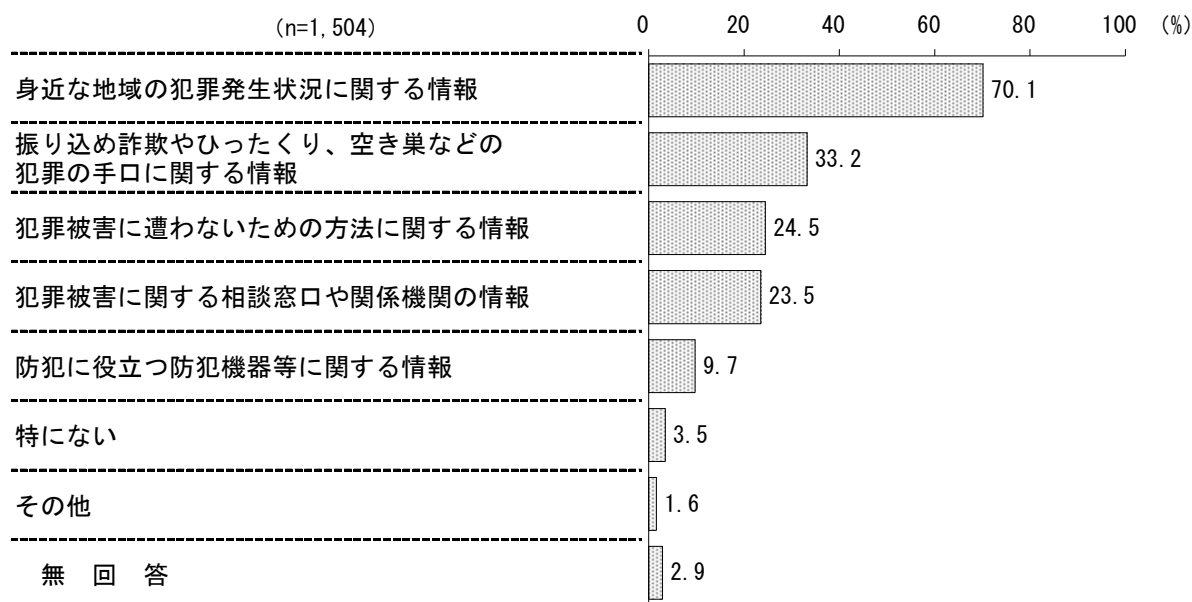


(2) 提供してほしい犯罪情報等

◇「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」が7割と最も高い

問5 あなたが提供してほしい犯罪情報等は何ですか。(○は2つまで)

＜図表2－3＞提供してほしい犯罪情報等（2つまで）



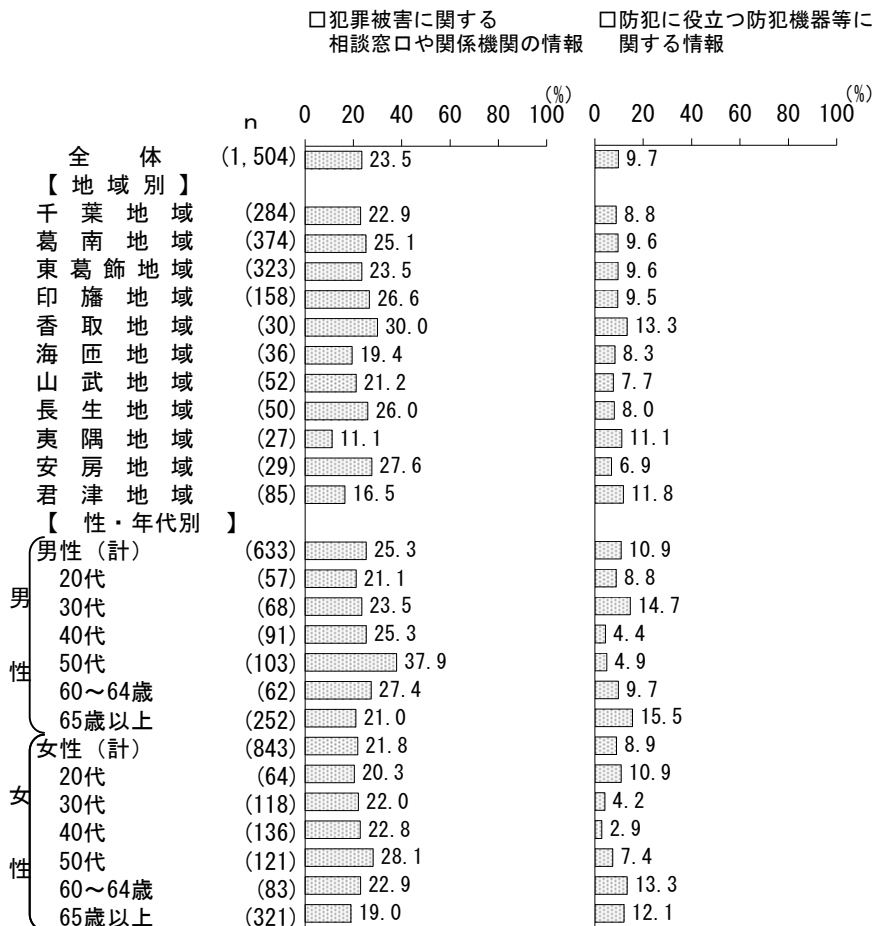
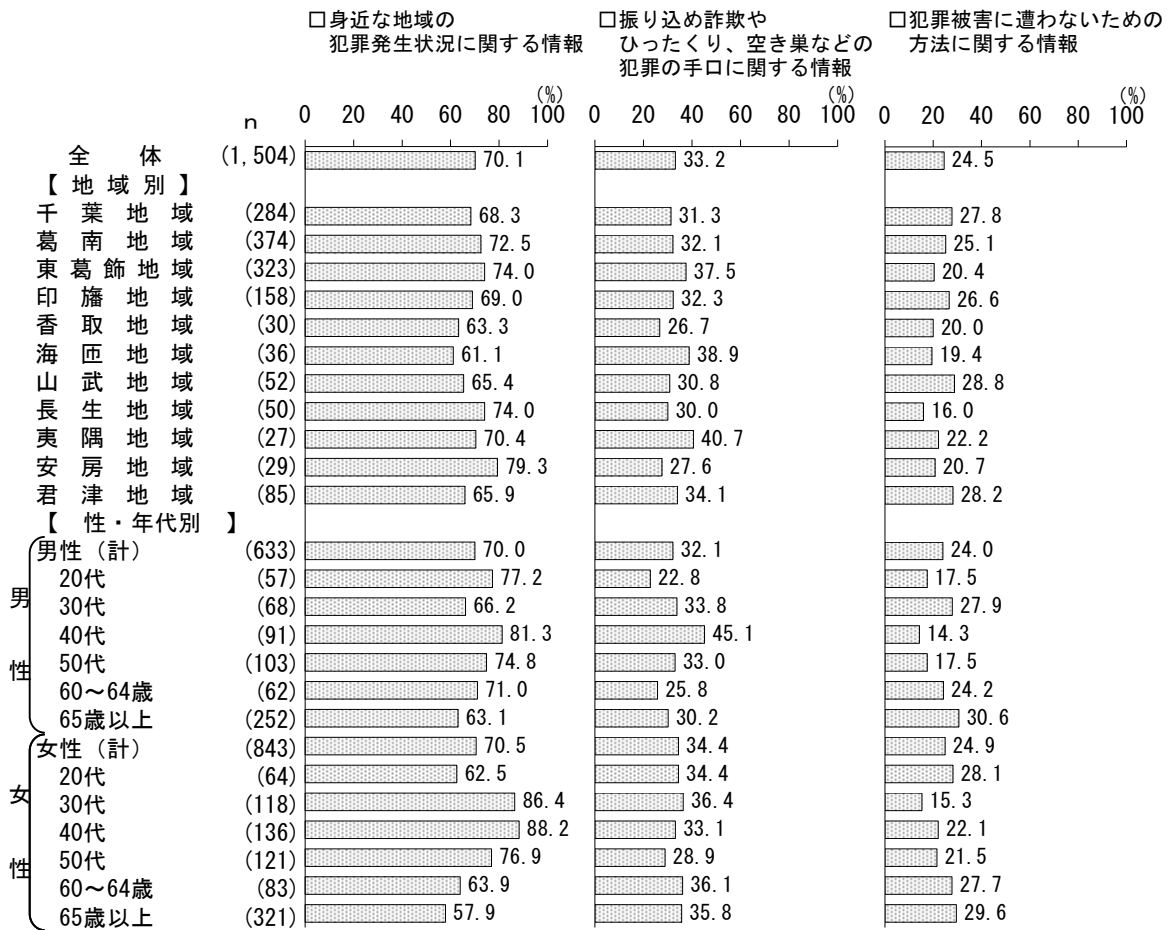
提供してほしい犯罪情報等を2つまで選んでもらったところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(70.1%)が7割で最も多い。以下、「振り込め詐欺やひったくり、空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(33.2%)、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(24.5%)、「犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報」(23.5%)が続く。(図表2－3)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は女性の40代(88.2%)で約9割、女性の30代(86.4%)で8割台半ば、男性の40代(81.3%)で8割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。

「振り込め詐欺やひったくり、空き巣などの犯罪の手口に関する情報」は男性の40代(45.1%)で4割台半ば、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」は男性の65歳以上(30.6%)で3割、「犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報」は男性の50代(37.9%)で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。(図表2－4)

<図表２－４>提供してほしい犯罪情報等（２つまで）／地域別、性・年代別

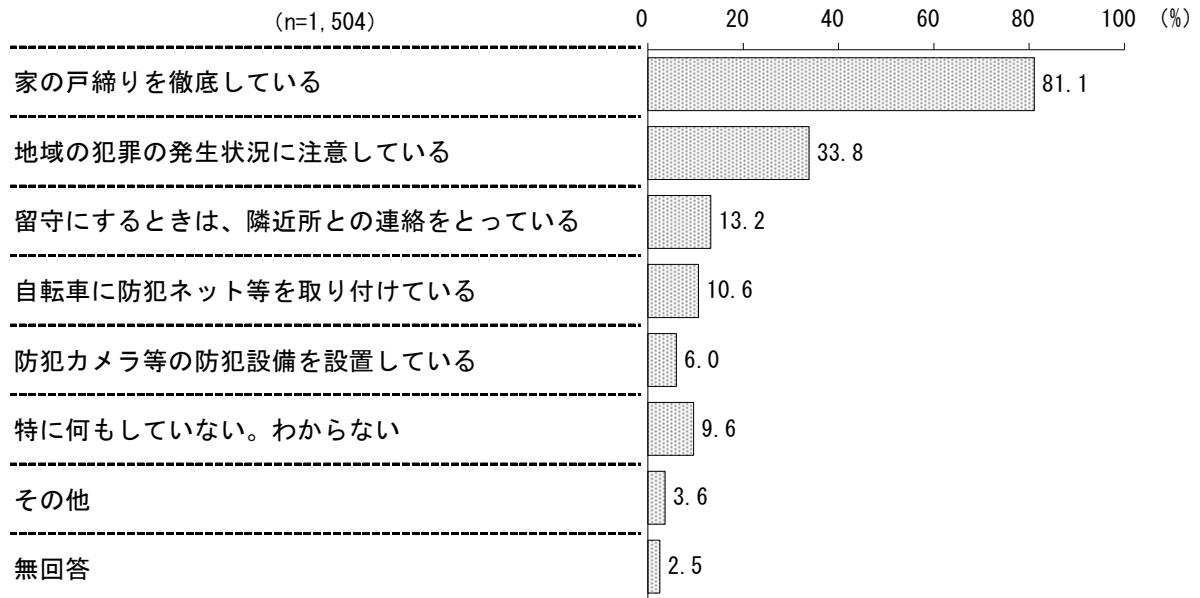


(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

◇「家の戸締りを徹底している」が8割を超えて最も高い

問6 あなたは今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。(〇いくつでも)

<図表2-5> 犯罪に遭わないために心がけていること(複数回答)



今、犯罪に遭わないために心がけていることを聞いたところ、「家の戸締りを徹底している」(81.1%)が8割を超えて最も高い。以下、「地域の犯罪の発生状況に注意している」(33.8%)が続く。

一方、「特に何もしていない。わからない」(9.6%)が約1割みられた。(図表2-5)

【地域別】

地域別にみると、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」は“安房地域”(27.6%)で約3割と他の地域に比べて高くなっている。

一方、「家の戸締りを徹底している」は“香取地域”(63.3%)で6割台半ばと、他の地域に比べて低く、「特に何もしていない。わからない」(23.3%)が2割台半ばと高くなっている。

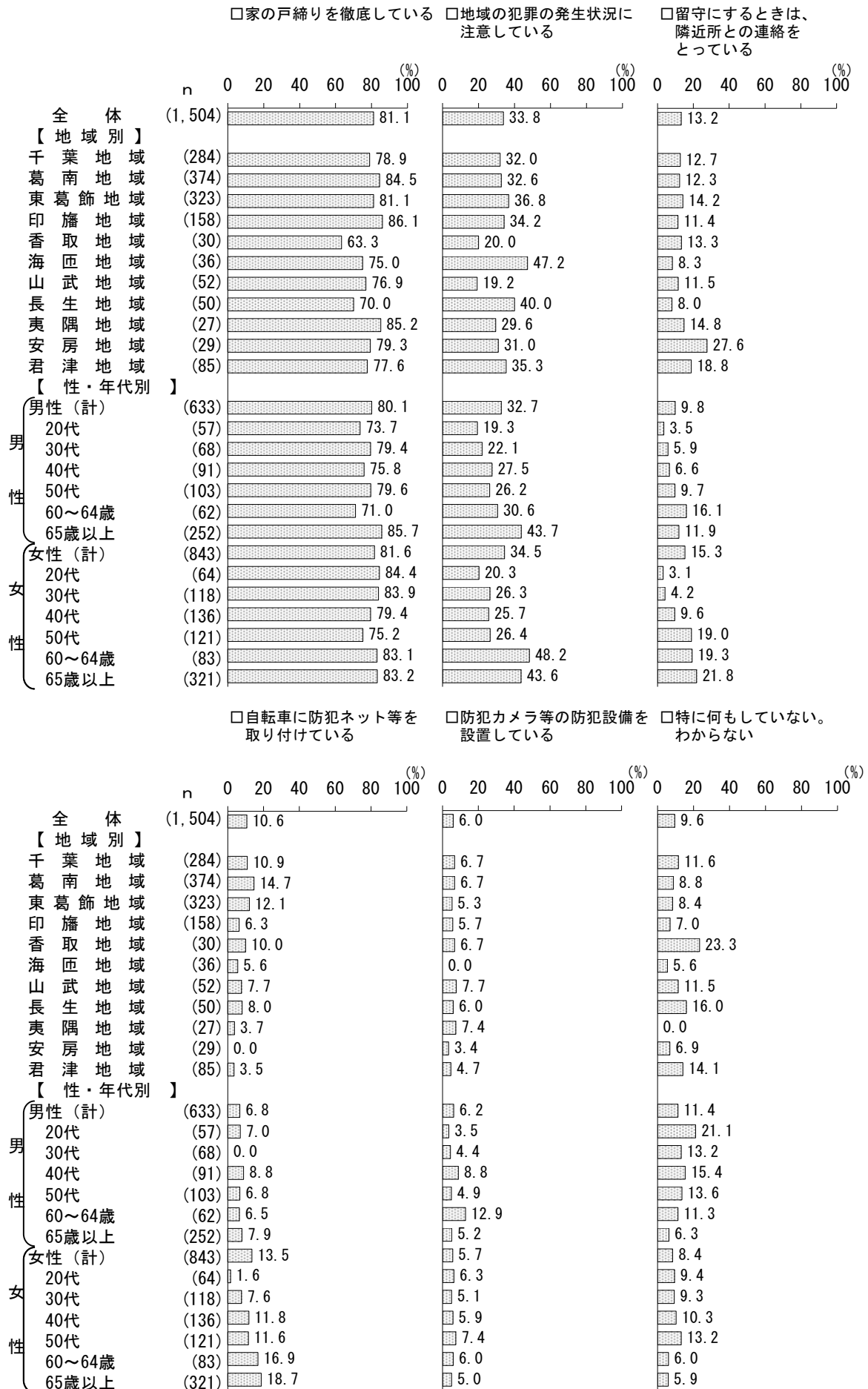
「地域の犯罪の発生状況に注意している」は“山武地域”(19.2%)で約2割と、他の地域に比べて低くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家の戸締りを徹底している」は男性の65歳以上(85.7%)で8割台半ば、「地域の犯罪の発生状況に注意している」は女性の60~64歳(48.2%)で約5割、男性の65歳以上(43.7%)や女性の65歳以上(43.6%)で4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

また、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は女性の方が高く、年代が上がるに連れ高い傾向がみられる。(図表2-6)

<図表2-6> 犯罪に遭わないために心がけていること（複数回答）／地域別、性・年代別

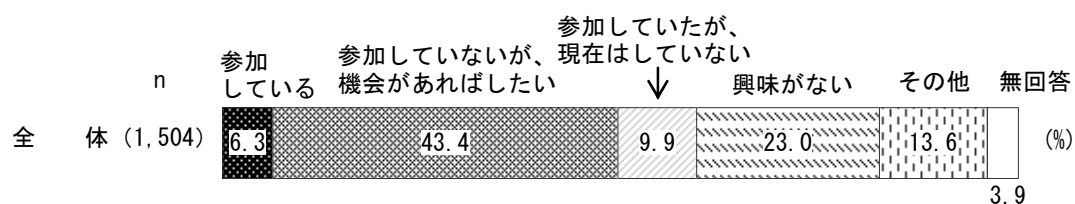


(4) 自主防犯活動（防犯パトロール隊など）参加状況

◇「参加していないが、機会があればしたい」が4割台半ば

問7 あなたは、自主防犯活動（防犯パトロール隊など）に参加していますか。（○は1つ）

＜図表2－7＞自主防犯活動（防犯パトロール隊など）参加状況



自主防犯活動（防犯パトロール隊など）の参加状況をみると、「参加していないが、機会があればしたい」（43.4%）が4割台半ばと最も多く、「参加している」（6.3%）は6%、「参加していたが、現在はしていない」（9.9%）は約1割であった。

一方、「興味がない」（23.0%）が2割台半ばであった。（図表2－7）

【地域別】

地域別にみると、「参加している」は“東葛飾地域”（9.0%）で約1割と他の地域に比べて幾分高くなっている。

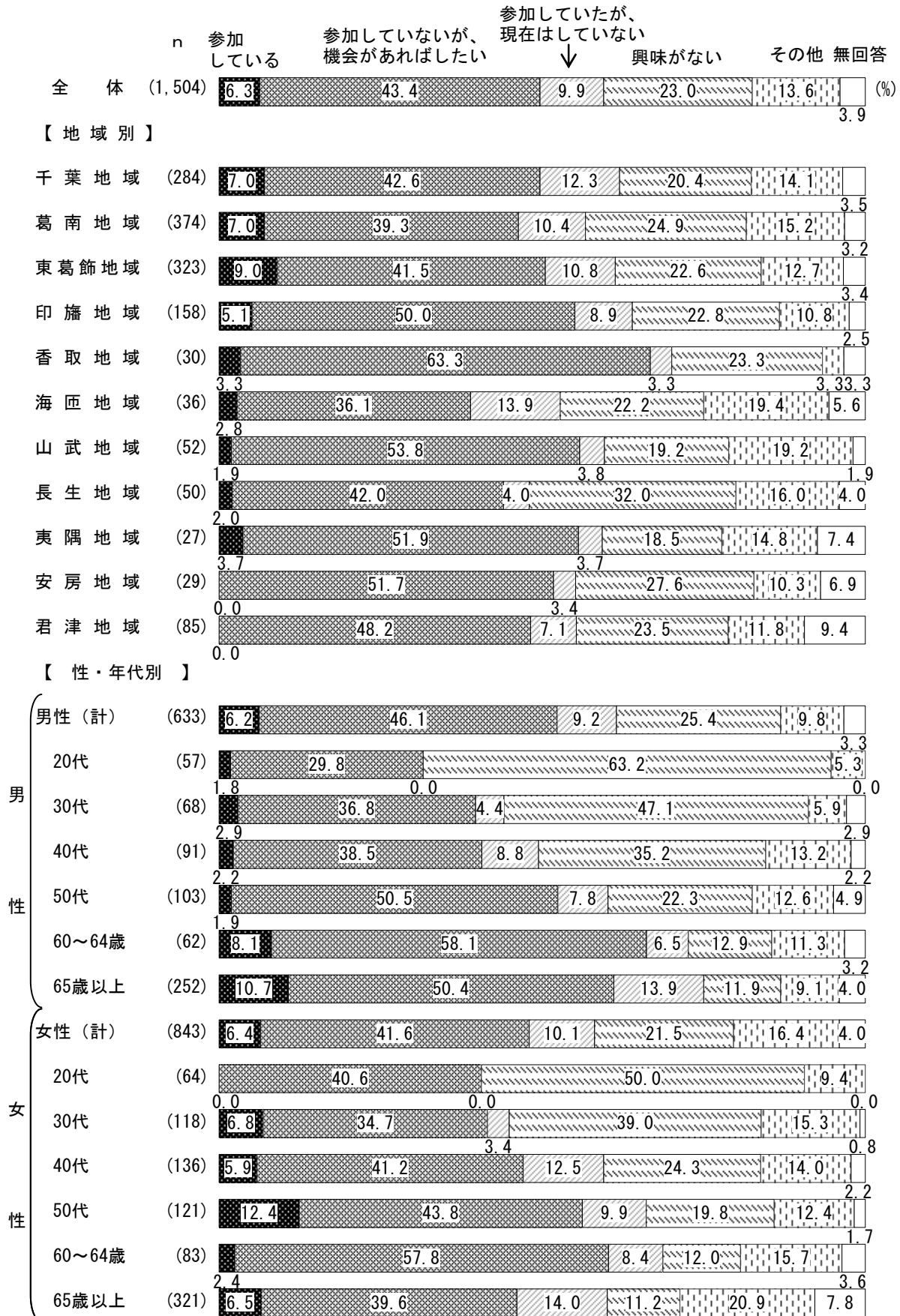
「参加していないが、機会があればしたい」は“香取地域”（63.3%）で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表2－8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加している」は女性の50代（12.4%）、男性の65歳以上（10.7%）で1割を超えて他の年代に比べて高くなっている。「参加していないが、機会があればしたい」は男性の60～64歳（58.1%）、女性の60～64歳（57.8）で約6割と他の年代に比べて高くなっている。

一方、「興味がない」は男性の20代（63.2%）で6割台半ば、女性の20代（50.0%）で5割と高く、若年層の方が「興味がない」が高い傾向がみられる。（図表2－8）

＜図表２－８＞自主防犯活動（防犯パトロール隊など）参加状況／地域別、性・年代別

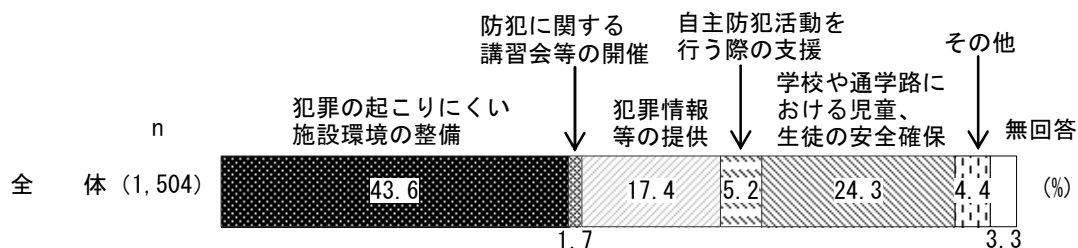


(5) 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むこと

◇「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」が4割台半ば

問8 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。（○は1つ）

＜図表2－9＞犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むこと



犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」（43.6%）が4割台半ばと最も高い。次いで「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」（24.3%）、「犯罪情報等の提供」（17.4%）となっている。（図表2－9）

【地域別】

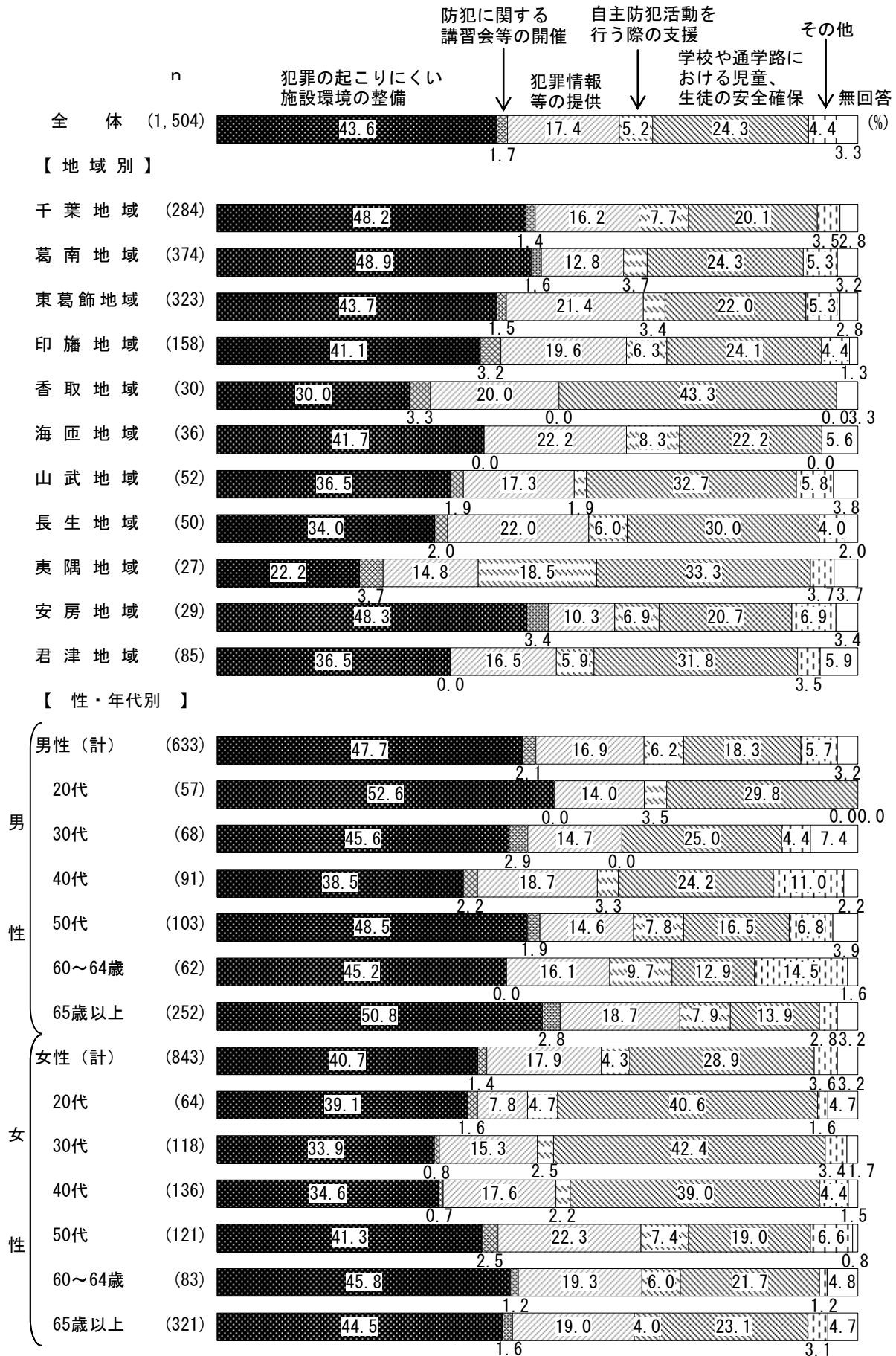
地域別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は“葛南地域”（48.9%）、“安房地域”（48.3%）、“千葉地域”（48.2%）で約5割、「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は“香取地域”（43.3%）で4割台半ば、「自主防犯活動を行う際の支援」は“夷隅地域”（18.5%）で約2割と他の地域に比べて高くなっている。（図表2－10）

【性・年代別】

「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は男性（47.7%）の方が約5割と高く、性・年代別でみると、男性の20代（52.6%）で5割を超え、男性の65歳以上（50.8%）で5割と他の年代に比べて高くなっている。

「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は女性（28.9%）の方が約3割と高く、性・年代別でみると女性の30代（42.4%）、女性の20代（40.6%）で4割以上、女性の40代（39.0%）で約4割と他の年代に比べて高くなっている。（図表2－10）

＜図表２－１０＞犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むこと／地域別、性・年代別



このほかに、「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」やここまでの質問（問4～問8）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、305人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」の自由回答（抜粋）

○近所づきあいが最近希薄になっていると思う。お互いが声を掛けあう社会、挨拶が自然と交せる近隣との関係が防犯に自然と役立っているのではと思う。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

○主にテレビで犯罪情報等教えてくれて、心がまえが出来、助かっている。1度息子のなりすまし電話があったが未然にふせぐ事が出来て被害にあわずに済んだ。
（女性、65歳以上、東葛飾地域）

○出来ることであれば夜間のパトロールをお願いしたいです。仕事をしている為、妻も夜遅く歩いているとこわいと言ったりしているので。（男性、30代、葛南地域）

○犯罪を犯したくない街に。街をきれいにする活動。道行く人があいさつを元気に交わす街に。
（男性、30代、安房地域）

○子供との交流が年々少なくなって来てさびしい思いをしている。子供と老人の交流、犯罪の少ない安全な暮らしの基礎となる気がします。（男性、65歳以上、長生地域）

○近隣の交番は無人の時が多々ある。犯罪等はいつ起きるかわからないので、警察官の方の常駐をお願いしたい。（女性、65歳以上、千葉地域）

○街灯がない所が多く、夜歩いていて怖い。警察の方のパトロール強化や防犯カメラ等、未然に防ぐ対策をしてほしい。（女性、40代、印旛地域）

○犯罪の防止の為のパトロール強化と、改造バイク（マフラー等を外すなど騒音がうるさいバイク）の取締りと指導をお願いします。（男性、60～64歳、山武地域）

○子どもが住みやすい環境を作ってほしいです。私が子どもだった約20年前は、子どもだけで平気で公園に行かせていたと母が言っていましたが、私は正直、子どもを一人で公園に行かせるのは心配です。もっとご近所の付き合いなどを濃くして、安全に遊べる環境が欲しいです。
（女性、30代、葛南地域）

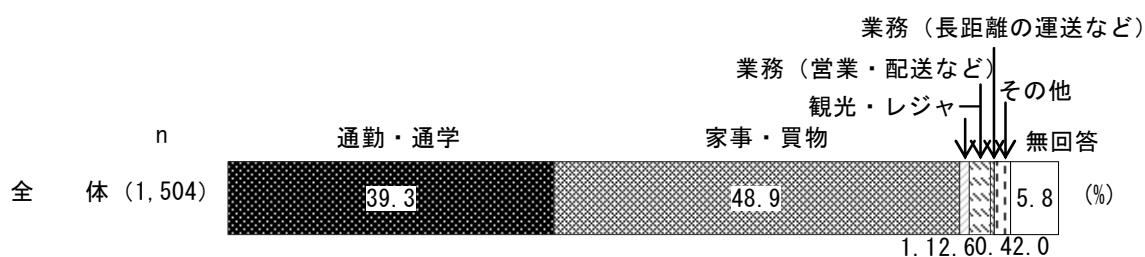
3 道路整備について

(1) 主な道路利用内容

◇「家事・買物」が約5割と最も多い

問9 あなたは普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。
(○は1つ)

<図表3-1>道路利用目的



普段の生活の中で道路を使用する目的を聞いたところ、「家事・買物」（48.9％）が約5割と最も多く、次いで「通勤・通学」（39.3％）が約4割となっている。（図表3-1）

【地域別】

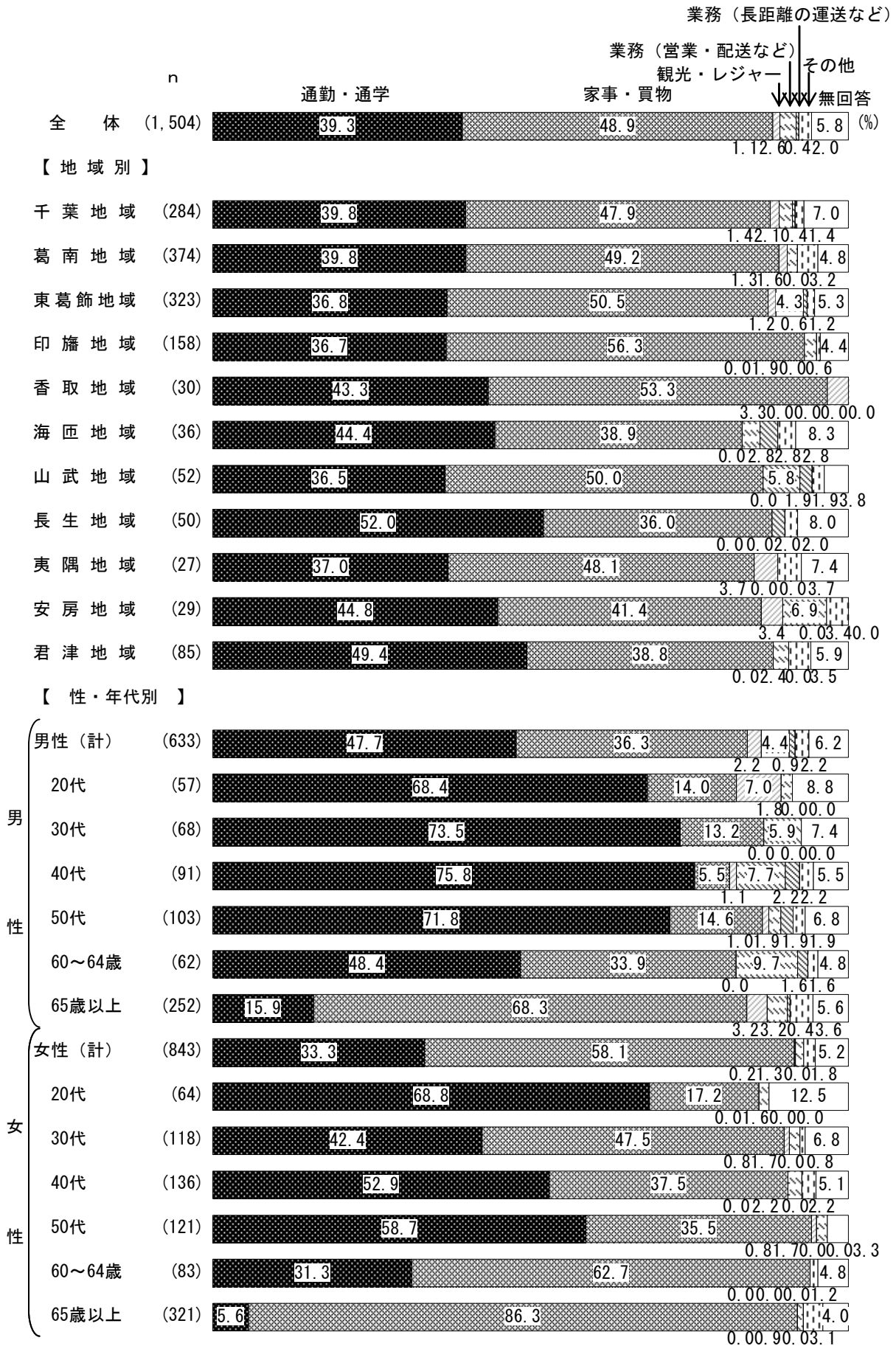
地域別にみると、「家事・買物」は“印旛地域”（56.3％）で5割台半ば、「通勤・通学」は“長生地域”（52.0％）で5割を超えて高くなっている。（図表3-2）

【性・年代別】

「家事・買物」は女性（58.1％）の方が約6割と高く、性・年代別でみると女性の65歳以上（86.3％）で8割台半ば、男性の65歳以上（68.3％）で約7割、女性の60～64歳（62.7％）で6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。

「通勤・通学」は男性（47.7％）の方が約5割と高く、性・年代別でみると、男性の40代（75.8％）、男性の30代（73.5％）、男性の50代（71.8％）で7割以上、女性の20代（68.8％）、男性の20代（68.4％）で約7割と他の年代に比べて高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2> 主な道路利用内容／地域別、性・年代別

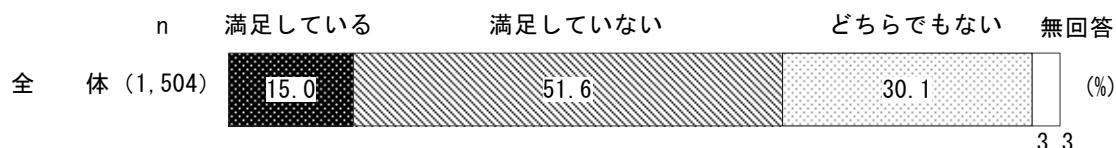


(2) 千葉県内の道路状況の満足度

◇「満足していない」が半数を超える

問10 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。(○は1つ)

＜図表3－3＞千葉県内の道路状況の満足度



千葉県内の道路状況について満足しているかを聞いたところ、「満足している」(15.0%)が1割台半ばとなっている。一方、「満足していない」(51.6%)が5割を超えている。(図表3－3)

【地域別】

地域別にみると、「満足している」は“海匝地域”(27.8%)で約3割と他の地域に比べて高くなっている。

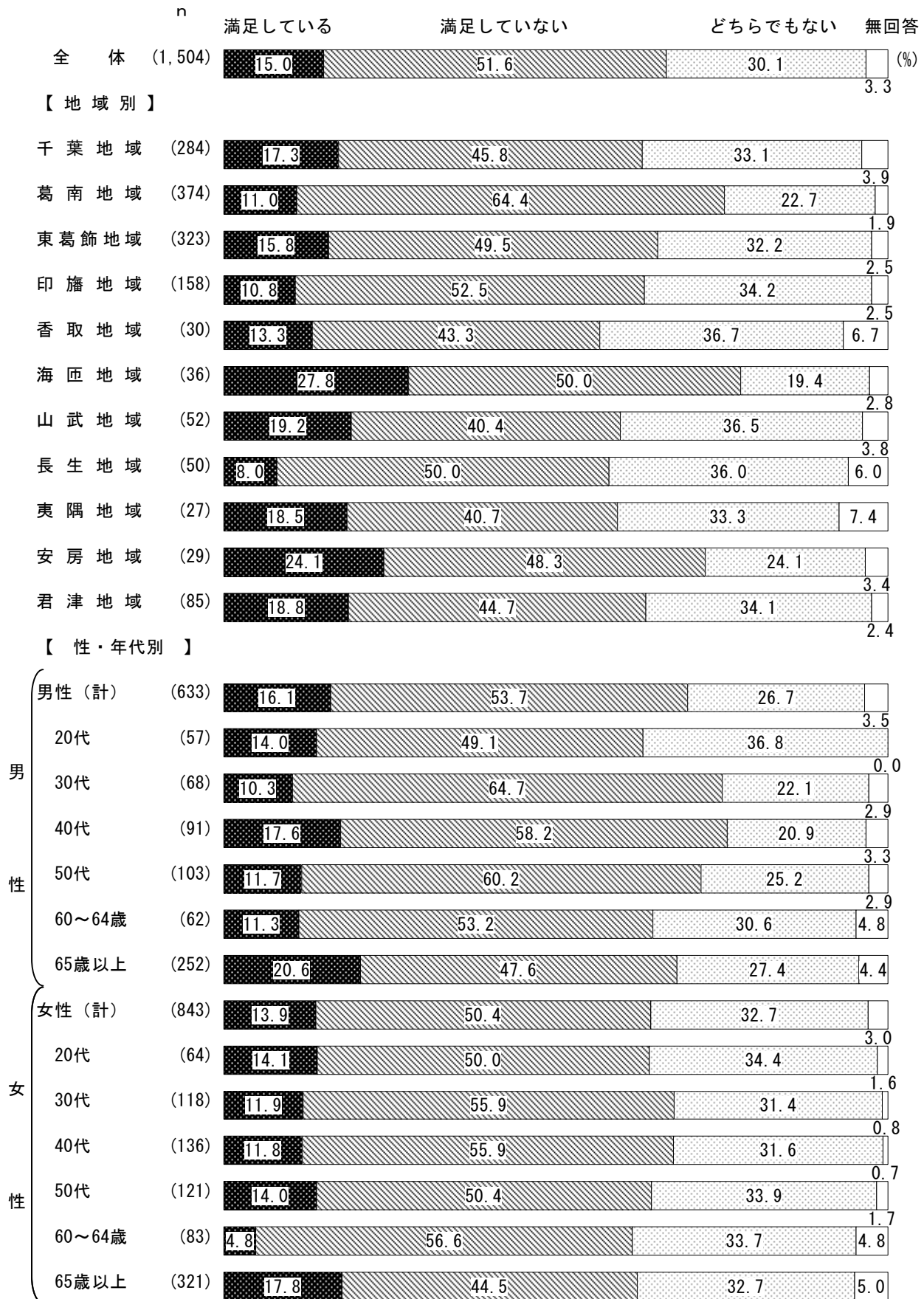
一方、「満足していない」は“葛南地域”(64.4%)で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表3－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「満足している」は男性65歳以上(20.6%)で2割と他の年代に比べて高くなっている。

一方、「満足していない」は男性の30代(64.7%)で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。
(図表3－4)

<図表3-4>千葉県内の道路状況の満足度／地域別、性・年代別

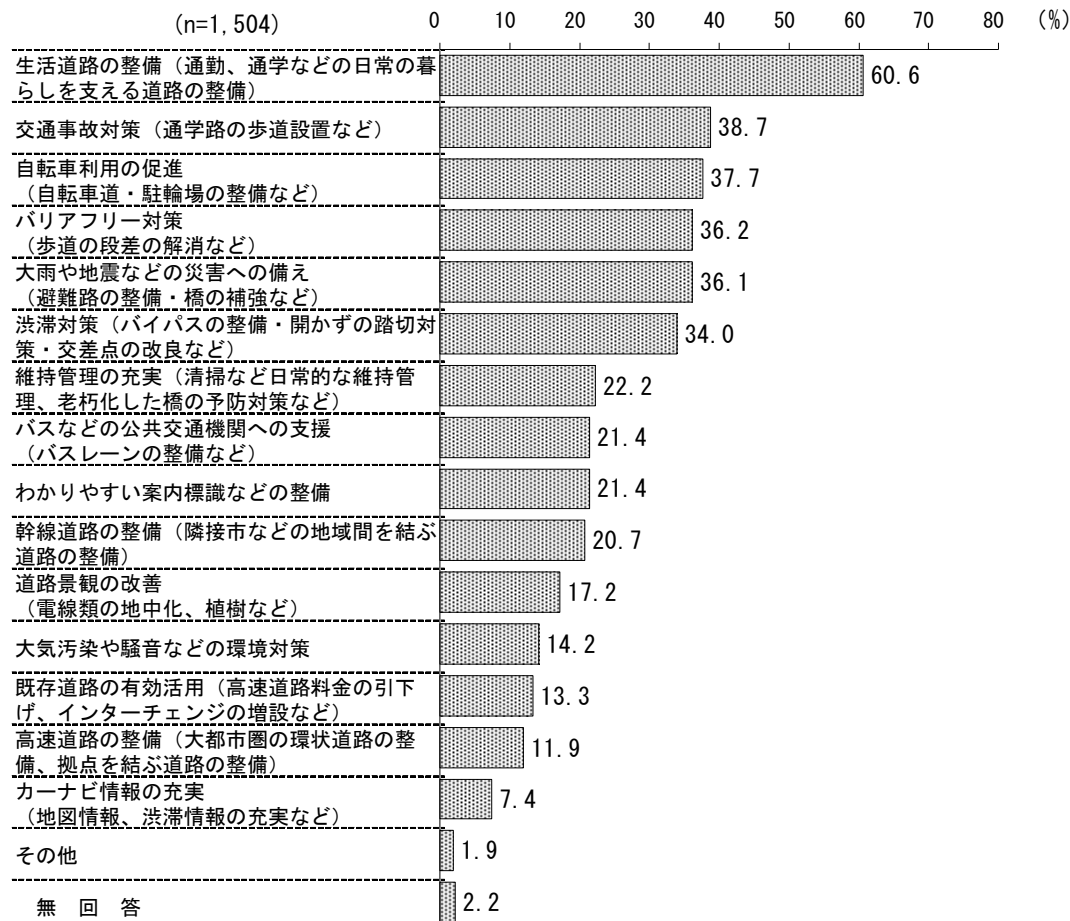


(3) 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題

◇「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」が6割と最も高い

問11 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。
(○はいくつでも)

<図表3-5> 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題としては、「生活道路の整備」（60.6%）が6割と最も高い。以下、「交通事故対策」（38.7%）、「自転車利用の促進」（37.7%）、「バリアフリー対策」（36.2%）、「大雨や地震などの災害への備え」（36.1%）、「渋滞対策」（34.0%）が続く。

(図表3-5)

【地域別】

地域別にみると、「生活道路の整備」は“葛南地域”（67.6%）で約7割、「自転車利用の促進」は“葛南地域”（48.1%）で約5割で他の地域と比べて高くなっている。

「バリアフリー対策」は“葛南地域”（42.5%）で4割以上と他の地域に比べて高くなっている。

「渋滞対策」は“葛南地域”（40.4%）で4割と他の地域に比べて高くなっている。

「バスなどの公共交通機関への支援」は“印旛地域”（27.8%）で約3割と他の地域に比べて高くなっている。

「わかりやすい案内標識などの整備」は“夷隅地域”（40.7%）で4割、“長生地域”（38.0%）で約4割と他の地域に比べて高くなっている。

「幹線道路の整備」は“海匝地域”（38.9%）、“安房地域”（37.9%）で約4割と他の地域に比べて高くなっている。（図表3－6）

【性・年代別】

「生活道路の整備」は女性（64.2%）の方が6割台半ばと高くなっている。

「交通事故対策」は女性の40代（51.5%）、女性の20代（50.0%）で5割以上と高くなっている。

「バリアフリー対策」は女性（40.7%）の方が4割と高く、特に女性の60～64歳（49.4%）、女性65歳以上（48.0%）で約5割と高くなっている。

「大雨や地震などの災害への備え」は女性30代（47.5%）で約5割と高くなっている。

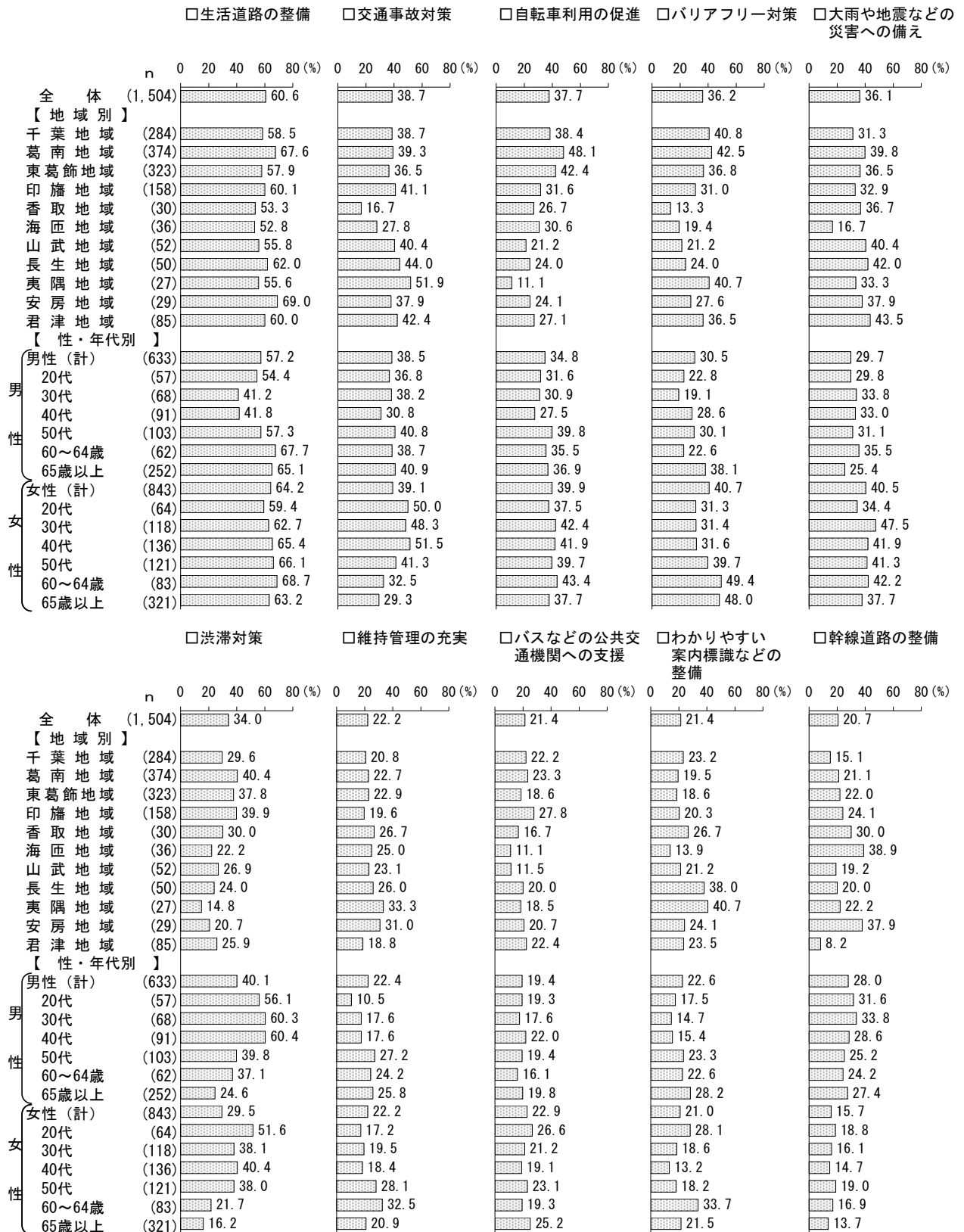
「渋滞対策」は男性（40.1%）の方が4割と高く、特に男性40代（60.4%）、男性30代（60.3%）で6割を超え、男性20代（56.1%）で5割台半ばと高くなっている。

「維持管理の充実」は女性60～64歳（32.5%）で3割を超えて高くなっている。

「わかりやすい案内標識などの整備」は女性60～64歳（33.7%）で3割台半ば、男性65歳以上（28.2%）、女性20代（28.1%）で約3割と高くなっている。

「幹線道路の整備」は男性（28.0%）の方が約3割と高く、特に男性30代（33.8%）で3割台半ば、男性20代（31.6%）で3割を超えて高くなっている。（図表3－6）

＜図表３－６＞今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）
／地域別、性・年代別



このほかに、「道路整備について」やここまでの質問（問9～問11）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、360人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「道路整備について」の自由回答（抜粋）

○歩道のブロックがずれていたり、歩いている時は気づかないが、ベビーカー、車椅子などを押しているとつかかることが多い。（女性、50代、葛南地域）

○舗装工事をしているかと思えば、すぐに掘り返している状態でデコボコ状態が長期にわたり継続しているので、掘り返す必要がある状態が発生すれば、横の連携をとってまとめてやってもらいたい。（男性、65歳以上、千葉地域）

○道路に立木の枝が出て、車を運転する際大変見透しが悪く、危険な箇所がある。樹木が多いのは大変良いが、道路際の整備はもっと安全になる様をお願いしたい。（男性、65歳以上、長生地域）

○館山道は非常に便利なのに、一車線しかない区間があるので、すべて2車線にして欲しい。圏央道も同じ。（男性、20代、君津地域）

○千葉県は観光地が多いのに交通の不便さがあり、根本的に高速道路等を拡充してほしい。
（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○子供達の通学道路の整備をしっかりとって欲しい。歩道が整備されていない通学路をしっかりと安全に歩けるようにしてほしい。（女性、65歳以上、夷隅地域）

○自転車専用道路が欲しい。車道と歩道、どちらを走って良いのか…。道路が狭い。運転する側からも、危ない。（女性、40代、葛南地域）

○常に感じている事です、地震及び災害の時に、現在日本の国がほとんど電柱がたって居る為、電線類の地中化がとても重要な事と思っています。景観より何よりも、災害の時を考えると、早く地中化が必要ではないでしょうか？（女性、65歳以上、東葛飾地域）

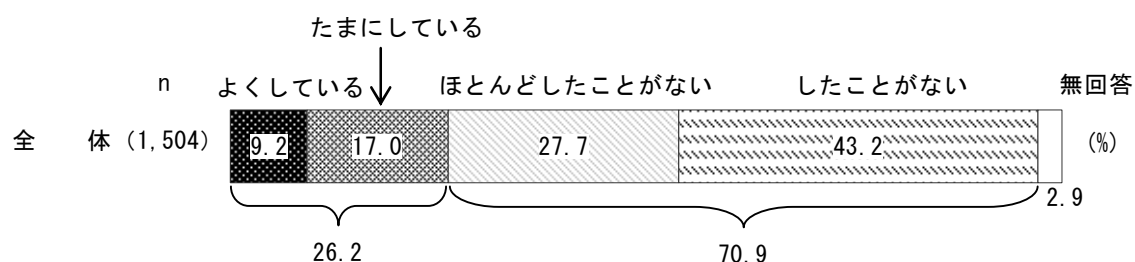
4 障害者施策について

(1) 障害のある人に対する支援経験

◇『したことがない』が7割

問12 あなたは、障害のある人に対する支援をしたことがありますか。(仕事やボランティア等)
(○は1つ)

＜図表4－1＞障害のある人に対する支援経験



障害のある人に支援をしたことがあるかを聞いたところ、「したことがない」(43.2%)が4割台半ば、「ほとんどしたことがない」(27.7%)を合わせた『したことがない』(70.9%)は7割となっている。

一方、「よくしている」(9.2%)、「たまにしている」(17.0%)を合わせた『している』(26.2%)は2割台半ばとなっている。(図表4－1)

【地域別】

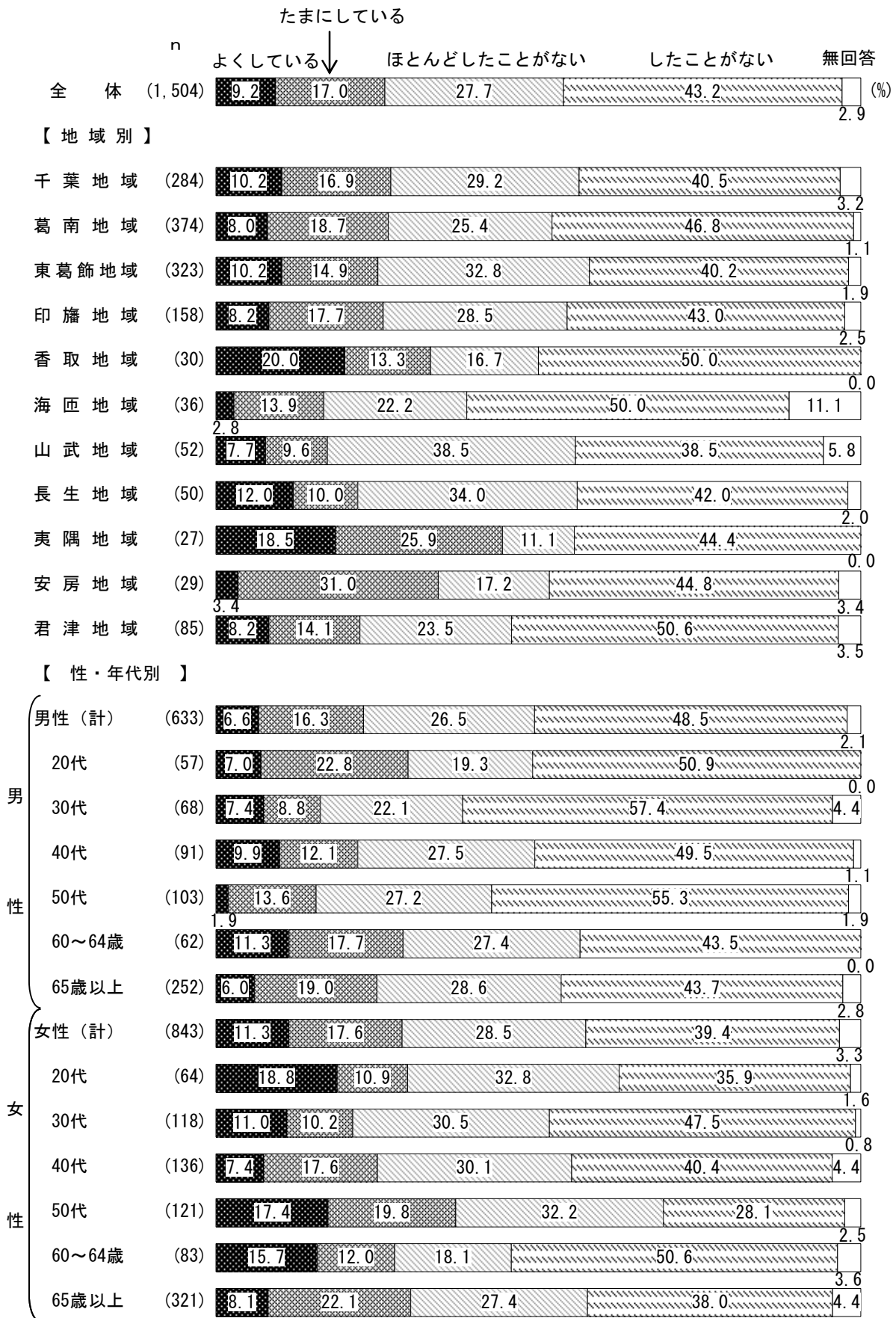
地域別にみると、『している』は“夷隅地域”(44.4%)で4割台半ば、「よくしている」は“香取地域”(20.0%)で2割と他の地域に比べて高くなっている。(図表4－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『している』は女性の50代(37.2%)で約4割と高く、「よくしている」は女性の20代(18.8%)、女性の50代(17.4%)で約2割、女性の60～64歳(15.7%)で1割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、『したことがない』は男性の50代(82.5%)で8割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。(図表4－2)

＜図表４－２＞障害のある人に対する支援経験／地域別、性・年代別

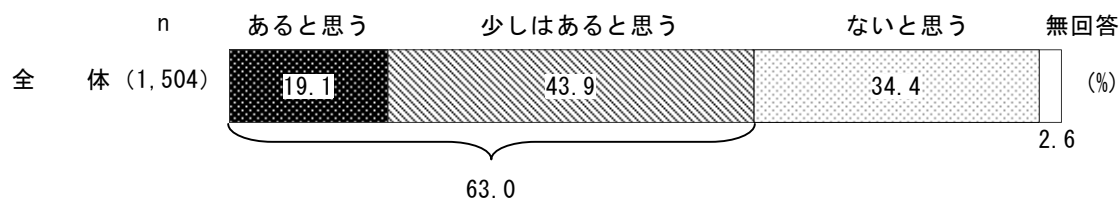


(2) 障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見の有無

◇『あると思う』が6割台半ば

問13 あなたは、障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。
(○は1つ)

<図表4-3>障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見の有無



障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思うか聞いたところ、「あると思う」(19.1%)が約2割、「少しはあると思う」(43.9%)を合わせた『あると思う』(63.0%)は6割台半ばとなっている。(図表4-3)

【地域別】

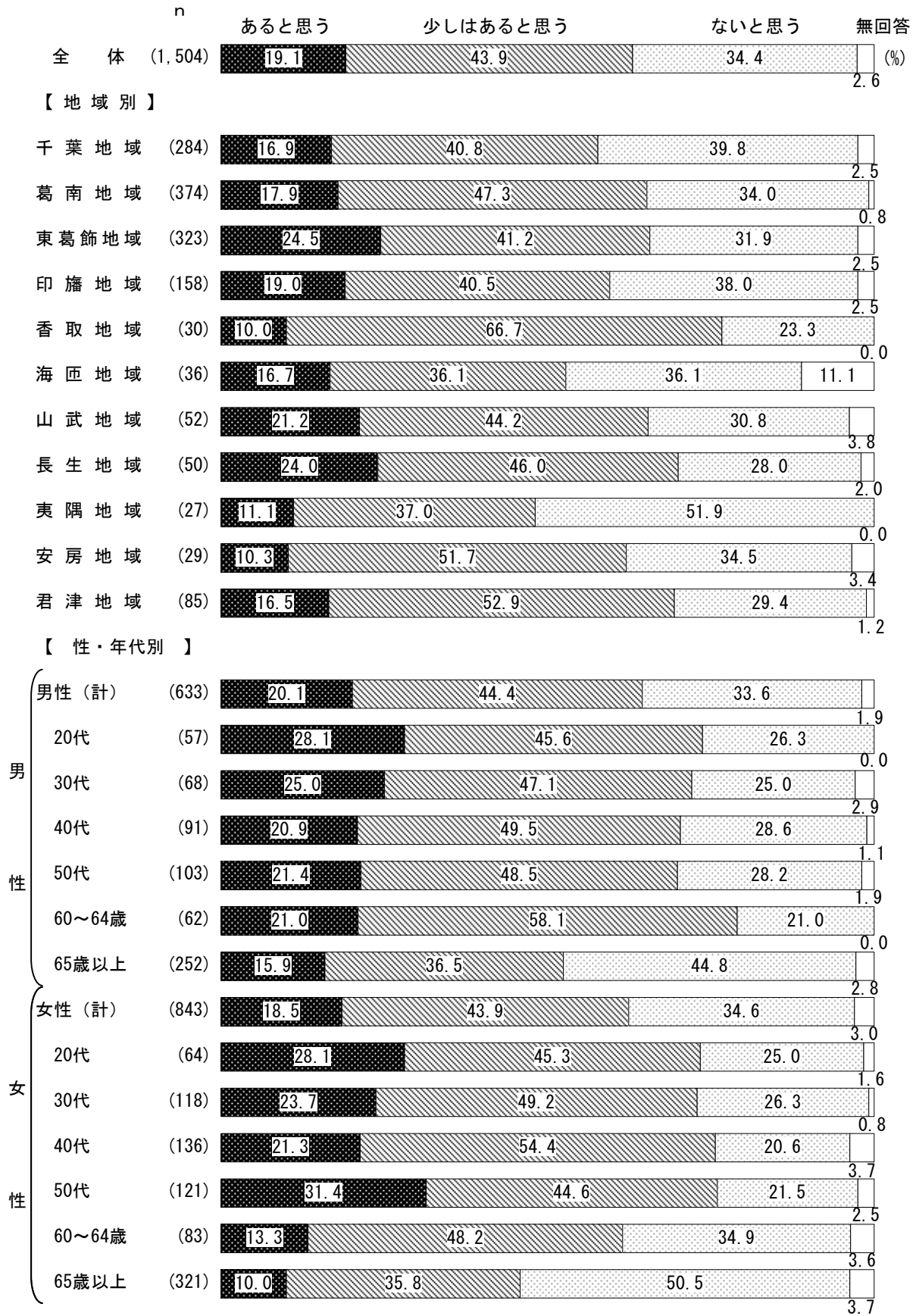
地域別にみると「あると思う」は、“東葛飾地域”(24.5%)、“長生地域”(24.0%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『あると思う』は男性の60～64歳(79.0%)で約8割、女性の50代(76.0%)、女性の40代(75.7%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、「ないと思う」は女性の65歳以上(50.5%)で5割、男性の65歳以上(44.8%)で4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表4-4)

<図表４－４>障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別

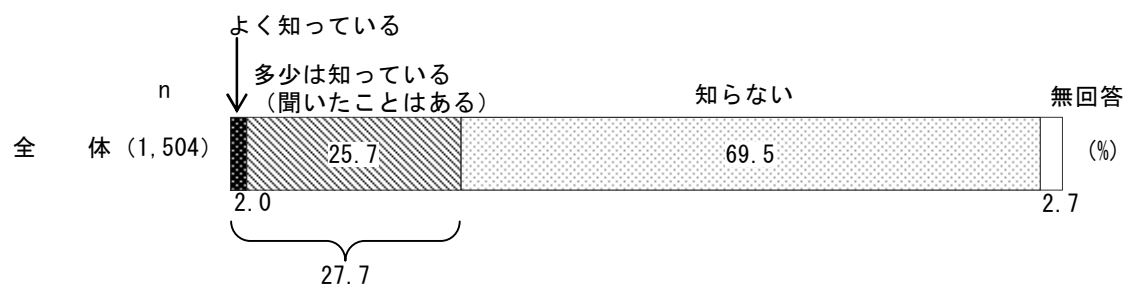


(3) 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知状況

◇「知らない」が約7割

問14 あなたは、障害のある人に対する差別をなくすための「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表4－5＞「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知状況



障害のある人に対する差別をなくすための「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を知っているか聞いたところ、「知らない」(69.5%)が約7割となっている。

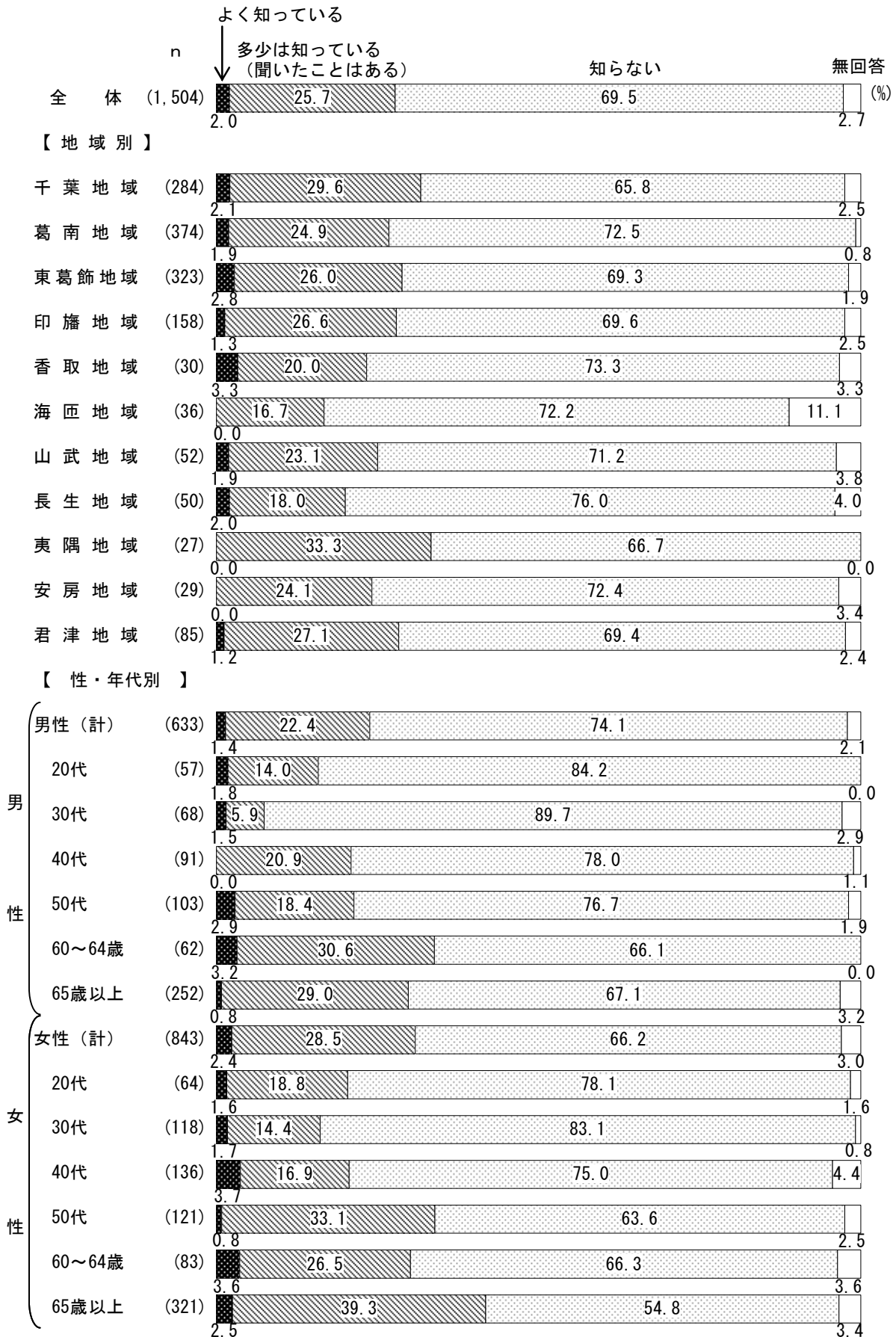
一方、「よく知っている」(2.0%)、「多少は知っている」(25.7%)を合わせた『知っている』(27.7%)は約3割となっている。(図表4－5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(41.7%)で4割を超え、他の年代に比べて高くなっている。

一方、「知らない」は男性の30代(89.7%)で約9割、男性の20代(84.2%)、女性の30代(83.1%)で8割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表4－6)

＜図表４－６＞「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知状況／
地域別、性・年代別

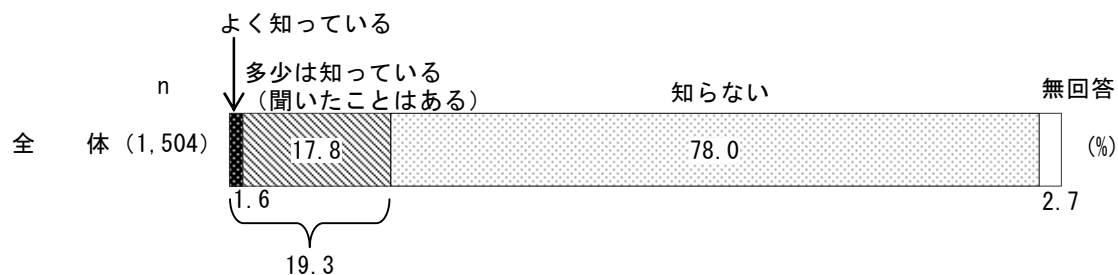


(4) 「障害者差別解消法」認知状況

◇「知らない」が約8割

問15 あなたは平成28年4月から施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）を知っていますか。（○は1つ）

<図表4-7> 「障害者差別解消法」認知状況



平成28年4月から施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）を知っているか聞いたところ、「知らない」（78.0%）が約8割となっている。

一方、「よく知っている」（1.6%）、「多少は知っている」（17.8%）を合わせた『知っている』（19.3%）。は約2割となっている。（図表4-7）

【地域別】

地域別にみると、『知っている』は、“夷隅地域”（37.0%）で約4割と他の地域に比べて高くなっている。

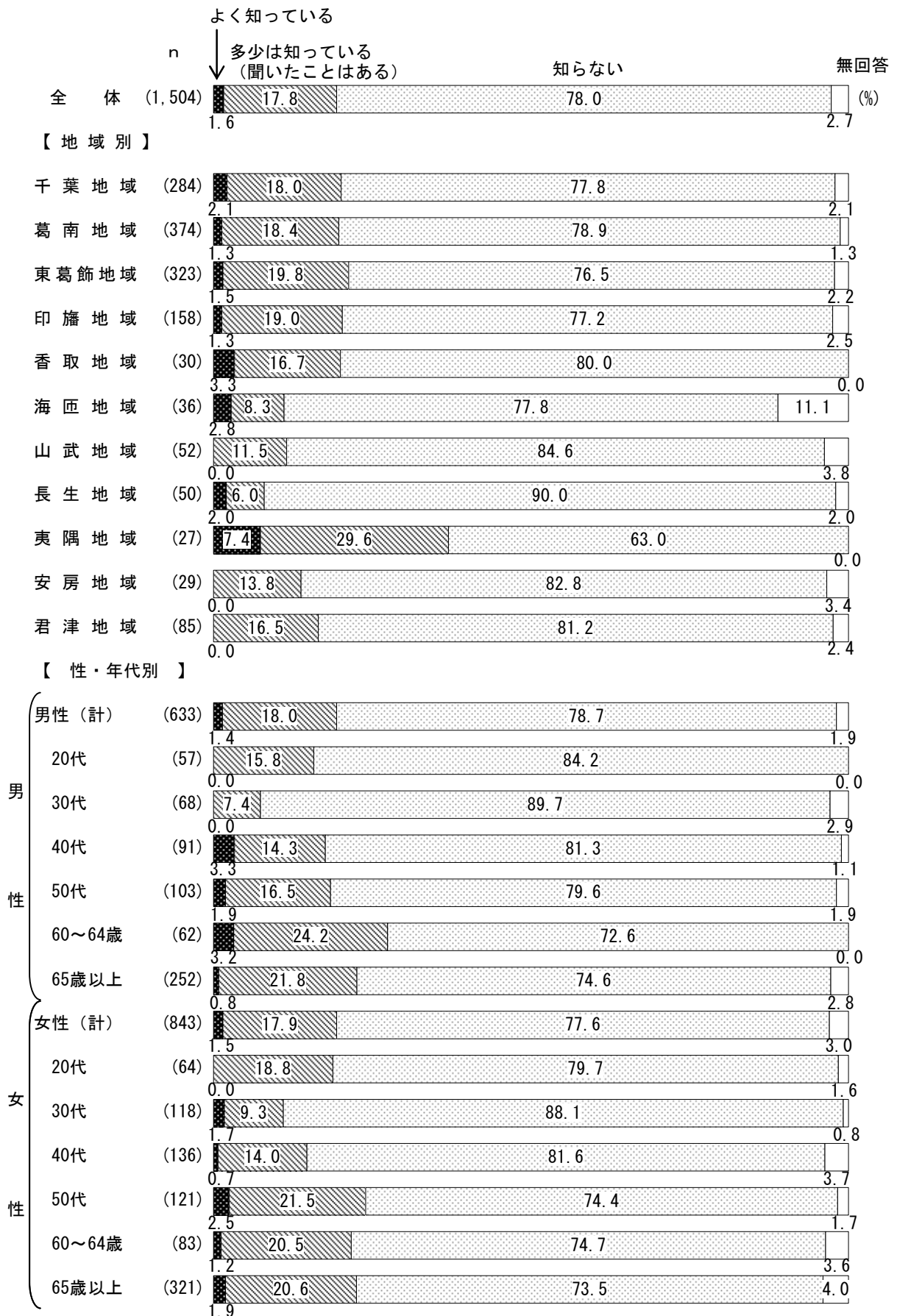
一方、「知らない」は“長生地域”（90.0%）で9割と他の地域に比べて高くなっている。

（図表4-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知らない」は男性の30代（89.7%）、女性の30代（88.1%）で約9割と他の年代に比べて高くなっている。（図表4-8）

＜図表４－８＞「障害者差別解消法」認知状況／地域別、性・年代別



このほかに、「障害者施策について」やここまでの質問（問12～問15）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、193 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「障害者施策について」の自由回答（抜粋）

- 障害者の活躍している状況や環境を整備する事で、可能性を増やす施策などを公表し、認識してもらおう方法を検討する。（男性、40 代、君津地域）

- 障害者認定の有無に関係無く県、市で取り組んでほしいです。外観で他人に認めてもらえる人と内面上の人とではむずかしいけれど、車の表示マークの小さい物でもいいので持参してもらえる様にしようと思つて助かります。（女性、50 代、東葛飾地域）

- バリアフリーや視覚支援は最低やらなければいけないことだと思う。誰でもわかるよう、ユニバーサルデザインを色々な所にとり入れるべき。健常者でも分かりづらいことが多い。標識など。（男性、20 代、葛南地域）

- 障害を持っても社会復帰したいと思う人は多いのに、元の職場へ戻るための支援が不足していると思う。元の職場でなくても、働ける場所が少ないと思う。企業などにも理解を促進してほしい。大企業だけでなく、中小企業にも。（女性、30 代、海匝地域）

- 子供達にも障害のある方々への接し方を経験によって育てられるような環境を作ってあげて欲しい。（女性、60～64 歳、夷隅地域）

- 障害者になりえることが誰にでもあることをもっともっと認知すべきことであると思います。突然自分になってしまつてはじめて解ることがあります。身近な所に早い時期にそういうこと知ることが大切だと考えます。（男性、50 代、山武地域）

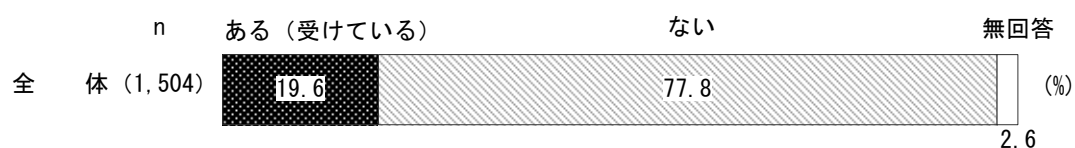
5 地域リハビリテーションについて

(1) リハビリテーションを受けた経験

◇「ない」が約8割

問16 あなた（または家族）は、地域や病院、施設等で、理学療法士、作業療法士または言語聴覚士などによるリハビリテーションを受けたことがありますか。（または現在受けていますか。）（○は1つ）

＜図表5－1＞リハビリテーションを受けた経験



地域や病院、施設等で、理学療法士、作業療法士または言語聴覚士などによるリハビリテーションを受けたことがあるかを聞いたところ、「ない」（77.8％）が約8割となっている。

一方、「ある（受けている）」（19.6％）は約2割となっている。（図表5－1）

【地域別】

地域別にみると、「ある」は“千葉地域”（25.4％）、“海匝地域”（25.0％）で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

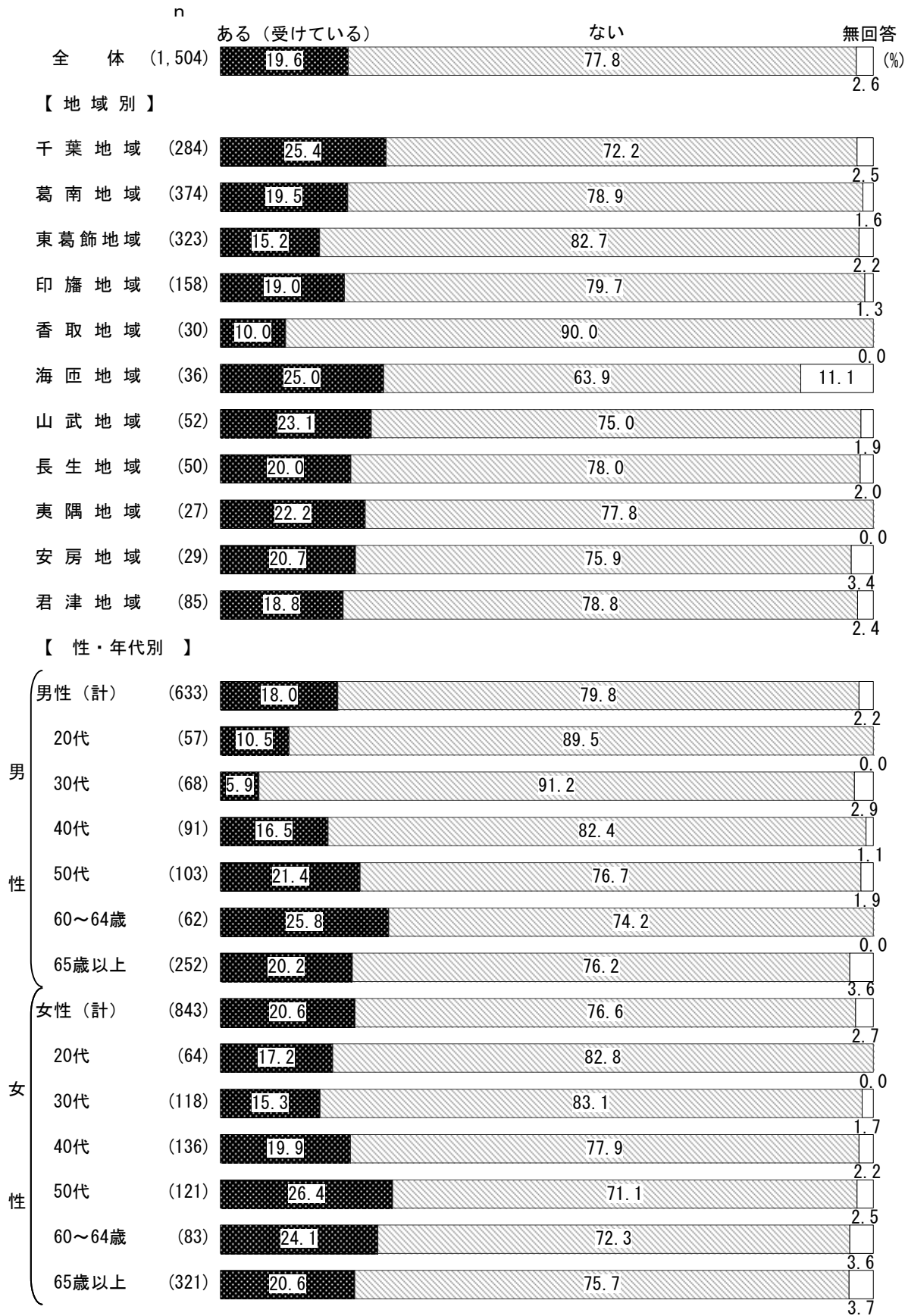
一方、「ない」は、“香取地域”（90.0％）で9割、“東葛飾地域”（82.7％）で8割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。（図表5－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ある」は女性の50代（26.4％）、男性の60～64歳（25.8％）で2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、「ない」は、男性の30代（91.2％）で9割を超え、男性の20代（89.5％）で約9割と他の年代に比べて高くなっている。（図表5－2）

<図表５－２>リハビリテーションを受けた経験／地域別、性・年代別



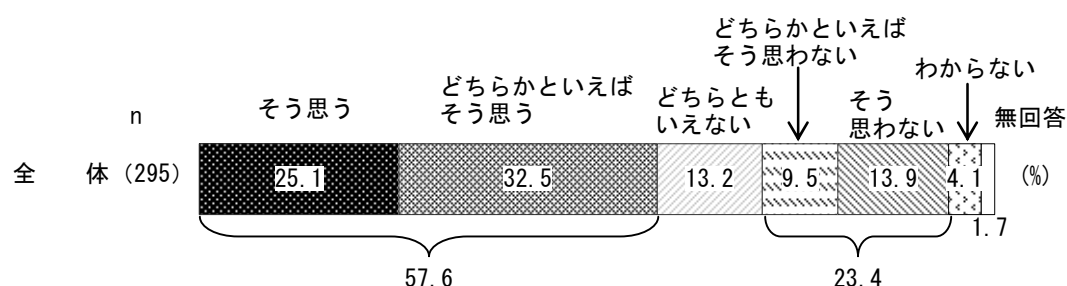
(2) 適切なリハビリテーションが提供されたと思うか

◇『そう思う』が約6割

(問16で「ある(受けている)」とお答えの方に)

問17 あなた(または家族)は、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された(されている)と思いますか。(○は1つ)

<図表5-3>適切なリハビリテーションが提供された(されている)と思うか



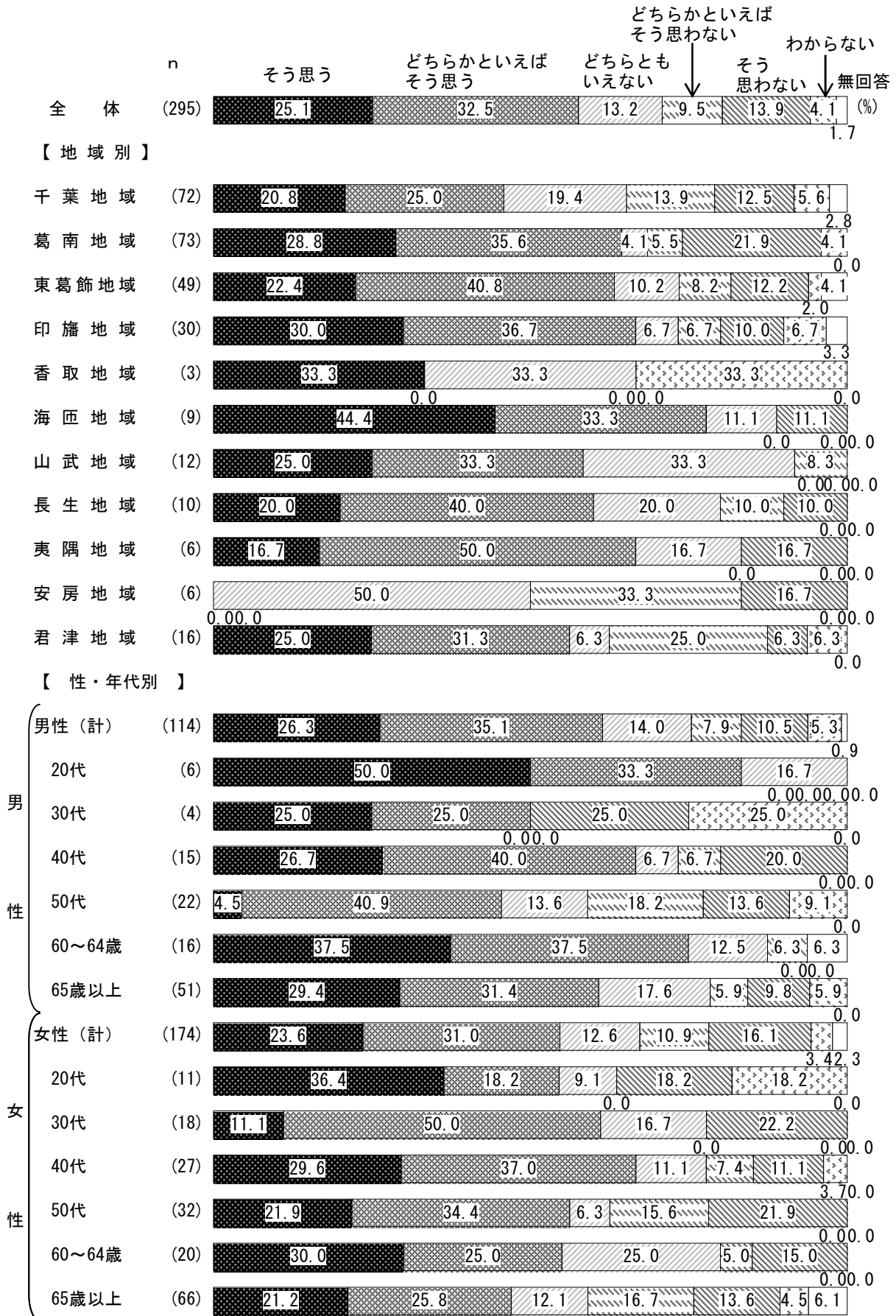
リハビリテーションを受けたことがある295人に対して、地域での介護予防から入院中・退院後の生活までのそれぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供されたと思うかの問いには、「そう思う」(25.1%)が2割台半ばで、「どちらかといえばそう思う」(32.5%)を合わせた『そう思う』(57.6%)は約6割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.5%)、「そう思わない」(13.9%)を合わせた『そう思わない』(23.4%)は2割台半ばとなっている。(図表5-3)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない』は女性の50代(37.5%)で約4割と他の年代に比べて高くなっている。(図表5-4)

＜図表５－４＞適切なリハビリテーションが提供された（されている）と思うか／地域別、性・年代別

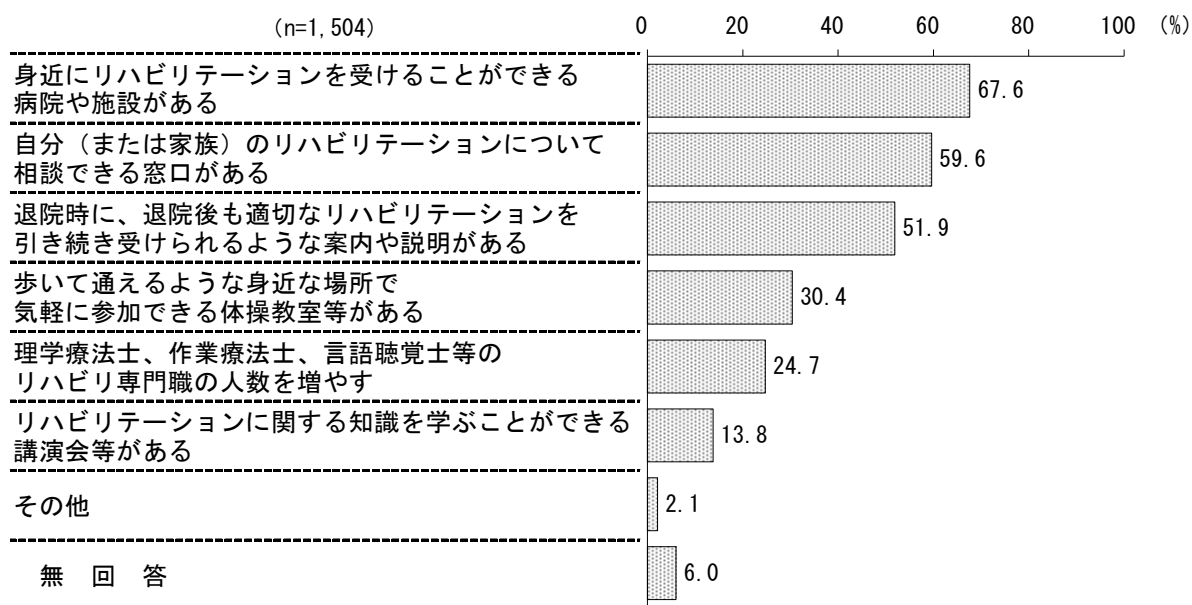


(3) 適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと

◇「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」が約7割

問18 適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

＜図表5-5＞適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと（複数回答）



適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うことは、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」(67.6%)が約7割と最も高い。以下、「自分（または家族）のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」(59.6%)、「退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある」(51.9%)、「歩いて通えるような身近な場所で気軽に参加できる体操教室等がある」(30.4%)となっている。(図表5-5)

【地域別】

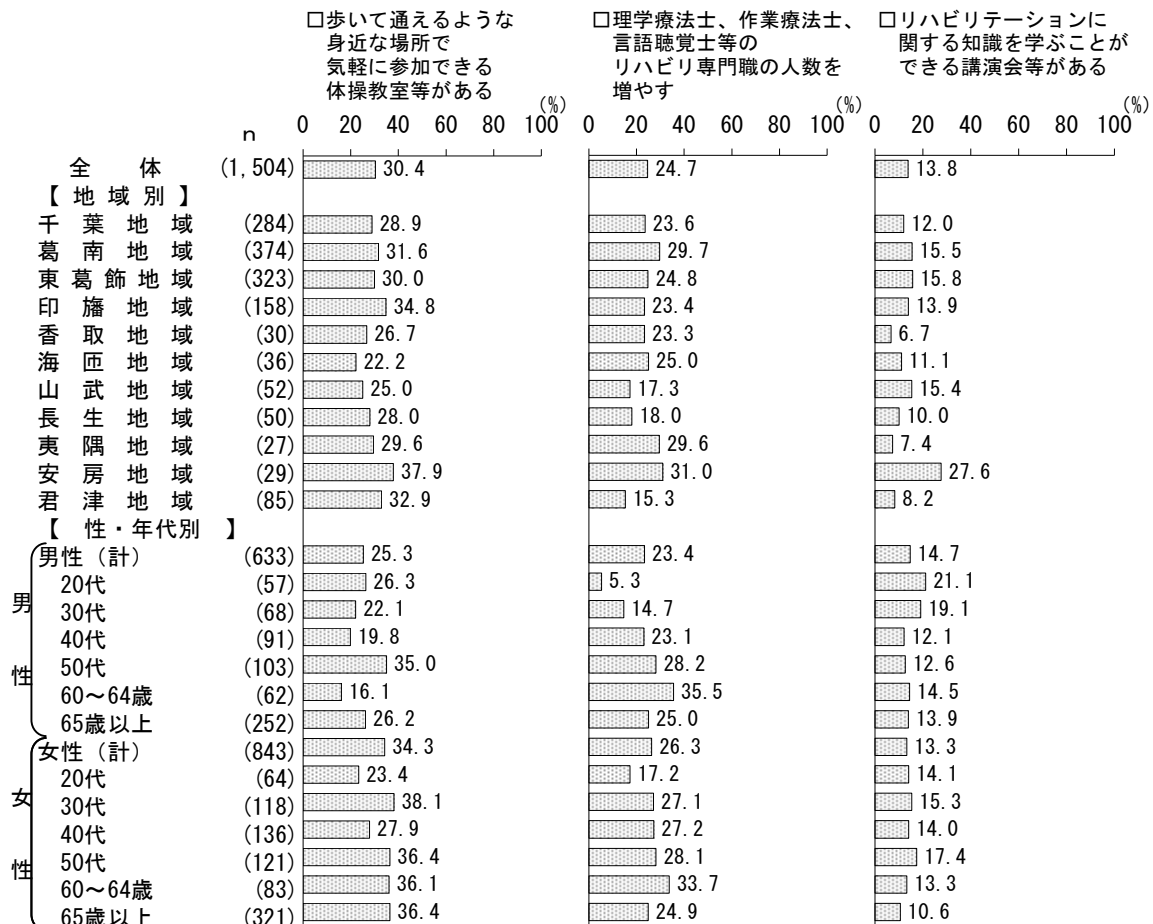
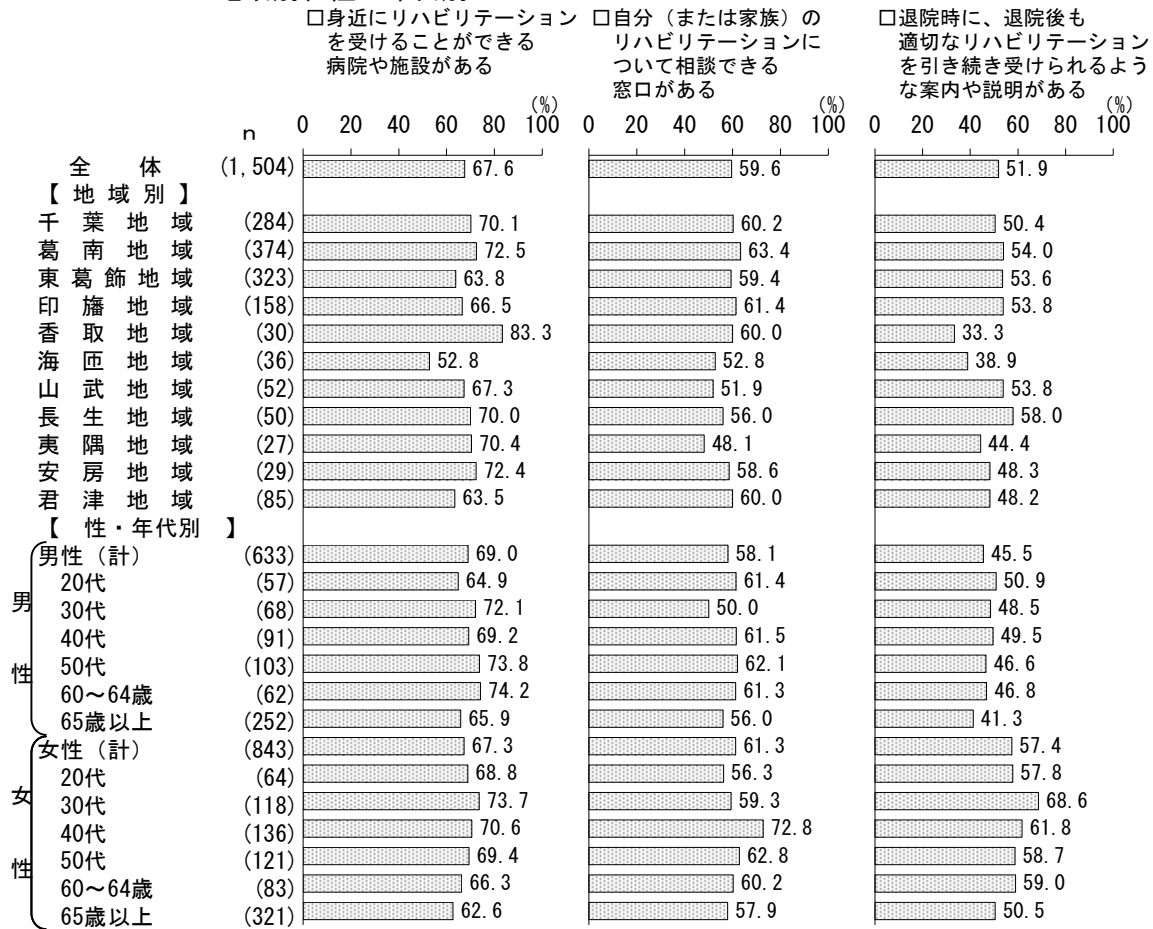
地域別にみると、「身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある」は“香取地域”(83.3%)で8割台半ば、“葛南地域”(72.5%)、“安房地域”(72.4%)で7割を超えて高くなっている。また、「リハビリテーションに関する知識を学ぶことができる講演会等がある」は“安房地域”(27.6%)で約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表5-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分（または家族）のリハビリテーションについて相談できる窓口がある」は女性の40代(72.8%)で7割を超えており、「退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある」は女性の30代(68.6%)、女性の40代(61.8%)で6割以上と他の年代に比べて高くなっている。(図表5-6)

＜図表５－６＞適切なリハビリテーションが提供されるために重要だと思うこと（複数回答）

／地域別、性・年代別

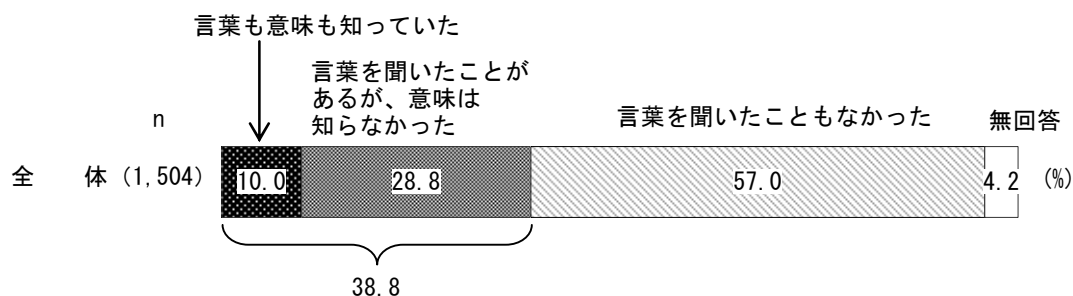


(4) 「地域リハビリテーション」という言葉の認知度

◇『知っていた』は約4割

問19 あなたは、「地域リハビリテーション」(※別紙「地域リハビリテーション体制の概要」参照)という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

＜図表5－7＞「地域リハビリテーション」という言葉の認知度



「地域リハビリテーション」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉も意味も知っていた」(10.0%)が1割、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(28.8%)を合わせた『知っていた』(38.8%)は約4割となっている。一方、「言葉を聞いたこともなかった」(57.0%)は約6割となっている。(図表5－7)

【地域別】

地域別にみると、『知っていた』は“香取地域”(56.7%)、“安房地域”(55.2%)で5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

一方、「言葉を聞いたこともなかった」は“長生地域”(72.0%)で7割を超え、他の地域に比べて高くなっている。

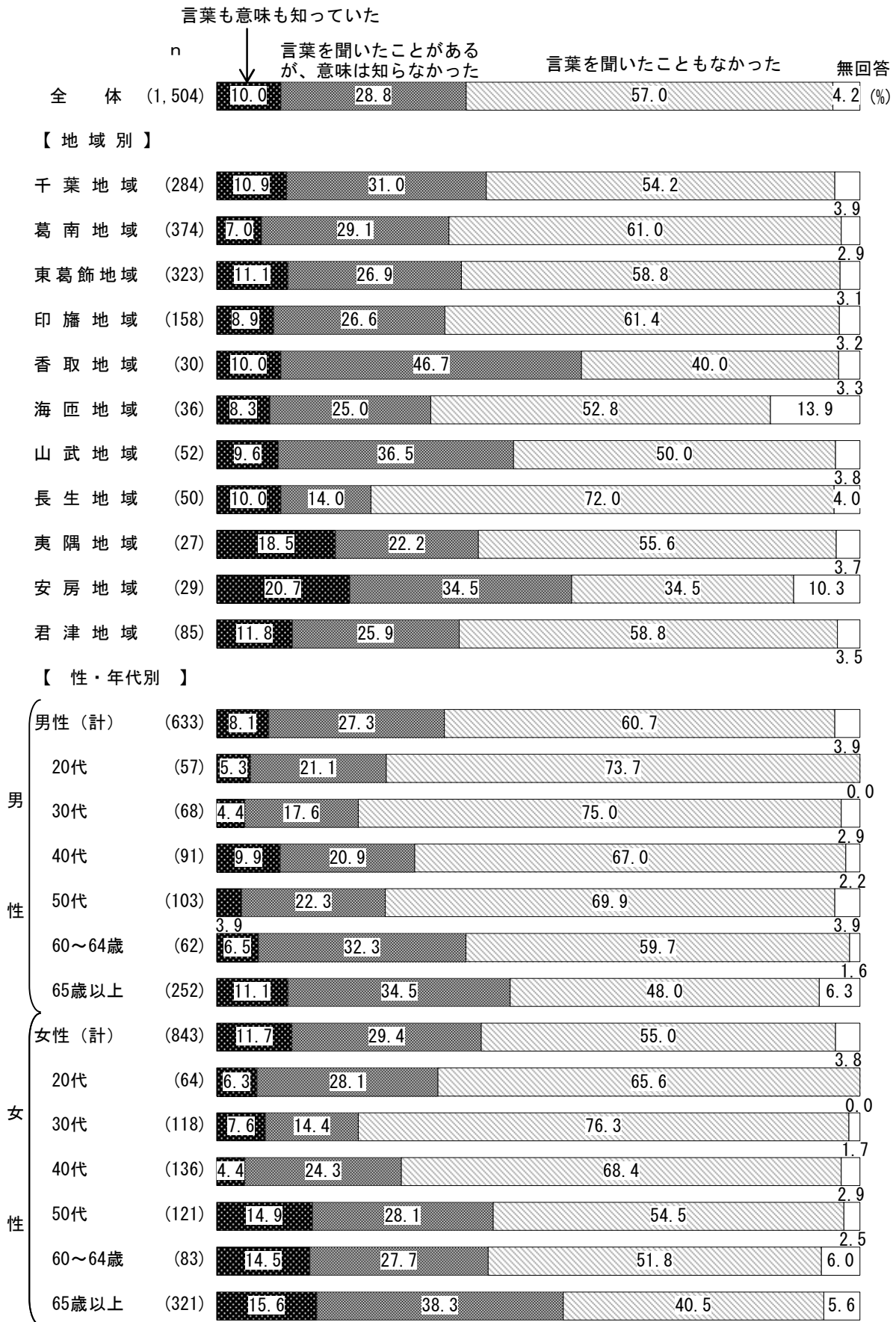
(図表5－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っていた』は女性の65歳以上(53.9%)で5割台半ばと他の年代に比べて特に高くなっている。

一方、「言葉を聞いたこともなかった」は女性の30代(76.3%)、男性の30代(75.0%)、男性の20代(73.7%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表5－8)

＜図表５－８＞「地域リハビリテーション」という言葉の認知度／地域別、性・年代別

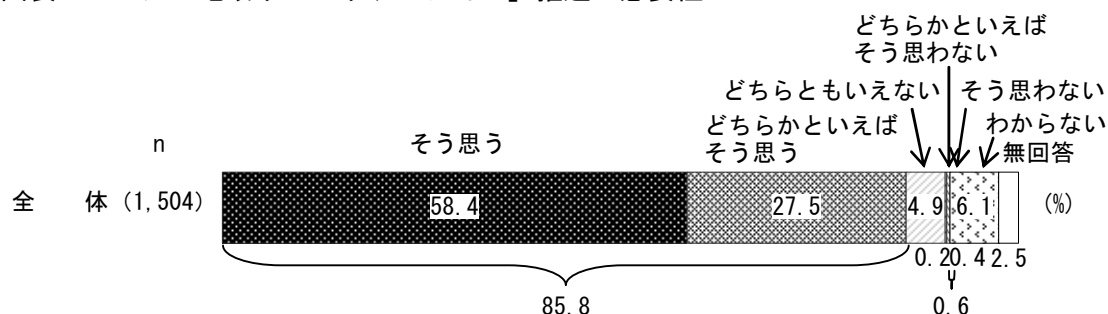


(5) 「地域リハビリテーション」推進の必要性

◇『そう思う』が8割台半ば

問20 あなたは、「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思いますか。(○は1つ)

<図表5-9> 「地域リハビリテーション」推進の必要性



「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思うか聞いたところ、「そう思う」(58.4%)が約6割と高く、「どちらかといえばそう思う」(27.5%)を合わせた『そう思う』(85.8%)は8割台半ばとなっている。(図表5-9)

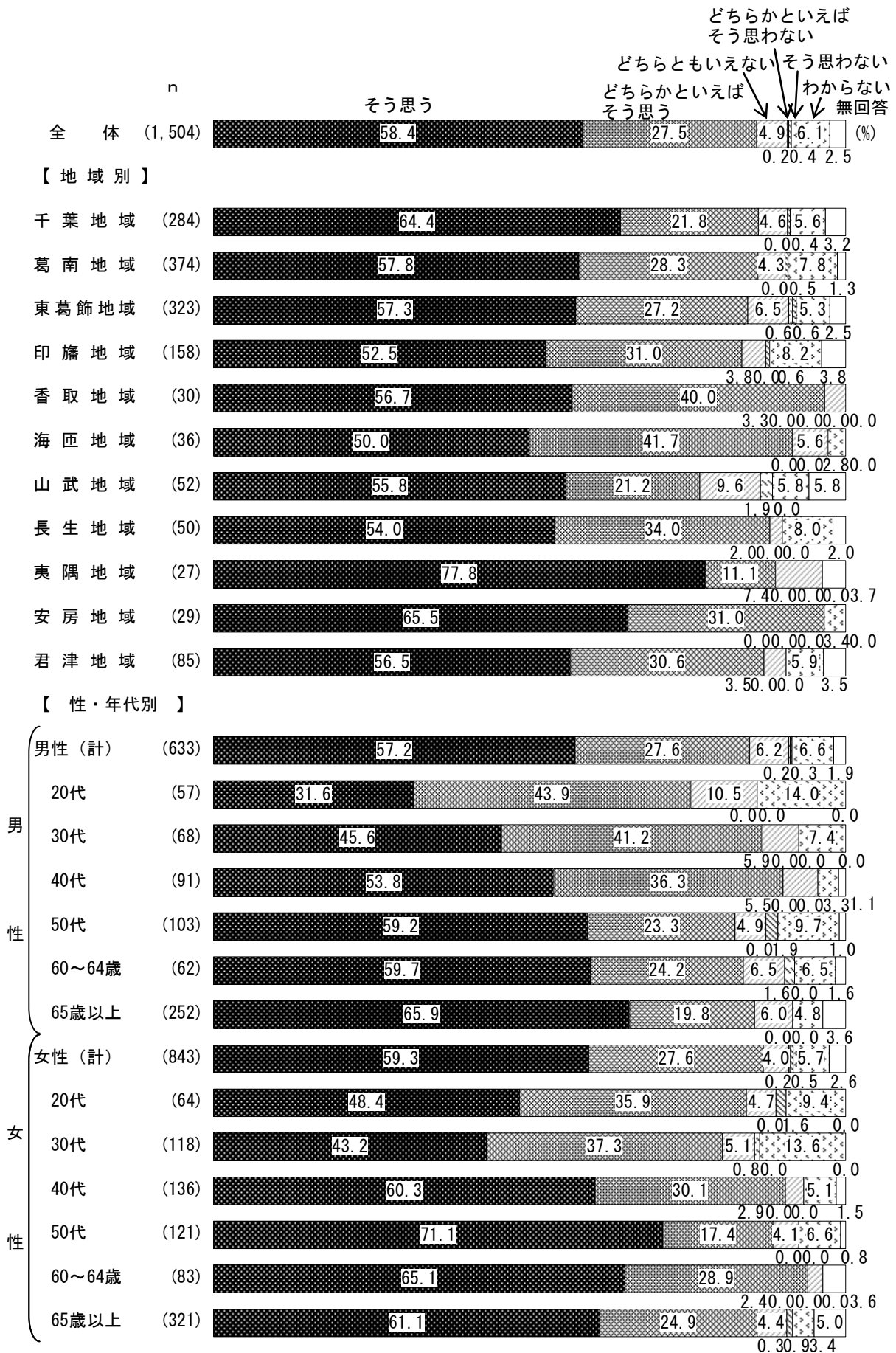
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“香取地域”(96.7%)、“安房地域”(96.6%)で9割台半ばと高く、「そう思う」は“夷隅地域”(77.8%)で約8割と他の地域に比べて高くなっている。(図表5-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の60～64歳(94.0%)で9割台半ばと高く、「そう思う」は女性の50代(71.1%)で7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表5-10)

＜図表５－１０＞「地域リハビリテーション」推進の必要性／地域別、性・年代別



このほかに、「地域リハビリテーションについて」やここまでの質問（問16～問20）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、154 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「地域リハビリテーションについて」の自由回答（抜粋）

○医療のリハビリは期間が定められていて、長くは続けられない。介護のリハビリは数が少なく、新規で利用したい人の枠がないのでリハビリがとぎれてしまう。（女性、50 代、安房地域）

○地方・地域により、リハビリについては格差があると思うので、解消に向けて取り組んでもらいたい。（男性、50 代、海匝地域）

○自分の身体は自分で守る、自分で工夫するのが大事で、何もかも行政に頼るのはどうでしょうか？ もちろんなにか良い取り組みがあれば参加させていただきますが。

（男性、65 歳以上、千葉地域）

○地域リハビリテーションという言葉はずいぶん前からよく使われるようになったと思うが、実際、状況はあまり変わっていないと思う。（女性、30 代、海匝地域）

○年を増すごとに家族自体も年をとり、介護出来ない家族が多くなっている為、地域でのリハビリテーション体制は必要だと感じています。（女性、20 代、香取地域）

○リハビリは早くから（軽いうち）行うことが必要だと思います。地域の敬老会等のメンバー等から早く情報を吸いあげ、リハビリ等に対してのアドバイスや実施方法等の伝達などの推進（障害をもっている人も介護認定を受けてない人は数多いと思います）。

（男性、65 歳以上、千葉地域）

○地域リハビリ施設が近くになかったり、満室、費用等で利用できない人が多くいる。要介護の際はスムーズにサービスを受けられるように整備してほしい。（男性、50 代、東葛飾地域）

○地域リハビリテーションという言葉も知らなかったなので、そういうものがあるという広報をしてほしいと思います。特に予防的リハビリテーション等は、気軽に参加できるようなものにしてほしいです（例えば公園でのラジオ体操など）。（女性、60～64 歳、印旛地域）

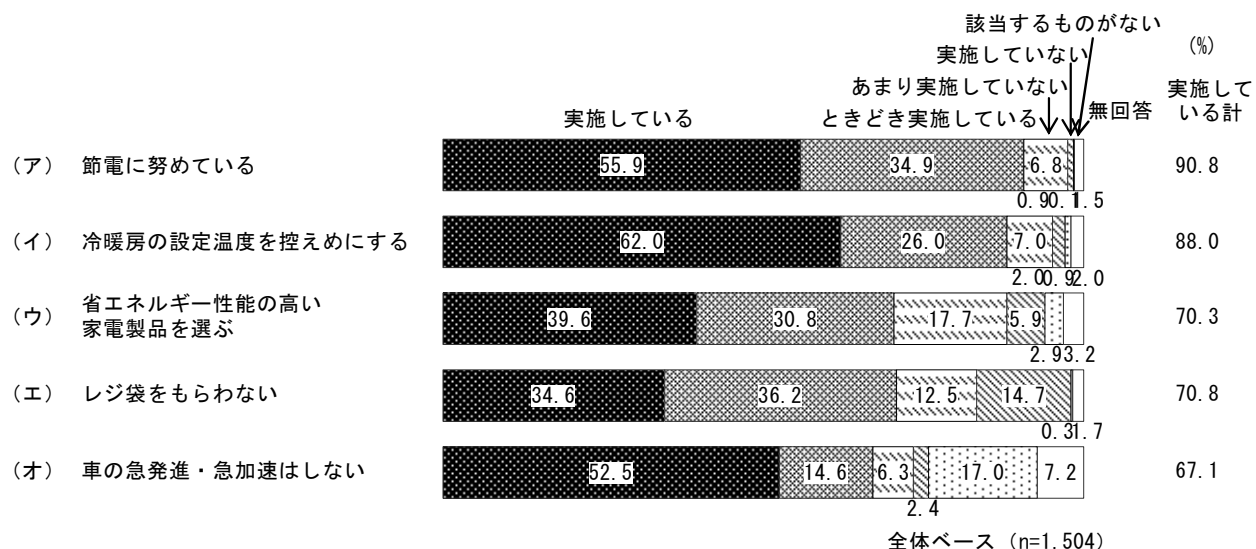
6 環境保全に関する取組について

(1) 普段の生活での取組実施状況

◇「節電に努めている」が9割と最も高い

問21 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。(○はそれぞれ1つ)

＜図表6－1＞普段の生活での取組実施状況



普段の生活での環境保全に関する取組状況で、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している』でみると、「節電に努めている」(90.8%)が9割と最も高く、次いで「冷暖房の設定温度を控えめにする」(88.0%)が約9割と、5項目の中では高くなっている。

(図表6－1)

【地域別】

「省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」を『実施している』は“印旛地域”(79.7%)で約8割と高く、また「実施している」は“夷隅地域”(66.7%)で6割台半ばと高くなっている。

(図表6－2－3)

「レジ袋をもらわない」を『実施している』は“千葉地域”(75.4%)、“東葛飾地域”(75.2%)、“葛南地域”(74.1%)で7割台半ばと高い。一方、『実施していない』は“海匠地域”(58.3%)、“香取地域”(50.0%)で5割以上と高くなっている。(図表6－2－4)

「車の急発進・急加速はしない」を『実施している』は、“長生地域”(88.0%)と特に高くなっている。(図表6－2－5)

【性・年代別】

「節電に努めている」を「実施している」は女性の 65 歳以上（68.2%）で約 7 割、男性の 65 歳以上（64.3%）で 6 割台半ばと特に高くなっている。（図表 6－2－1）

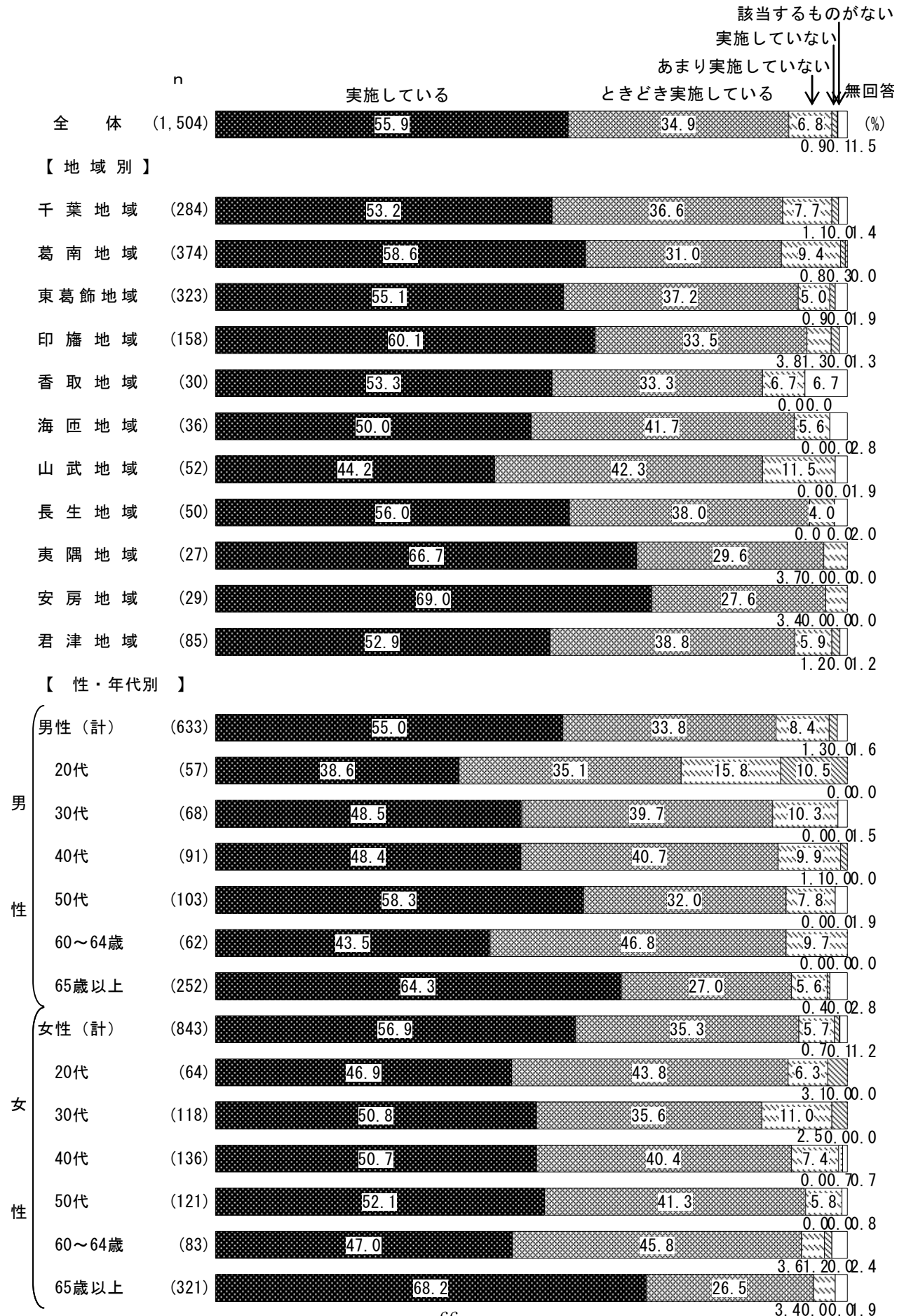
「冷暖房の設定温度を控えめにする」も女性の 65 歳以上（70.4%）で 7 割、男性の 65 歳以上（69.8%）で約 7 割と特に高くなっている。（図表 6－2－2）

「省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」を『実施している』は、女性の 60～64 歳（81.9%）で 8 割を超えて高くなっている。一方、『実施してない』は男性の 20 代（54.4%）で 5 割台半ばと高くなっている。（図表 6－2－3）

「レジ袋をもらわない」を『実施している』は、女性（79.7%）の方が約 8 割と高く、女性の 40 代（86.0%）で 8 割台半ばと特に高くなっている。（図表 6－2－4）

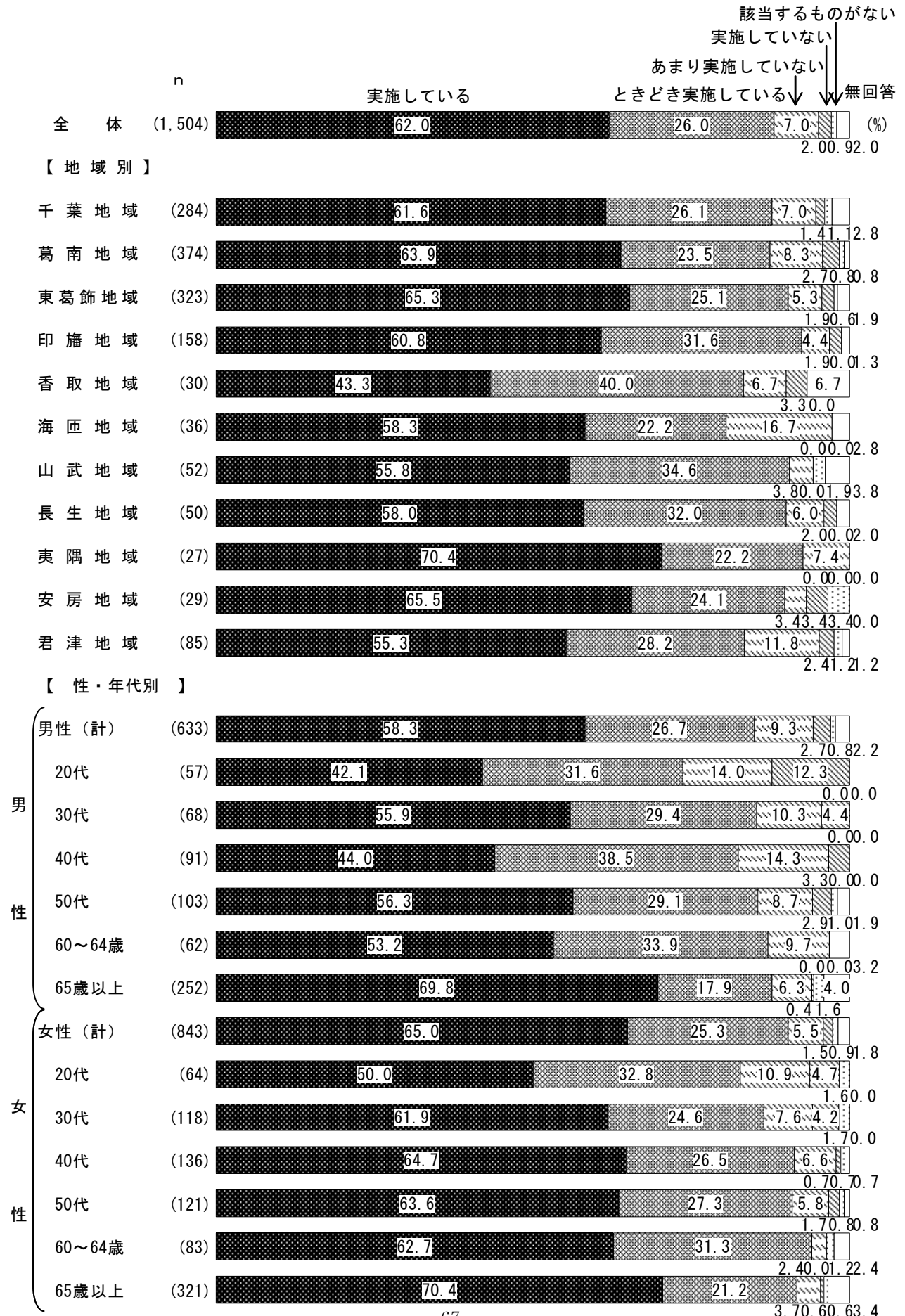
「車の急発進・急加速はしない」を『実施している』は、男性の 65 歳以上（79.0%）で特に高くなっている。（図表 6－2－5）

<図表6-2-1> 普段の生活での取組実施状況／地域別、性・年代別
(ア) 節電に努めている

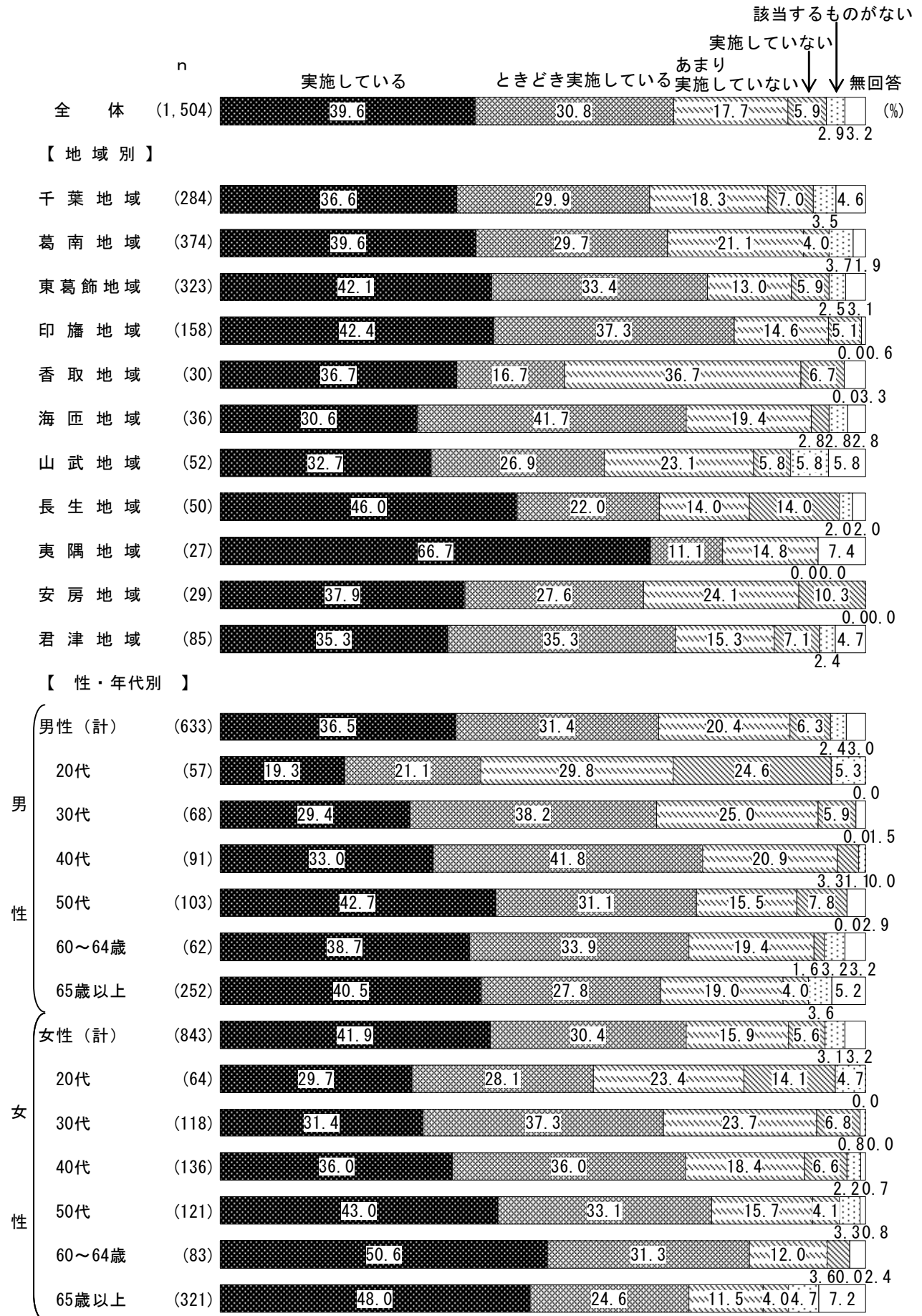


<図表6-2-2> 普段の生活での取組実施状況／地域別、性・年代別

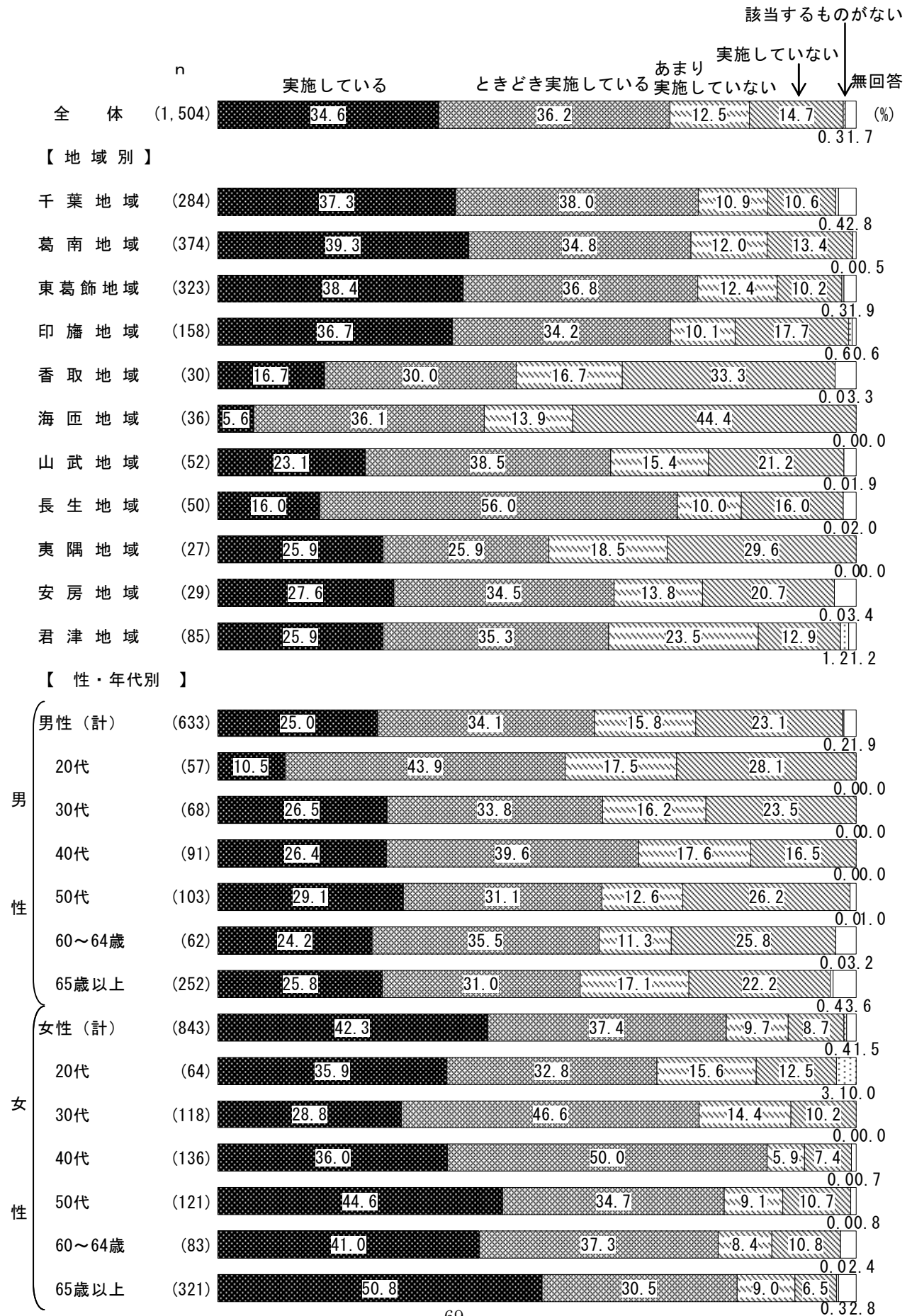
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする



<図表6-2-3> 普段の生活での取組実施状況／地域別、性・年代別
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

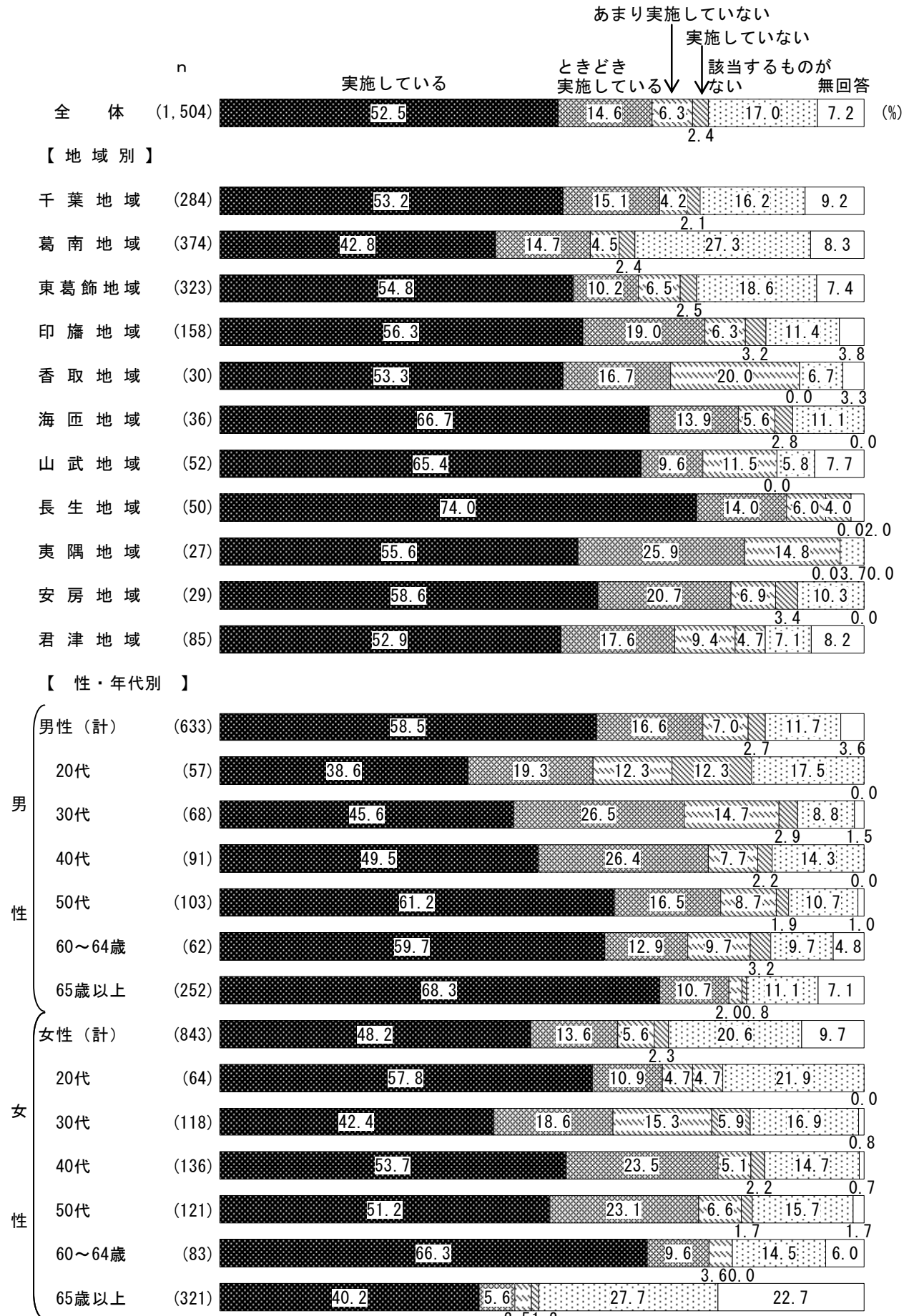


<図表6-2-4> 普段の生活での取組実施状況／地域別、性・年代別
(エ) レジ袋をもらわない



<図表6-2-5> 普段の生活での取組実施状況／地域別、性・年代別

(オ) 車の急発進・急加速はしない



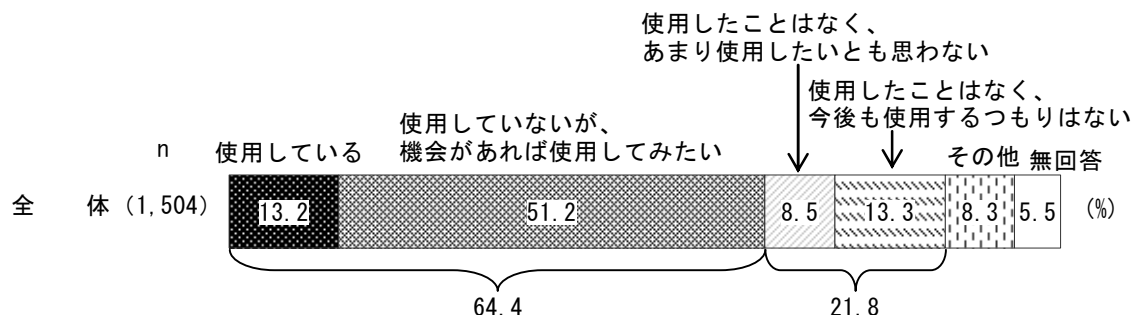
(2) 「次世代自動車」使用状況

◇「使用している」は1割台半ば

問22 あなたは、普段、ご自宅や職場で「次世代自動車」を使用していますか。

※「次世代自動車」とは、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車を指します。(○は1つ)

<図表6-3> 「次世代自動車」使用状況



自宅や職場で「次世代自動車」の使用を聞いたところ、「使用している」(13.2%)は1割台半ばであった。「使用していないが、機会があれば使用してみたい」を合わせた『使用したい』(64.4%)は6割台半ばとなっている。一方、「使用したことはなく、あまり使用したいとも思わない」(8.5%)と「使用したことはなく、今後も使用するつもりはない」(13.3%)を合わせた『使用したくない』(21.8%)は2割を超えている。(図表6-3)

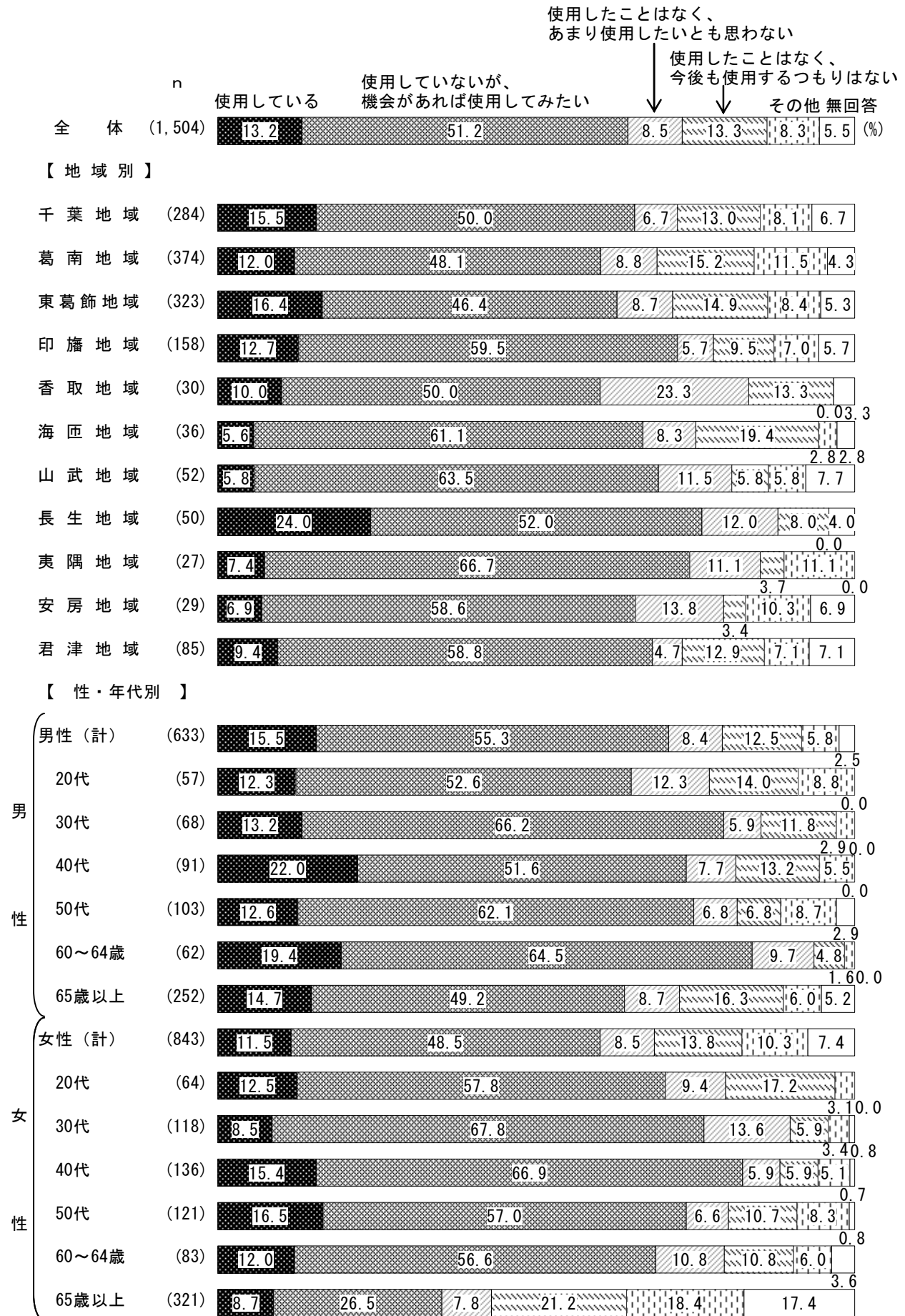
【地域別】

地域別にみると、「使用している」は“長生地域”(24.0%)で2割台半ばと高く、『使用したい』は“長生地域”(76.0%)、“夷隅地域”(74.0%)、“印旛地域”(72.2%)で7割以上と他の地域に比べて高くなっている。(図表6-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「使用している」は男性の40代(22.0%)で2割を超えて高く、『使用したい』は男性の60～64歳(83.9%)、女性の40代(82.4%)で8割以上、男性の30代(79.4%)で約8割と他の年代に比べて高くなっている。(図表6-4)

＜図表6－4＞「次世代自動車」使用状況／地域別、性・年代別

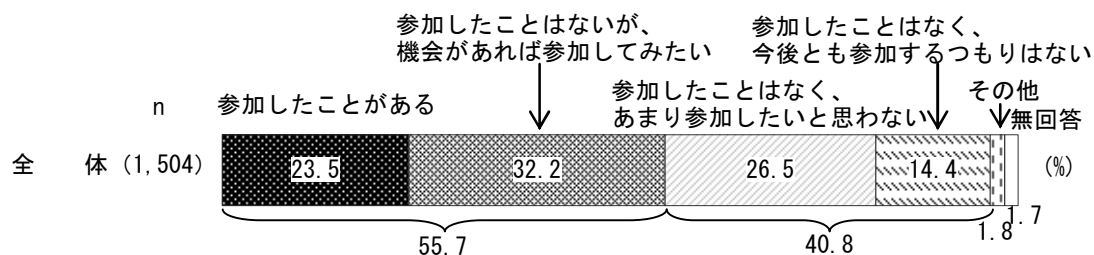


(3) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況

◇「参加したことがある」は2割台半ば

問23 あなたはこれまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(○は1つ)

＜図表6－5＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況



県や市町村などの行政や民間団体が実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などへの参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」(23.5%)は2割台半ばとなっており、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」を合わせた『参加したい』(55.7%)は5割台半ばであった。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」(26.5%)と「参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない」(14.4%)を合わせた『参加したくない』(40.8%)は4割となっている。(図表6－5)

【地域別】

地域別にみると、「参加したことがある」は“夷隅地域”(40.7%)で4割と、他の地域に比べて特に高くなっている。

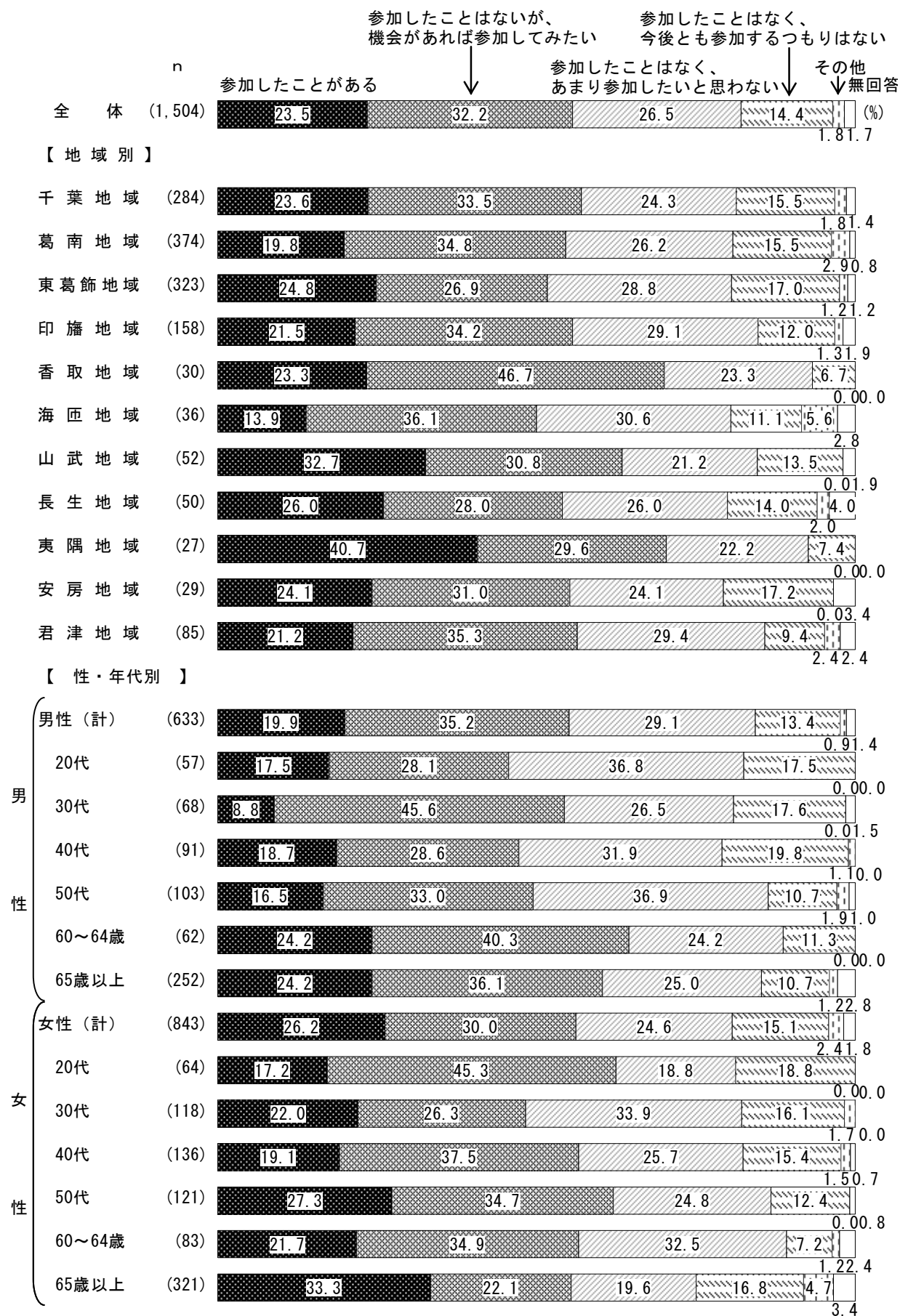
一方、『参加したくない』は“東葛飾地域”(45.8%)で4割台半ばと、他の地域に比べて高くなっている。(図表6－6)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「参加したことがある」は女性の65歳以上(33.3%)で3割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。

一方、『参加したくない』は男性の20代(54.4%)、男性の40代(51.6%)、女性の30代(50.0%)で5割以上と、他の年代に比べて高くなっている。(図表6－6)

＜図表６－６＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況
／地域別、性・年代別



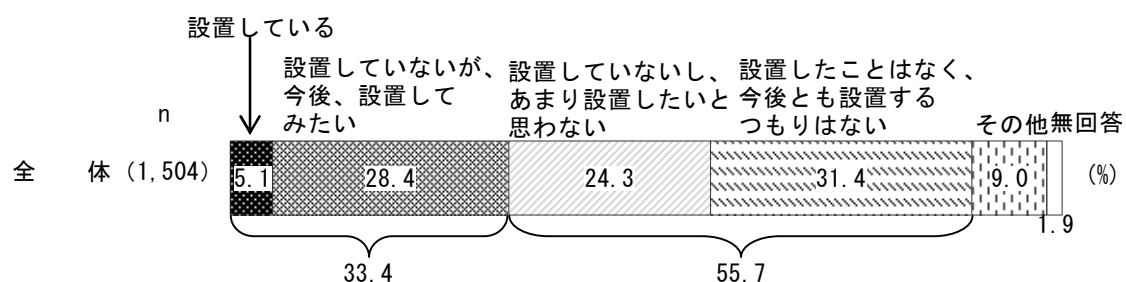
(4) 太陽光など再生可能エネルギー利用設備の設置状況

◇太陽光発電設備や太陽熱利用システムを設置している家庭は少ない

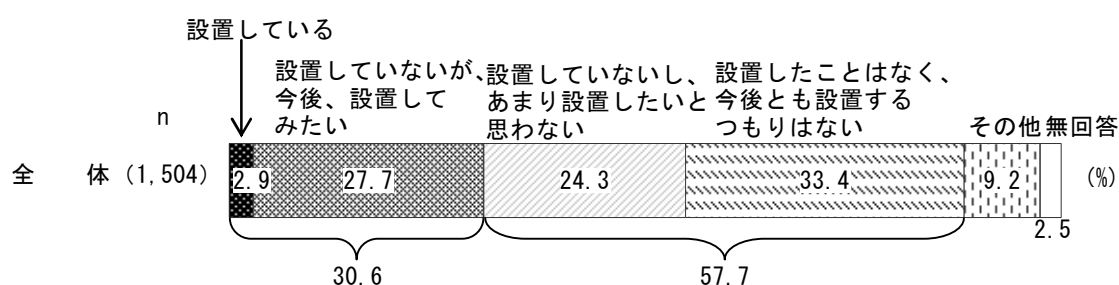
問24 あなたは、太陽光など再生可能エネルギーを利用する次の設備を自宅に設置していますか。(○は1つ)

<図表6-7>太陽光など再生可能エネルギー利用設備の設置状況

(ア) 太陽光発電設備



(イ) 太陽熱利用システム (太陽熱温水器など)



太陽光など再生可能エネルギーを利用する設備を自宅に設置しているかを聞いたところ、太陽光発電設備を「設置している」(5.1%)は5%と少ない。一方、「設置していないし、あまり設置したいと思わない」(24.3%)と「設置したことはなく、今後とも設置するつもりはない」(31.4%)を合わせた『設置したくない』(55.7%)は5割台半ばとなっている。

太陽熱利用システムを「設置している」(2.9%)は約3%と少ない。一方、「設置していないし、あまり設置したいと思わない」(24.3%)と「設置したことはなく、今後とも設置するつもりはない」(33.4%)を合わせた『設置したくない』(57.7%)は約6割となっている。(図表6-7)

（ア）太陽光発電設備

【地域別】

地域別にみると、「設置している」は“香取地域”（16.7%）、“安房地域”（13.8%）で1割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。一方、『設置したくない』は“海匝地域”（72.2%）で7割を超えており、他の地域に比べて高くなっている。（図表6－8－1）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「設置している」は男性の60～64歳（14.5%）、男性の30代（10.3%）で1割以上と高く、また、「設置していないが、今後、設置してみたい」は女性30代（43.2%）で4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、『設置したくない』は女性の65歳以上（64.8%）や男性の65歳以上（64.3%）で6割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。（図表6－8－1）

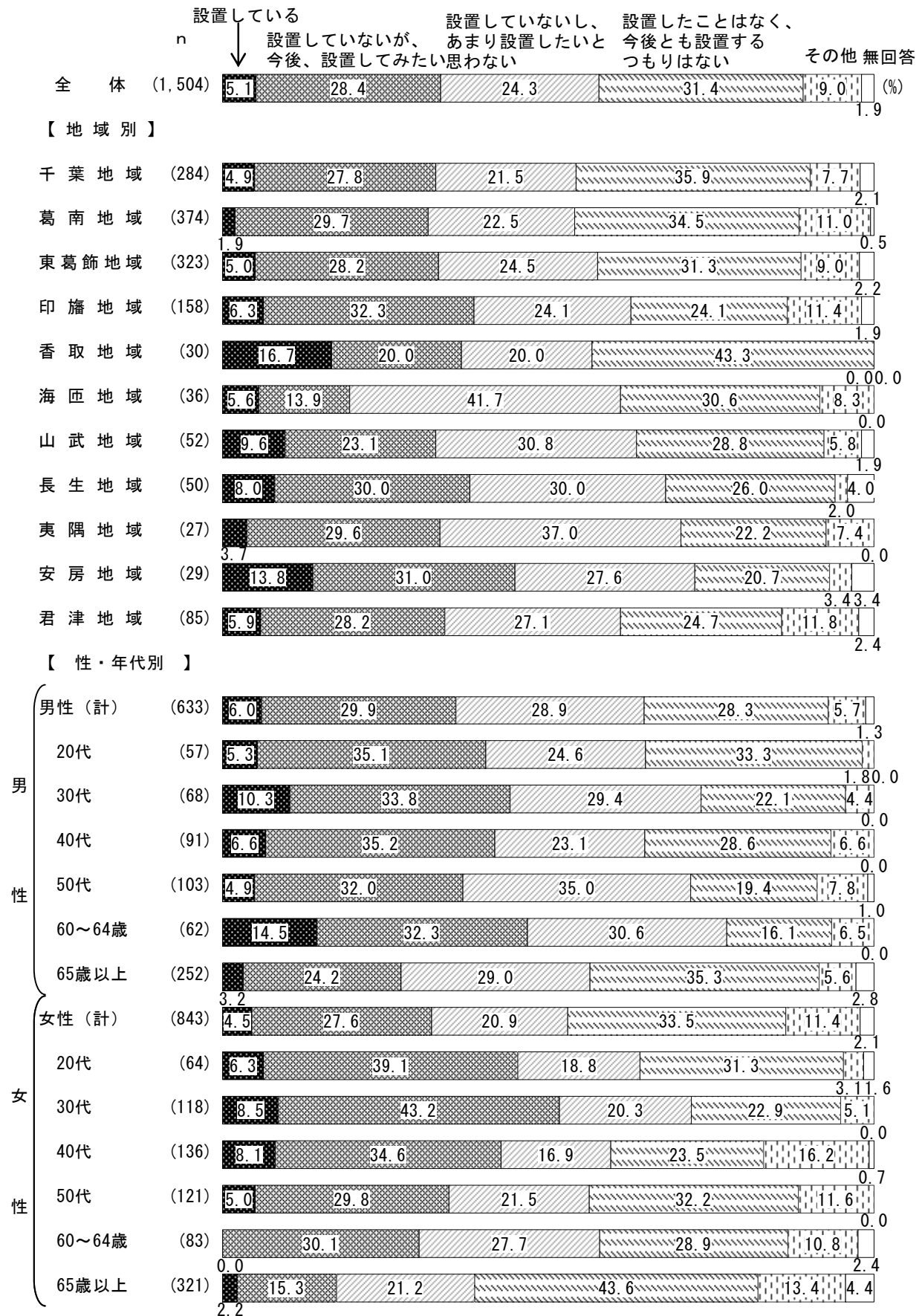
（イ）太陽熱利用システム

【性・年代別】

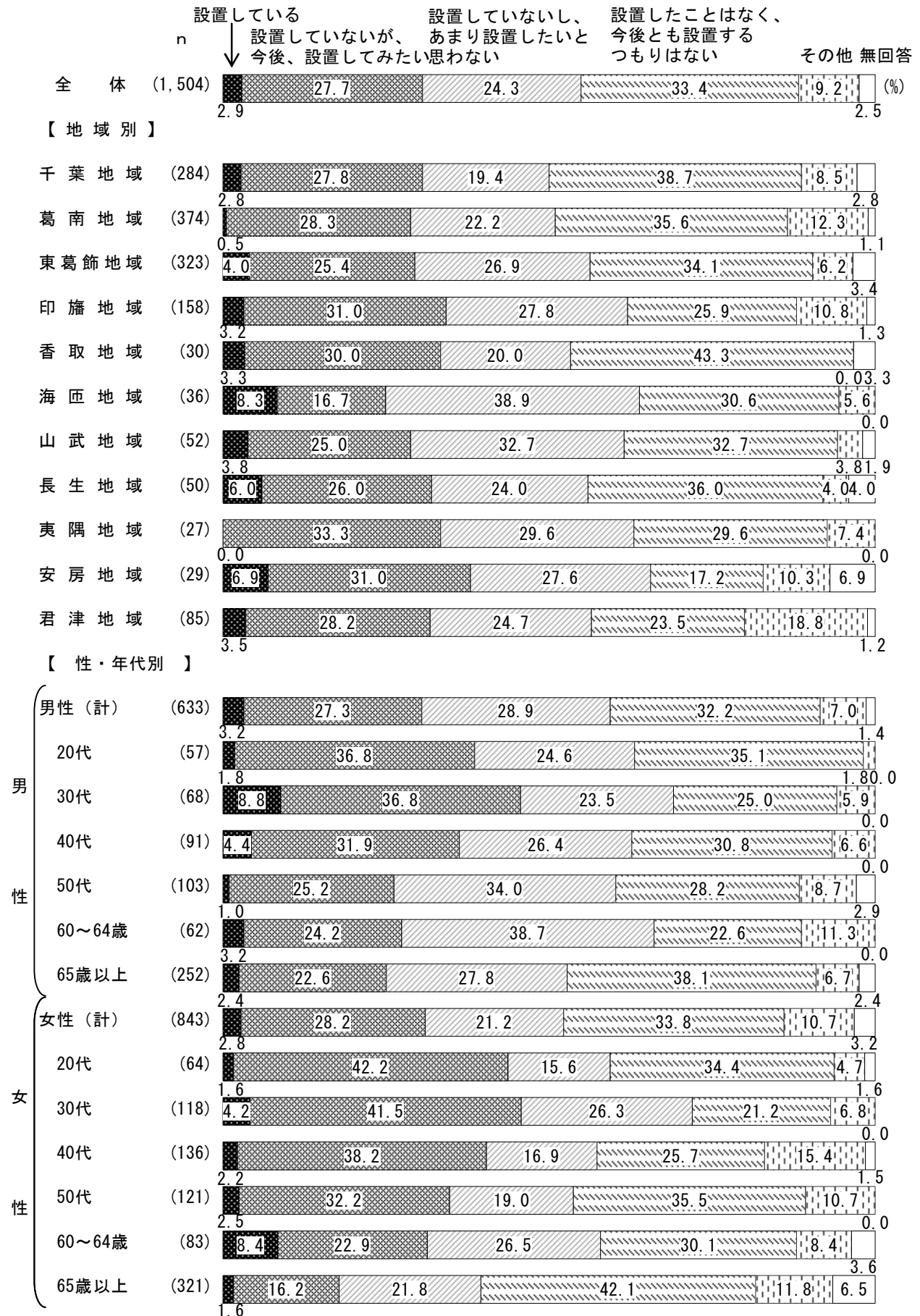
性・年代別にみると、「設置している」と「設置していないが、今後、設置してみたい」を合わせた『設置してみたい』は女性の30代（45.8%）や男性の30代（45.6%）で4割台半ばと他の年代に比べて高くなっているものの、『設置してみたい』が『設置したくない』を上回った年代は見られない。

また、『設置したくない』は男性の65歳以上（65.9%）や女性の65歳以上（63.9%）で6割台半ばと、他の年代に比べて特に高くなっている。（図表6－8－2）

<図表6-8-1>太陽光など再生可能エネルギー利用設備の設置状況／地域別、性・年代別
(ア) 太陽光発電設備



<図表6-8-2>太陽光など再生可能エネルギー利用設備の設置状況／地域別、性・年代別
(イ) 太陽熱利用システム(太陽熱温水器など)



このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問21～問24）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、154 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「環境保全に関する取組について」の自由回答（抜粋）

○電気自動車、燃料自動車の充電ステーションを、都市部に増やしてほしい。あと、観光地などにも造ってほしい。次世代自動車での移動がしやすくなるから。（男性、30 代、葛南地域）

○節電、省エネに関して、東日本大震災直後、テレビ、ラジオ、新聞等で、節電、省エネを訴える声が大きかったが、最近は小さい。地球の温暖化問題と併せ、常時声を大きく訴えていくことが求められる。（男性、65 歳以上、東葛飾地域）

○「環境保全に対する取組」したいのはやまやまだが、本当に余裕がない。そういう人がたくさんいると思う。関心が無いのではない。（男性、30 代、葛南地域）

○設備の設置には高額な費用がかかる。市町村等の補助はあるが、補助が少なければ家庭で導入しようと思う人は増えないと思う。思い切った施策が必要だと感じた。

（男性、65 歳以上、印旛地域）

○次世代自動車、再生可能エネルギー住宅、いずれも価格が高い。（女性、40 代、印旛地域）

○太陽光発電、太陽熱利用システムの設置への補助金の拡充。風力、水力、地熱発電の推進。地元で電気を作って、地元で消費する、電力の地産地消を目指してほしいです。

（女性、40 代、葛南地域）

○節電、節水、ゴミの削減、過剰包装廃止、リサイクルなど、身近な事より始め、無駄をなくす。幼少期よりの教育が必要。（女性、50 代、東葛飾地域）

○環境についてはかなり無頓着です。楽しく子供と学べるセミナーなどがあれば、ぜひ参加したいです。（女性、30 代、葛南地域）

○生活の質を落としてまで、環境問題に取り組んではいませんが、日々の生活の中で無理をしないで取り組んでいきたいと思います。電線だけは地中にうめてほしい。樹木を大切にする千葉県であってほしい。（女性、65 歳以上、葛南地域）

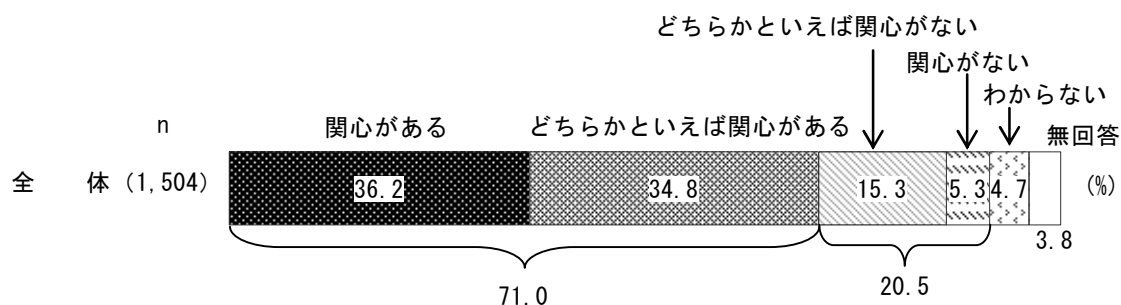
7 食育について

(1) 食育への関心度

◇『関心がある』は7割を超えている

問 25 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

<図表 7－1>食育への関心度



「食育」について関心があるかを聞いたところ、「関心がある」(36.2%)は3割台半ばとなっており、「どちらかといえば関心がある」(34.8%)を合わせた『関心がある』(71.0%)は7割を超えている。一方、「どちらかといえば関心がない」(15.3%)と「関心がない」(5.3%)を合わせた『関心がない』(20.5%)は2割となっている。(図表 7－1)

【地域別】

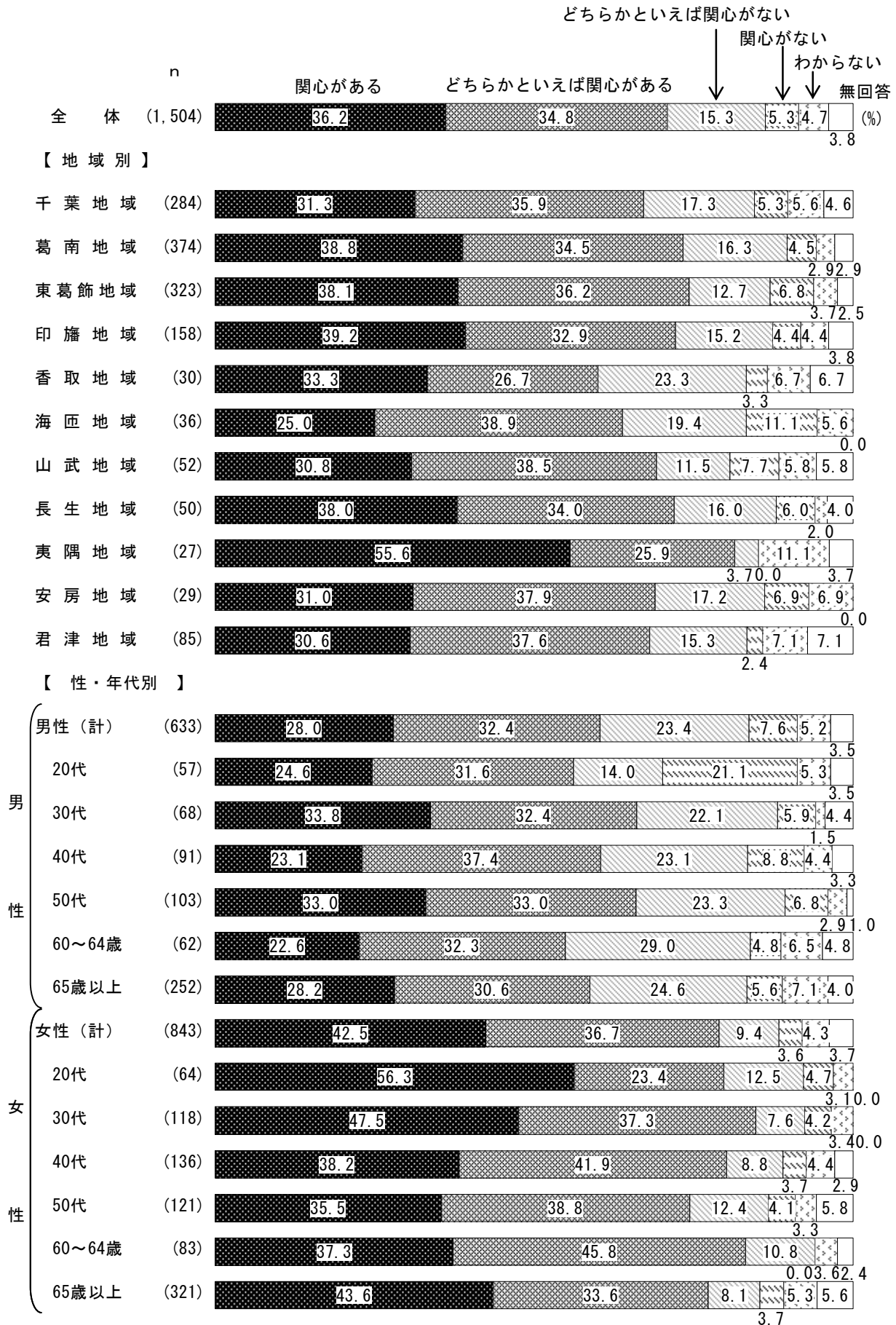
地域別にみると、「関心がある」は“夷隅地域”(55.6%)で5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表 7－2)

【性・年代別】

性別でみると『関心がある』は女性(79.1%)の方が約8割と高く、性・年代別では女性の30代(84.7%)、女性の60～64歳(83.1%)で8割台半ばと高くなっている。

一方、『関心がない』は、男性の20代(35.1%)や男性の60～64歳(33.9%)で3割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。(図表 7－2)

<図表 7-2>食育への関心度／地域別、性・年代別



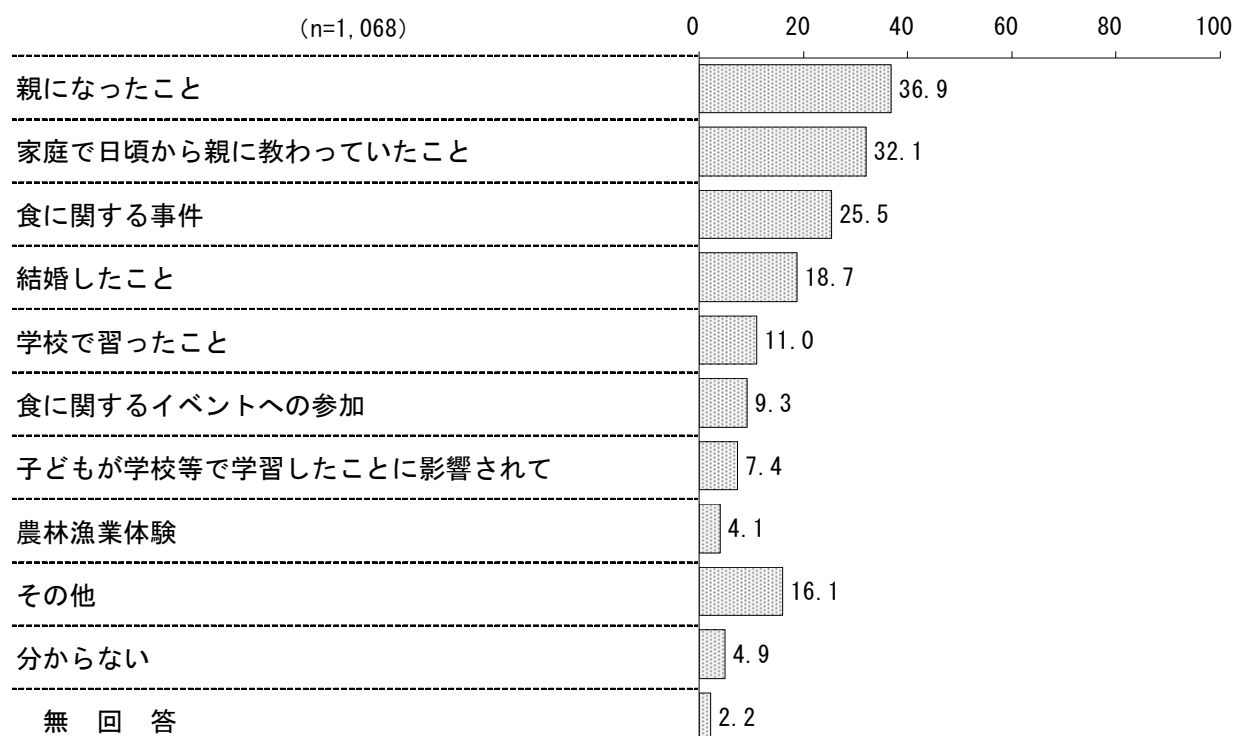
(2) 食育に関心を持ったきっかけ

◇「親になったこと」が3割台半ばと最も高い

(問25で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」とお答えの方に)

問26 あなたが「食育」に関心を持ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表7-3>食育に関心を持ったきっかけ(複数回答)



「食育」に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した人に、食育に関心をもったきっかけを聞いたところ、「親になったこと」(36.9%)が3割台半ばと最も高く、以下、「家庭で日頃から親に教わったこと」(32.1%)が3割を超え、「食に関する事件」(25.5%)、「結婚したこと」(18.7%)と続く。(図表7-3)

【地域別】

地域別にみると、「親になったこと」は“東葛飾地域”(42.9%)、“山武地域”(41.7%)で4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。

「食に関する事件」は“東葛飾地域”(31.7%)、“長生地域”(30.6%)で3割以上と他の地域に比べて高くなっている。(図表7-4)

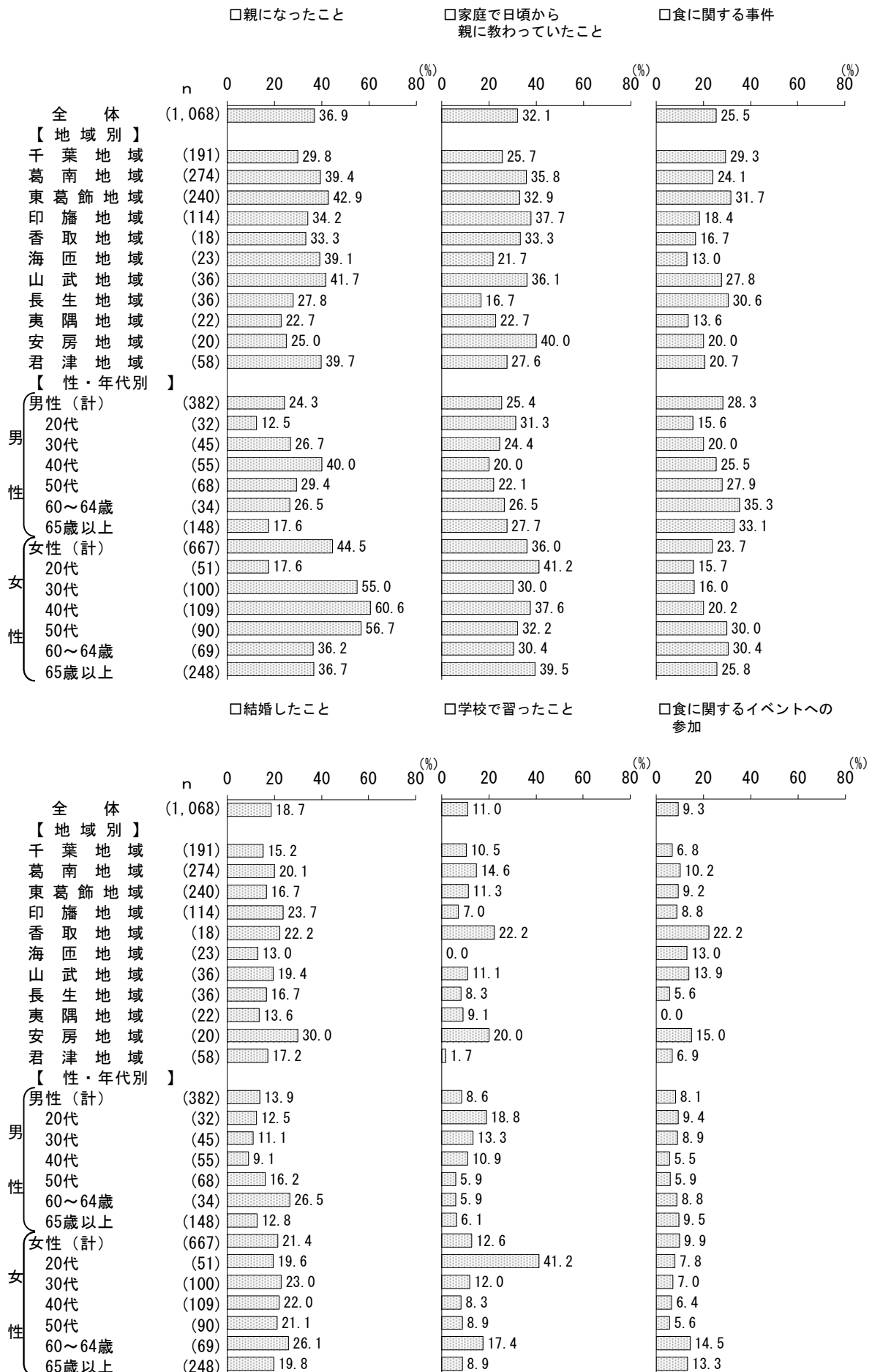
【性・年代別】

性・年代別でみると「親になったこと」は女性の40代(60.6%)で6割、女性の50代(56.7%)、女性の30代(55.0%)で5割台半ばと高くなっている。

「学校で習ったこと」は女性の20代(41.2%)で4割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。

(図表7-4)

＜図表７－４＞食育に関心を持ったきっかけ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）

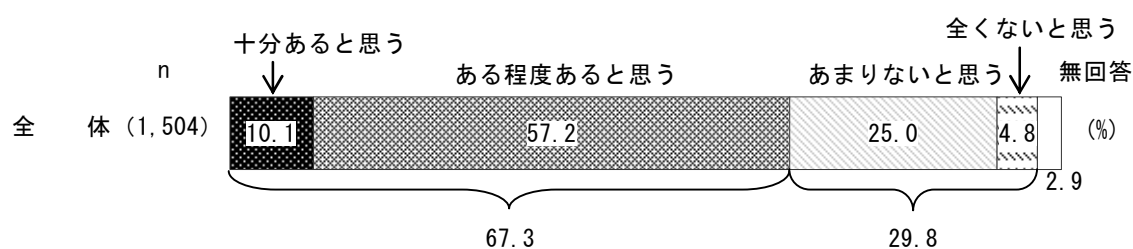


(3) 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか

◇『あると思う』は約7割

問27 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについて知識があると思いますか。(〇はいくつでも)

<図表7-5>健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか



健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択するとよいかや、どのような調理が必要かについて知識があると思うかを聞いたところ、「十分あると思う」(10.1%)は1割で、「ある程度あると思う」(57.2%)を合わせた『あると思う』(67.3%)は約7割となっている。

一方、「あまりないと思う」(25.0%)、「全くないと思う」(4.8%)を合わせた『ないと思う』(29.8%)は約3割となっている。(図表7-5)

【地域別】

地域別にみると、「十分あると思う」は“夷隅地域”(25.9%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

一方、『ないと思う』は“君津地域”(40.0%)で4割と他の地域に比べて高くなっている。

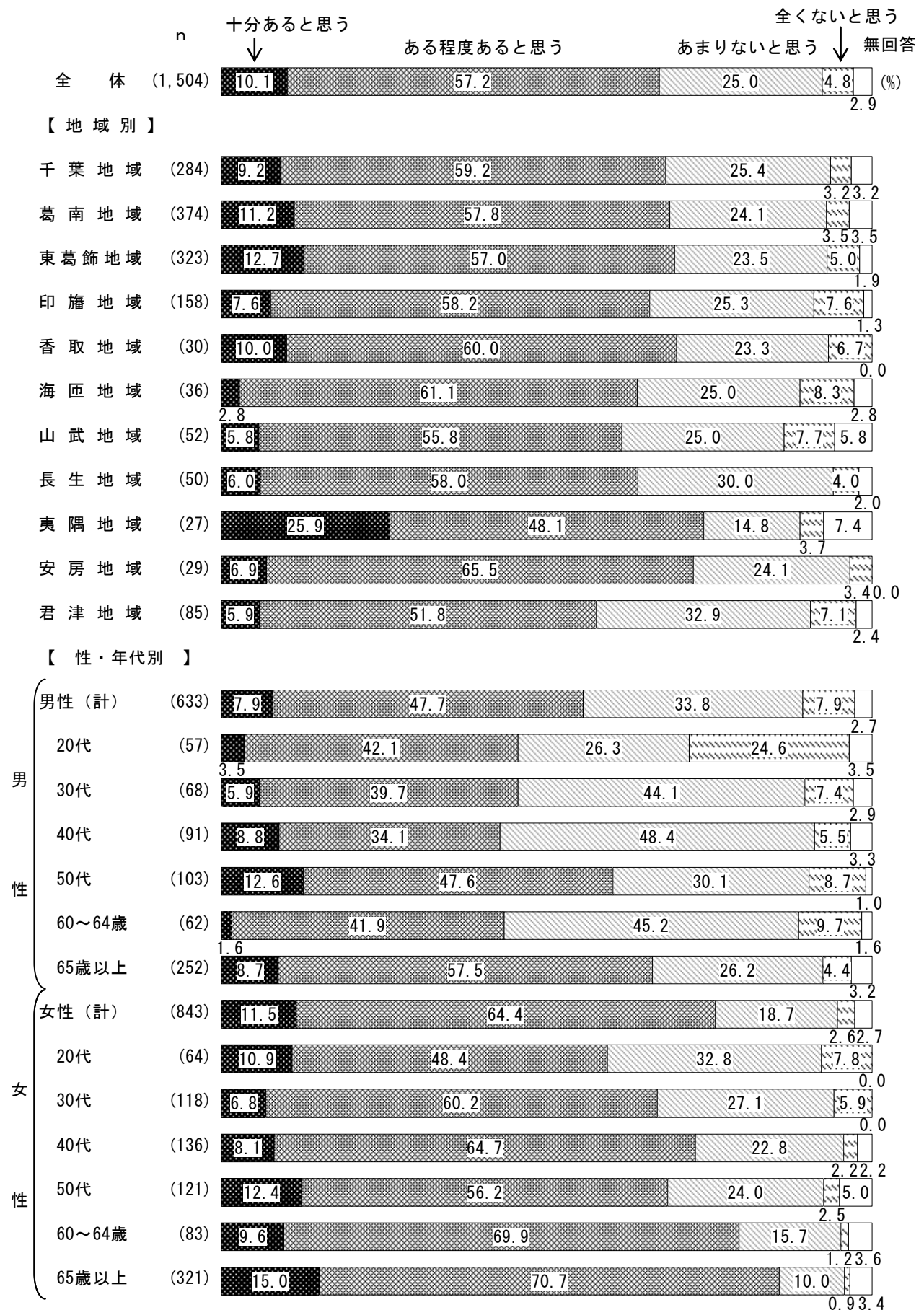
(図表7-6)

【性・年代別】

性別でみると『あると思う』は女性(75.9%)の方が7割台半ばと高く、性・年代別では女性の65歳以上(85.7%)で8割台半ばと特に高くなっている。

一方、『ないと思う』は男性の40代(53.8%)、男性の30代(51.5%)、男性の20代(50.9%)で5割以上と高く、『あると思う』を上回っている。(図表7-6)

＜図表７－６＞健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか
／地域別、性・年代別

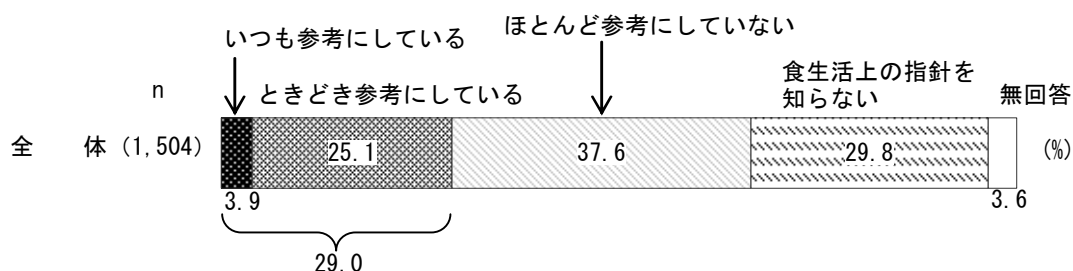


(4) 「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度

◇『参考にしている』は約3割

問28 県で提案している「ちば型食生活食事実践ガイドブック（ゲー・パー食生活ガイドブック）」（※1参照）、又は国が策定した「食事バランスガイド」（※2参照）等の何らかの食生活上の指針を参考にして、食生活を送っていますか。（○は1つ）

＜図表7-7＞「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度



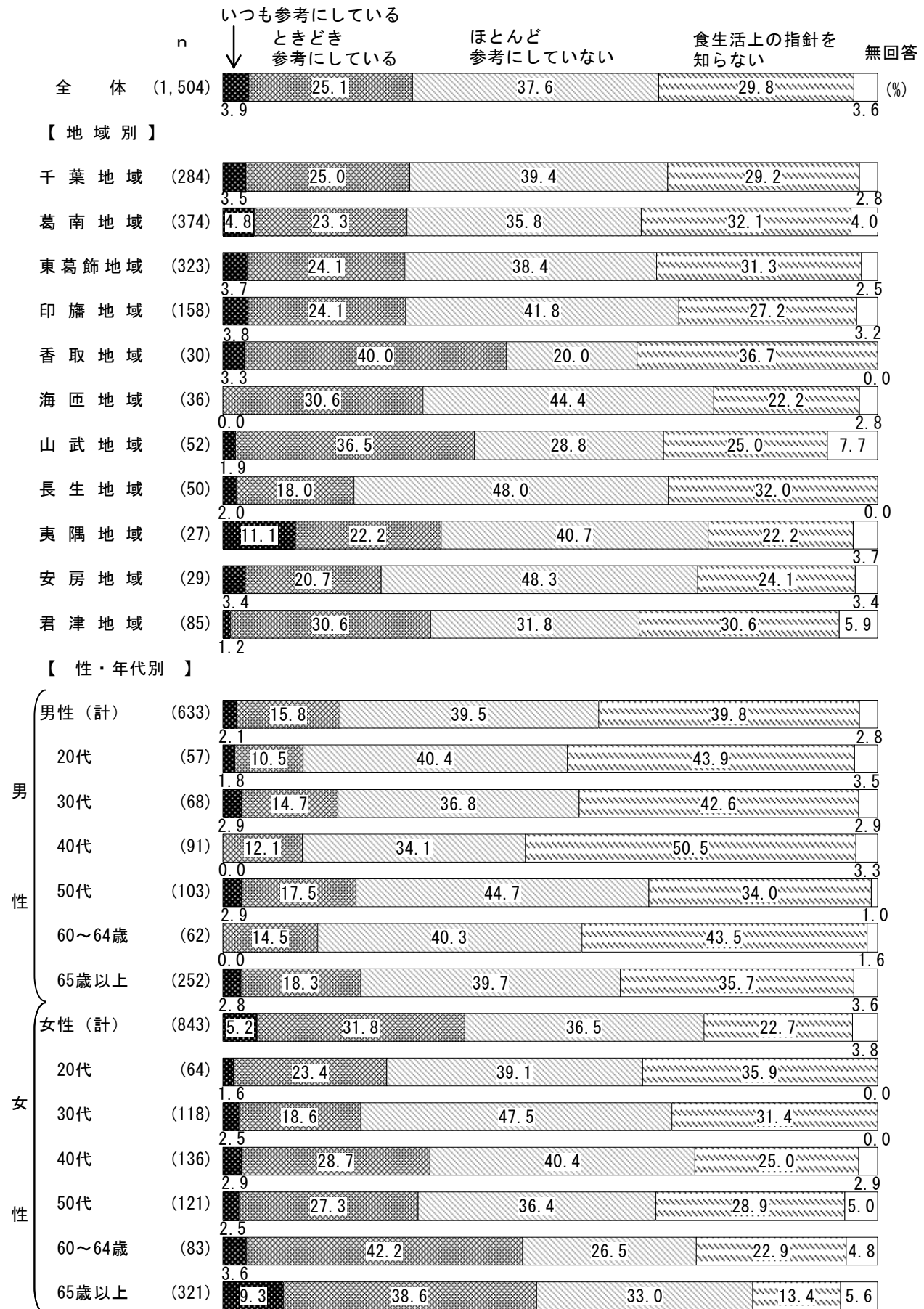
「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、又は国が策定した「食事バランスガイド」等の何らかの食生活上の指針を参考にして食生活を送っているかを聞いたところ、「いつも参考になっている」（3.9%）は約4%で、「ときどき参考になっている」を合わせた『参考にしている』（29.0%）は約3割となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」（37.6%）が約4割、「食生活上の指針を知らない」（29.8%）が約3割となっている。（図表7-7）

【性・年代別】

性別でみると『参考にしている』は女性（37.0%）の方が約4割と高く、性・年代別では女性の65歳以上（48.0%）で約5割、女性の60～64歳（45.8%）で4割台半ばと特に高くなっている。

一方、「食生活の指針を知らない」は男性の40代（50.5%）で5割と、他の年代に比べて特に高くなっている。（図表7-8）

＜図表７－８＞「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度
／地域別、性・年代別

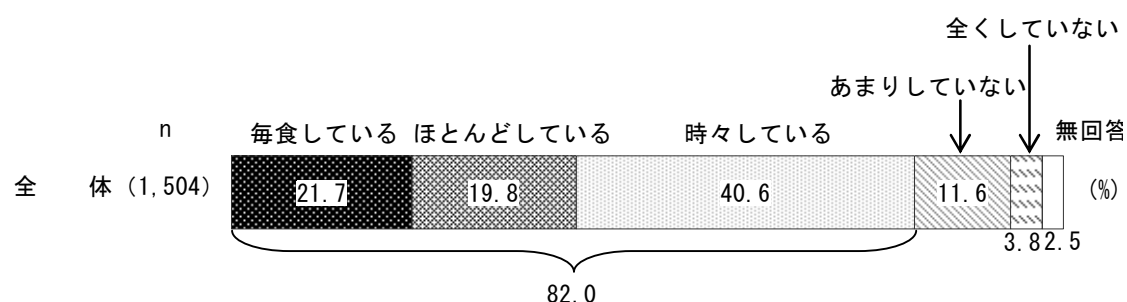


(5) 食を通じたコミュニケーションの実施状況

◇『している』は8割を超えている

問29 家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を持つなど、食を通じたコミュニケーションをとっていますか。(○は1つ)

＜図表7－9＞食を通じたコミュニケーションの実施状況



家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を持つなど、食を通じたコミュニケーションをとっているかを聞いたところ、「毎食している」(21.7%)が2割を超えており、「ほとんどしている」(19.8%)、「時々している」(40.6%)を合わせた『している』(82.0%)は8割を超えている。(図表7－9)

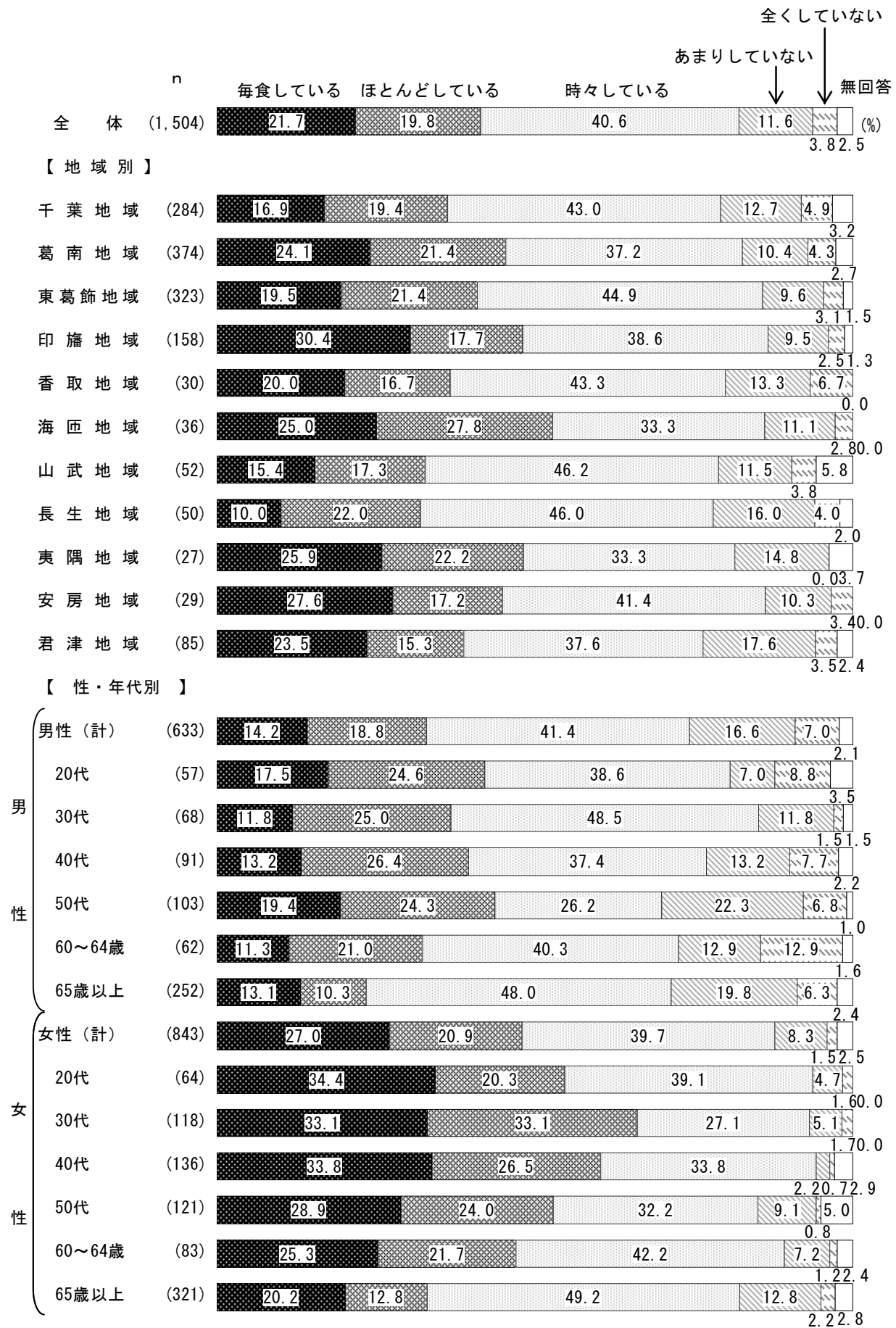
【地域別】

地域別にみると、「毎食している」は“印旛地域”(30.4%)で3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表7－10)

【性・年代別】

性別でみると「毎食している」は女性(27.0%)の方が約3割と高く、『している』を性・年代別でみると女性の40代(94.1%)、女性の20代(93.8%)、女性の30代(93.2%)で9割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表7－10)

＜図表７－１０＞食を通じたコミュニケーションの実施状況／地域別、性・年代別

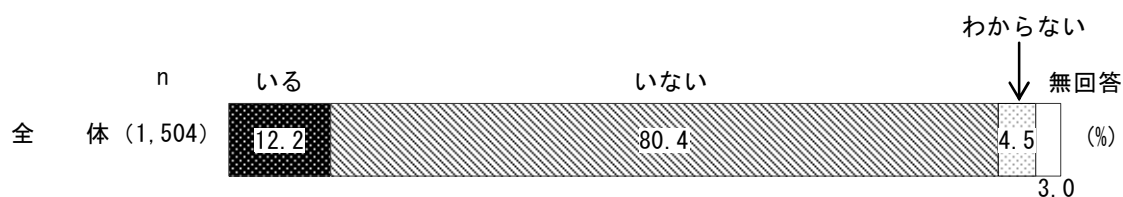


(6) 直近 1 年以内での農林漁業体験の参加経験

◇「いない」が 8 割

問30 直近 1 年以内に、あなた又はあなたの家族の中で農林漁業に関する体験に参加したことのある人はいますか。(○は 1 つ)

＜図表 7－11＞直近 1 年以内での農林漁業体験の参加経験

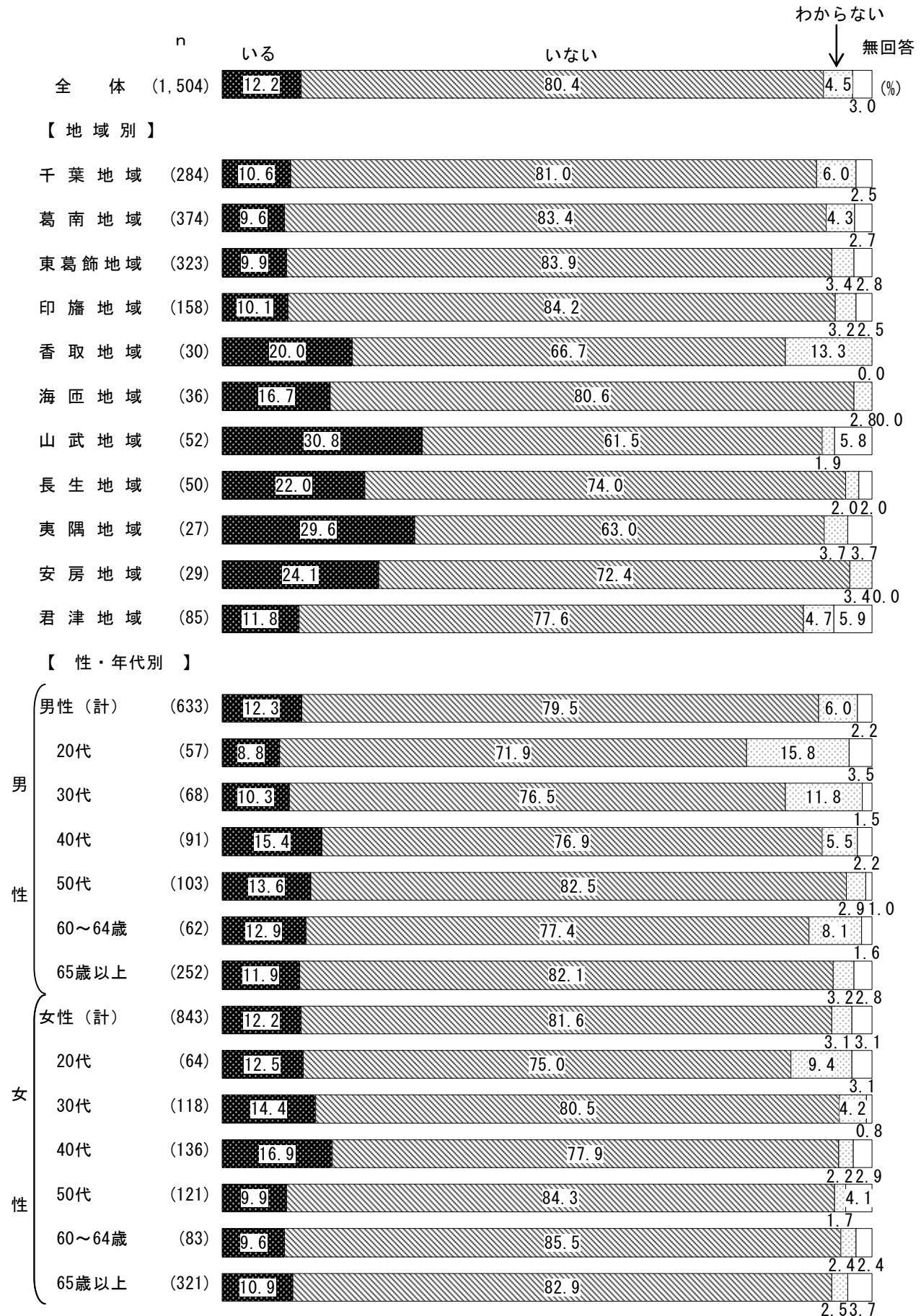


直近 1 年以内に、本人や家族の中で農林漁業に関する体験の参加経験を聞いたところ、「いない」(80.4%) が 8 割となっており、「いる」(12.2%) は 1 割を超えた程度となっている。(図表 7－11)

【地域別】

地域別にみると、「いる」は“山武地域”(30.8%)で 3 割、“夷隅地域”(29.6%)で約 3 割、“安房地域”(24.1%)で 2 割台半ば、“長生地域”(22.0%)で 2 割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。(図表 7－12)

<図表 7-12> 直近 1 年以内での農林漁業体験の参加経験／地域別、性・年代別

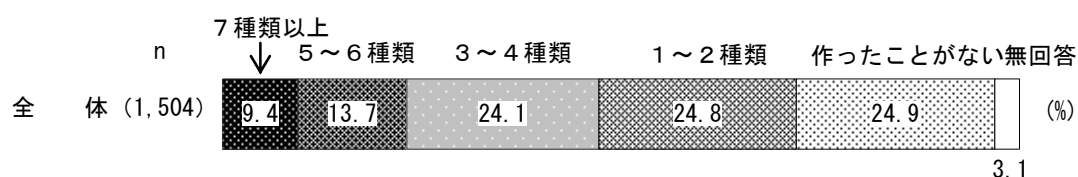


(7) お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数

◇『作ることがある』が7割を超える

問31 我が国では、四季折々の様々な食材に恵まれ、長い年月を経て地域と結びついた郷土料理、行事食(※参照)、配膳方法、作法などの食文化が形成されてきました。
あなたが住まいの地域の郷土料理や行事食などを、家庭で何種類作ることがありますか。(〇は1つ)

<図表 7-13> お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数



居住地域の郷土料理や行事食などを、家庭で何種類作ることがあるかを聞いたところ、「1～2種類」から「7種類以上」の『作ることがある』(72.0%)が7割を超える。

そのうち「1～2種類」(24.8%)が2割台半ばと最も多く、次いで「3～4種類」(24.1%)、「5～6種類」(13.7%)が1割台半ば、「7種類以上」(9.4%)が約1割となっている。

一方、「作ったことがない」(24.9%)は2割台半ばとなっている。(図表 7-13)

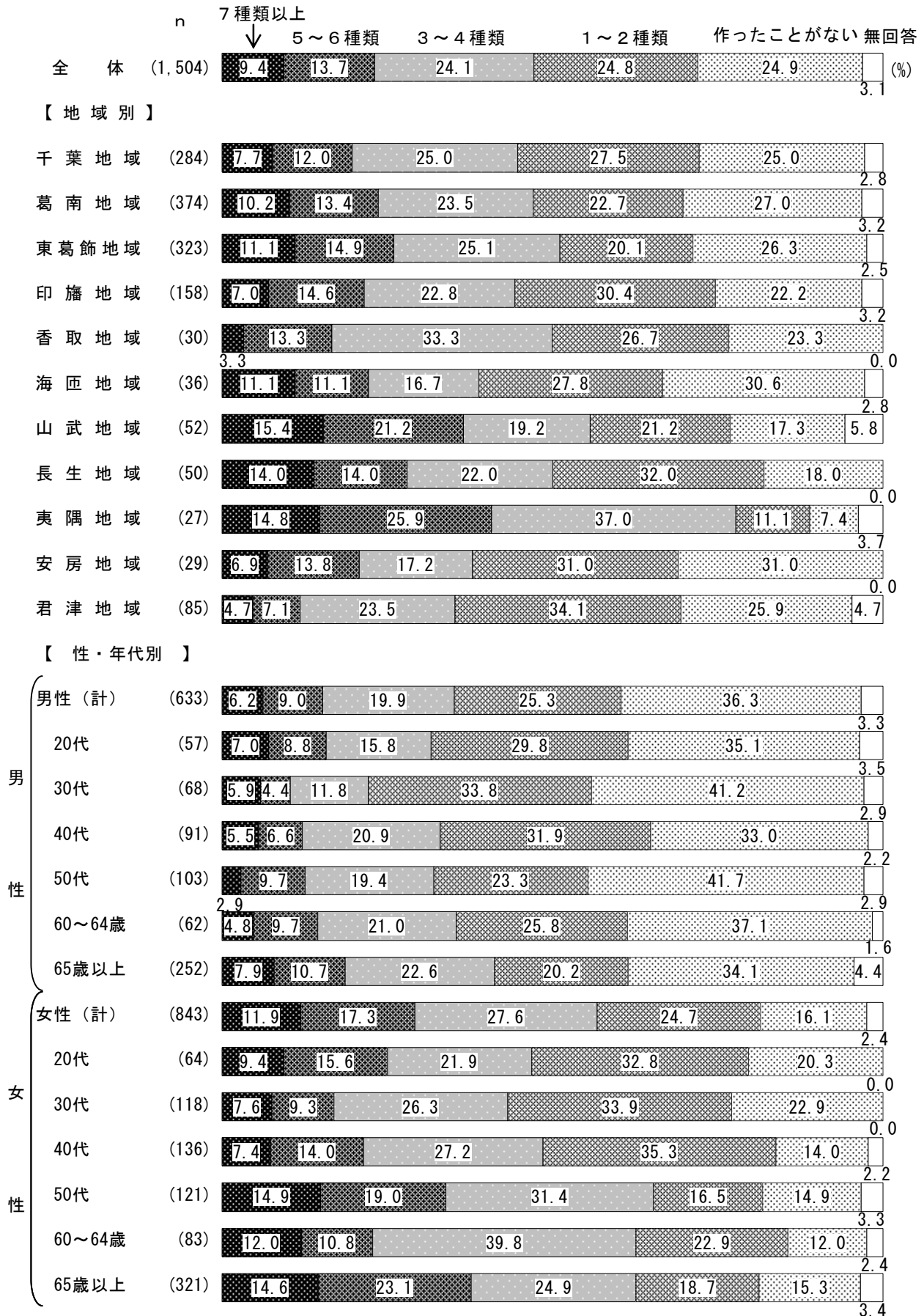
【地域別】

地域別にみると、『作ることがある』は“夷隅地域”(88.9%)で約9割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 7-14)

【性・年代別】

『作ることがある』は女性(81.5%)の方が8割を超えて高く、性・年代別では女性の60～64歳(85.5%)や女性の40代(83.8%)で8割台半ば、女性の50代(81.8%)や女性の65歳以上(81.3%)で8割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。(図表 7-14)

<図表7-14>お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数／地域別、性・年代別



このほかに、「食育について」やここまでの質問（問25～問31）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、146 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「食育について」の自由回答（抜粋）

○私の小さい頃は、行事がある季節の食事がとてもうれしかったです。その食事ができると、春・夏・秋・冬が感じられ、今でもあの頃を想いだすことがあります。このような季節を感じられる行事の食事があることをどんどん発信してほしいなと思います（TVのCMやら、使ったりして）。（女性、50 代、葛南地域）

○食育は、やはり家庭の影響が大きいと思います。家庭で小さい頃から栄養バランスのとれた食事をとることが大切。学校では具体的な献立の立て方やレシピを教えてもいいのでは。

（女性、20 代、東葛飾地域）

○食事は身体・心の健康について本当に大事な事。子供達に幼稚園の頃から食育の機会を作り、教えて欲しい（現在家庭での教育が不安有り）。又、県は放射能や残留農薬などしっかりとした指導で食の安全を守って欲しい。（男性、65 歳以上、葛南地域）

○郷土料理（特にベッドタウン化してる地域）の広報はもっとしてもいいと思う。

（男性、40 代、東葛飾地域）

○グー・パー食生活、最初言葉だけで何の意味か分からなかった。同封されているチラシを読んで納得。とてもよく分かる説明で、もっと広く伝えてほしい。年齢がいくと、簡潔でとてもいい冊子です。参考になります。（女性、65 歳以上、葛南地域）

○大人の（幼児～20才の子供を持っている親 e t c）料理教室などであると参加したい。今よく目にするのは、赤ちゃん～5才以下や、お年寄りのものがほとんどなので。

（女性、30 代、葛南地域）

○近くにスーパーはありますが、小さい子供がいて食には関心がありますが、お店の人などともっと会話ができたらいいなあと、いつも思います。栄養の事とかバランスとか調理法とか聞ける人がいたら、もっともっと利用すると思います。（女性、40 代、印旛地域）

○今は核家族化が進んでおり、若い世代は忙しい日々を送られている。縦のつながりが薄れていて、食生活も多様化されてきているので、行事食のイベントなども色々な場所で行われる事を望みます。（女性、65 歳以上、千葉地域）

○高齢者になっても病気がちにならないように、運動、文化、食生活は必要だと思うので、食に関する知識は必要だと思う。（男性、50 代、長生地域）

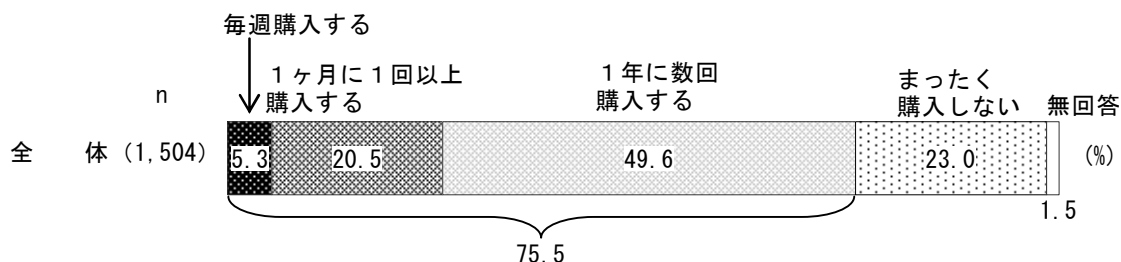
8 花の消費について

(1) 花の購入頻度

◇『購入する』は7割台半ば

問32 あなたは、花をどれくらいの頻度で購入しますか。(○は1つ)

<図表8-1>花の購入頻度



注) この設問での花とは、切花、鉢花、観葉、花壇苗などをいいます。

花をどれくらいの頻度で購入するかを聞いたところ、「毎週購入する」(5.3%)、「1ヶ月に1回以上購入する」(20.5%)、「1年に数回購入する」(49.6%)を合わせた『購入する』(75.5%)は7割台半ばとなっている。一方、「まったく購入しない」(23.0%)は2割台半ばとなっている。(図表8-1)

【地域別】

地域別にみると、「毎週購入する」は“夷隅地域”(14.8%)で1割台半ばと高く、『購入する』では“山武地域”(84.6%)、“長生地域”(84.0%)で8割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

(図表8-2)

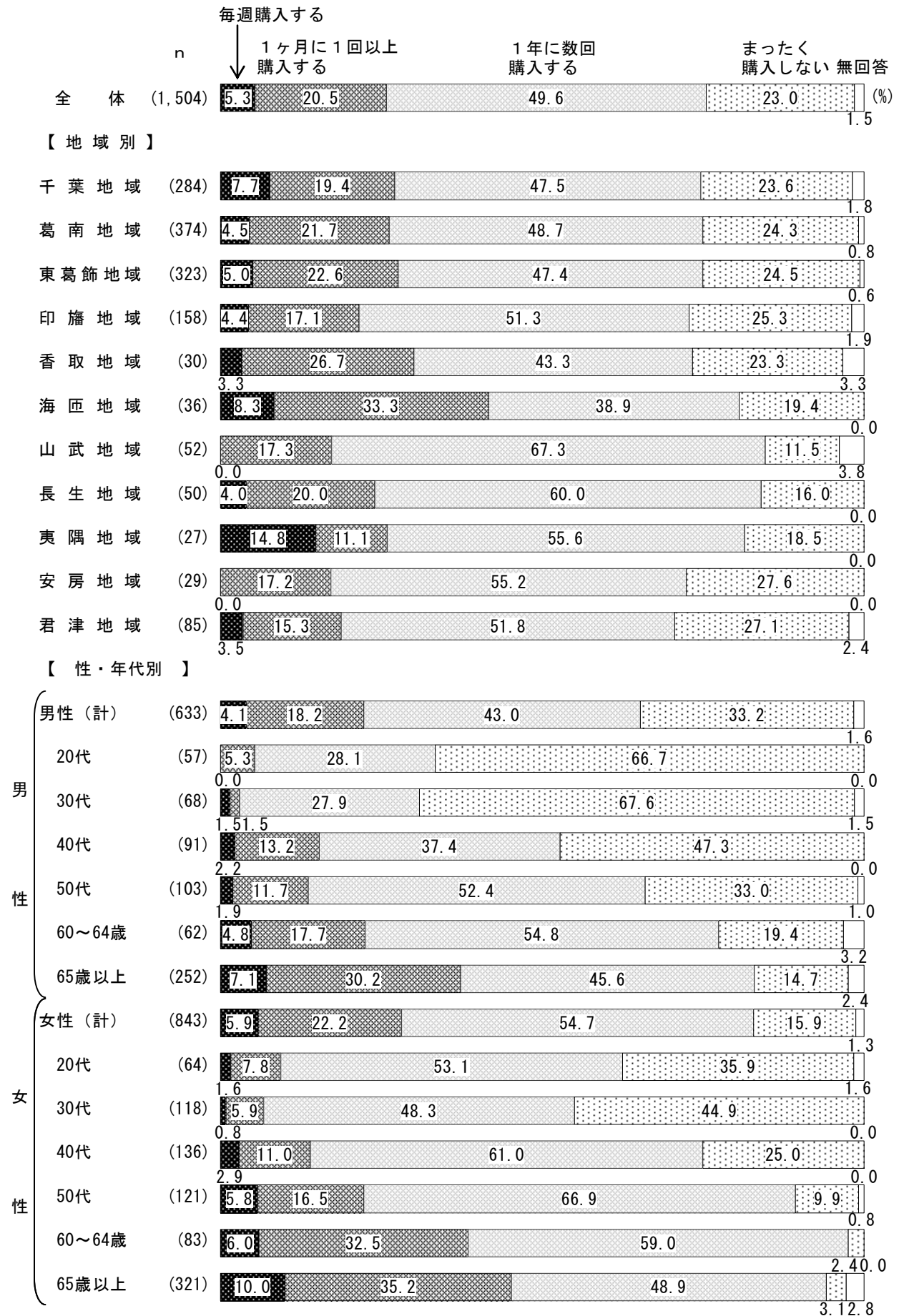
【性・年代別】

性別でみると『購入する』は女性(82.8%)で8割を超えて高く、性・年代別でみると女性の60～64歳(97.5%)で約10割、女性の65歳以上(94.1%)で9割台半ば、女性の50代(89.2%)で約9割と他の年代に比べて高くなっている。

一方、「まったく購入しない」は男性の30代(67.6%)、男性の20代(66.7%)で高くなっている。

(図表8-2)

<図表8-2>花の購入頻度／地域別、性・年代別



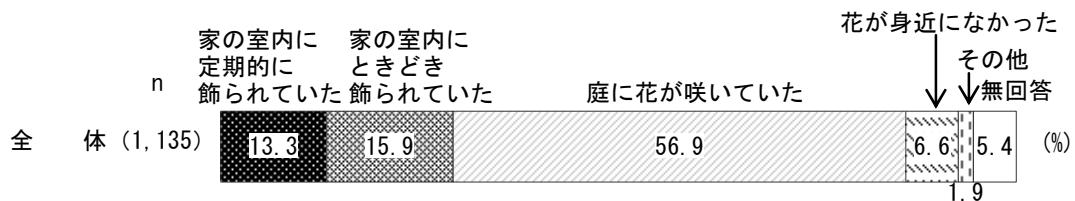
(2) 子どもの頃にもっとも近い状況

◇「庭に花が咲いていた」が5割台半ば

(問32で「毎週購入する」「1ヶ月に1回以上購入する」「1年に数回購入する」のいずれかをお答えの方に)

問33 あなたの子どもの頃の状況にもっとも近い状況は、次のうちどれですか。(○は1つ)

＜図表8－3＞子どもの頃にもっとも近い状況



花を購入する人に子どもの頃にもっとも近い状況を聞いたところ、「庭に花が咲いていた」(56.9%)が5割台半ばと最も多く、「家の室内にときどき飾られていた」(15.9%)、「家の室内に定期的に飾られていた」(13.3%)となっている。一方、「花が身近になかった」(6.6%)は約7%であった。

(図表8－3)

【地域別】

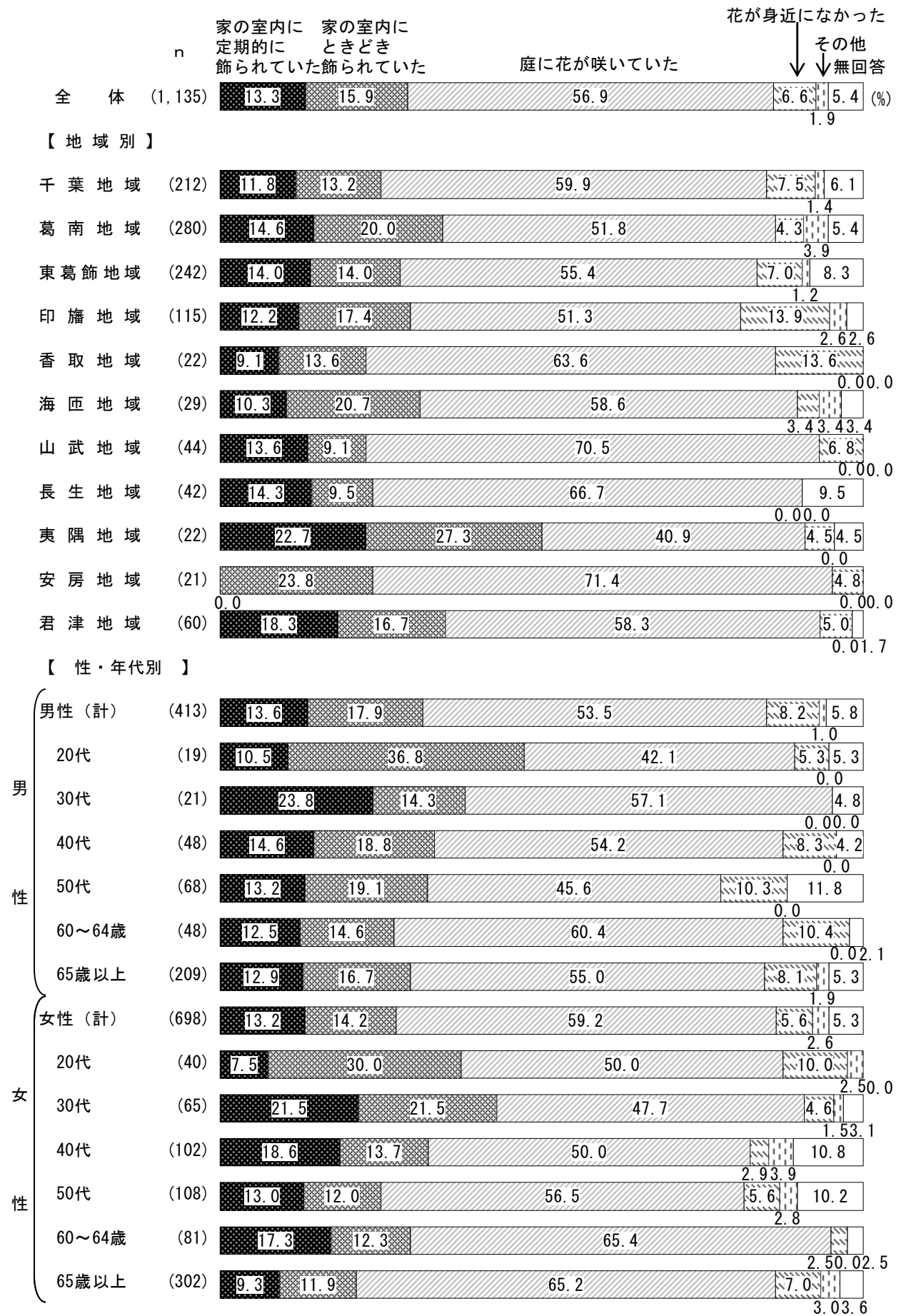
地域別にみると、「庭に花が咲いていた」は人数が多くないものの“安房地域”(71.4%)で7割を超え、“山武地域”(70.5%)で7割と高く、「家の室内に定期的に飾られていた」は“夷隅地域”(22.7%)で2割を超えて高くなっている。(図表8－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「庭に花が咲いていた」は女性の65歳以上(65.2%)で6割台半ばと高い。

「家の室内に定期的に飾られていた」は女性の30代(21.5%)で2割を超え、「家の室内にときどき飾られていた」は男性の20代(36.8%)で3割台半ば、女性の20代(30.0%)で3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表8－4)

＜図表８－４＞子どもの頃にもっとも近い状況／地域別、性・年代別



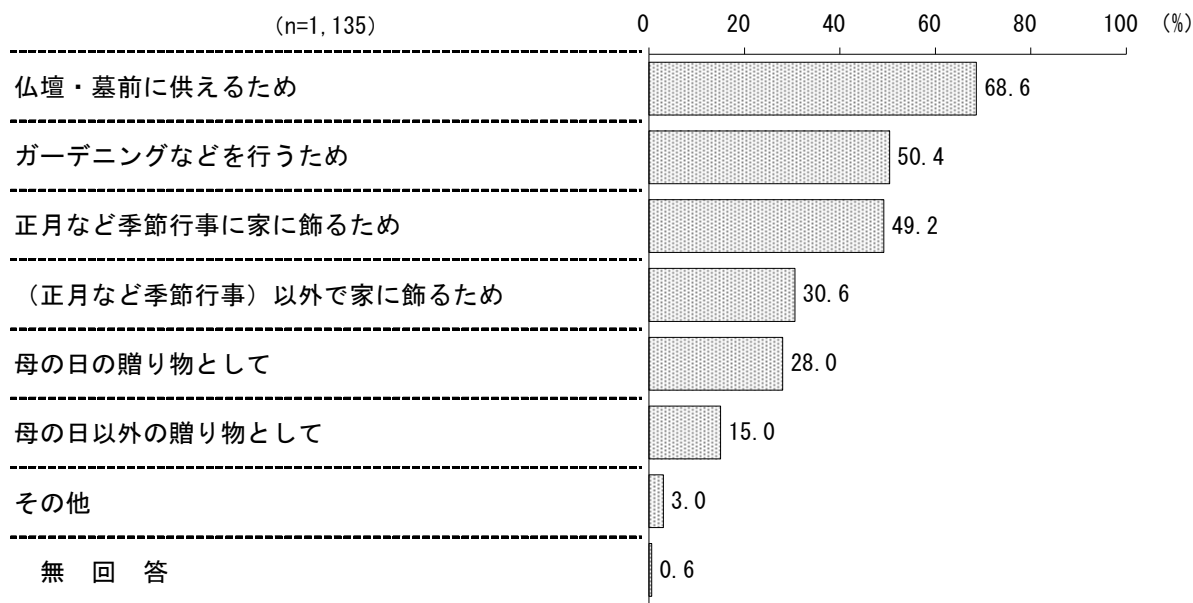
(3) 花を購入する時

◇「仏壇・墓前に供えるため」が約7割

(問32で「毎週購入する」「1ヶ月に1回以上購入する」「1年に数回購入する」のいずれかをお答えの方に)

問34 あなたは、どのような時に花を購入しますか。(〇はいくつでも)

<図表8-5>花を購入する時(複数回答)



花を購入する人にどのような時に花を購入するかを聞いたところ、「仏壇・墓前に供えるため」(68.6%) が約7割と最も多く、以下、「ガーデニングを行うため」(50.4%)、「正月など季節行事に家に飾るため」(49.2%)、「正月などの季節行事以外で家に飾るため」(30.6%)、「母の日の贈り物として」(28.0%) となっている。(図表8-5)

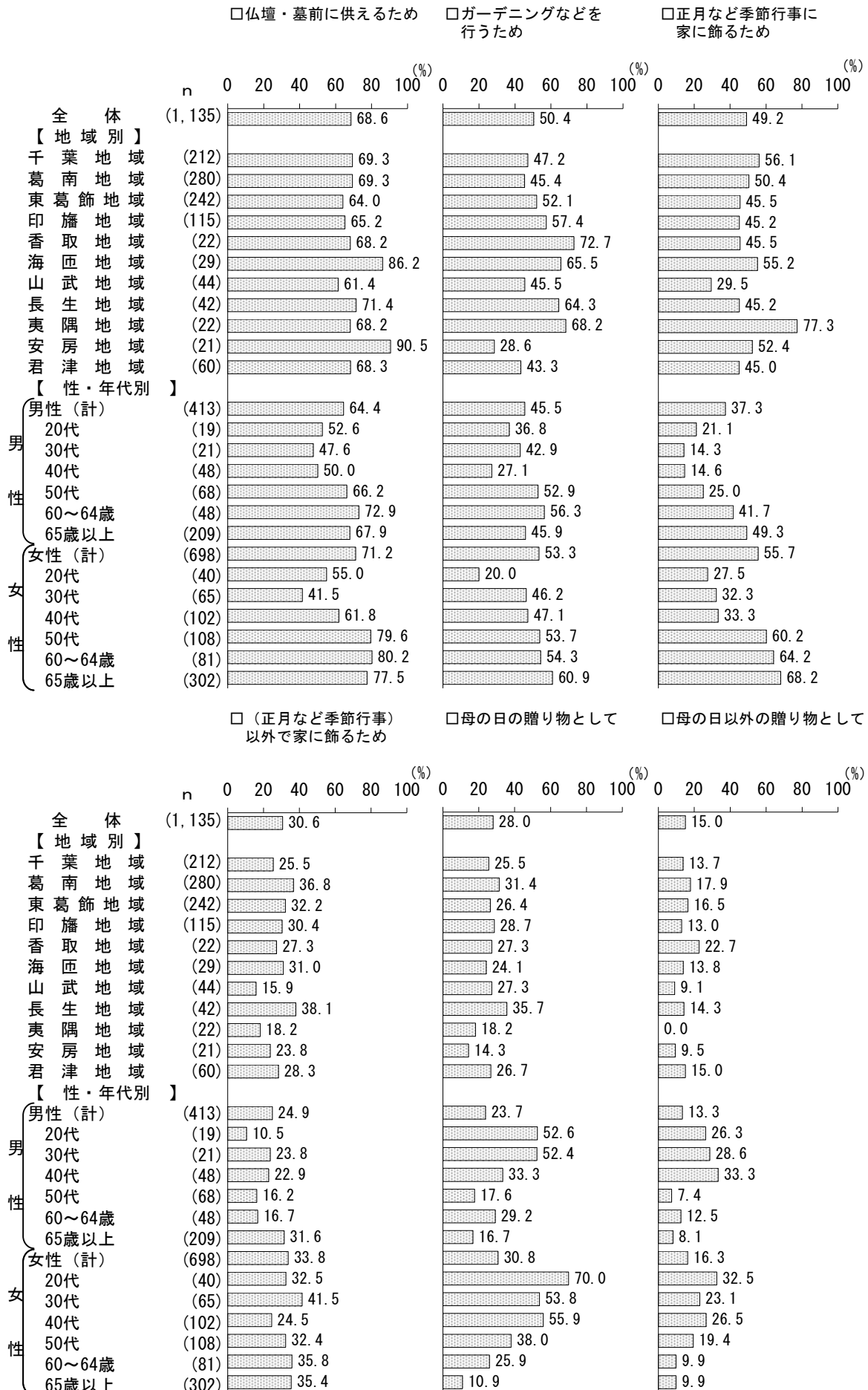
【性・年代別】

性別でみると、いずれの項目で女性の方が高い。

性・年代別にみると「仏壇・墓前に供えるため」は女性の60～64歳(80.2%)で8割、女性の50代(79.6%)、女性の65歳以上(77.5%)で約8割と高くなっている。

また、「ガーデニングなどを行うため」、「正月など季節行事に家に飾るため」は女性65歳以上で、「母の日の贈り物として」は女性の20代で特に高くなっている。(図表8-6)

＜図表８－６＞花を購入する時（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



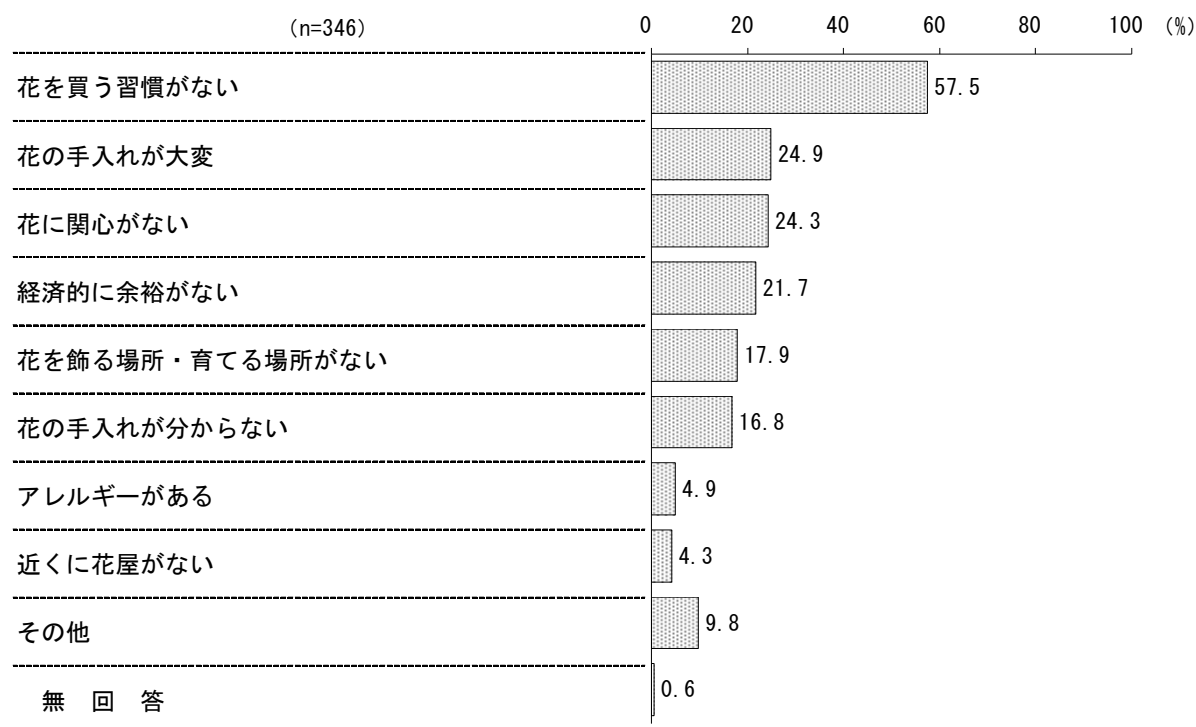
(4) 花を購入しない理由

◇「花を買う習慣がない」が約6割

(問32で「まったく購入しない」とお答えの方に)

問35 あなたが花を購入しないのは、どのような理由ですか。(〇はいくつでも)

<図表8-7>花を購入しない理由(複数回答)



花をまったく購入しない人に購入しない理由を聞いたところ、「花を買う習慣がない」(57.5%)が約6割と最も多く、以下「花の手入れが大変」(24.9%)、「花に関心がない」(24.3%)、「経済的に余裕がない」(21.7%)と続く。(図表8-7)

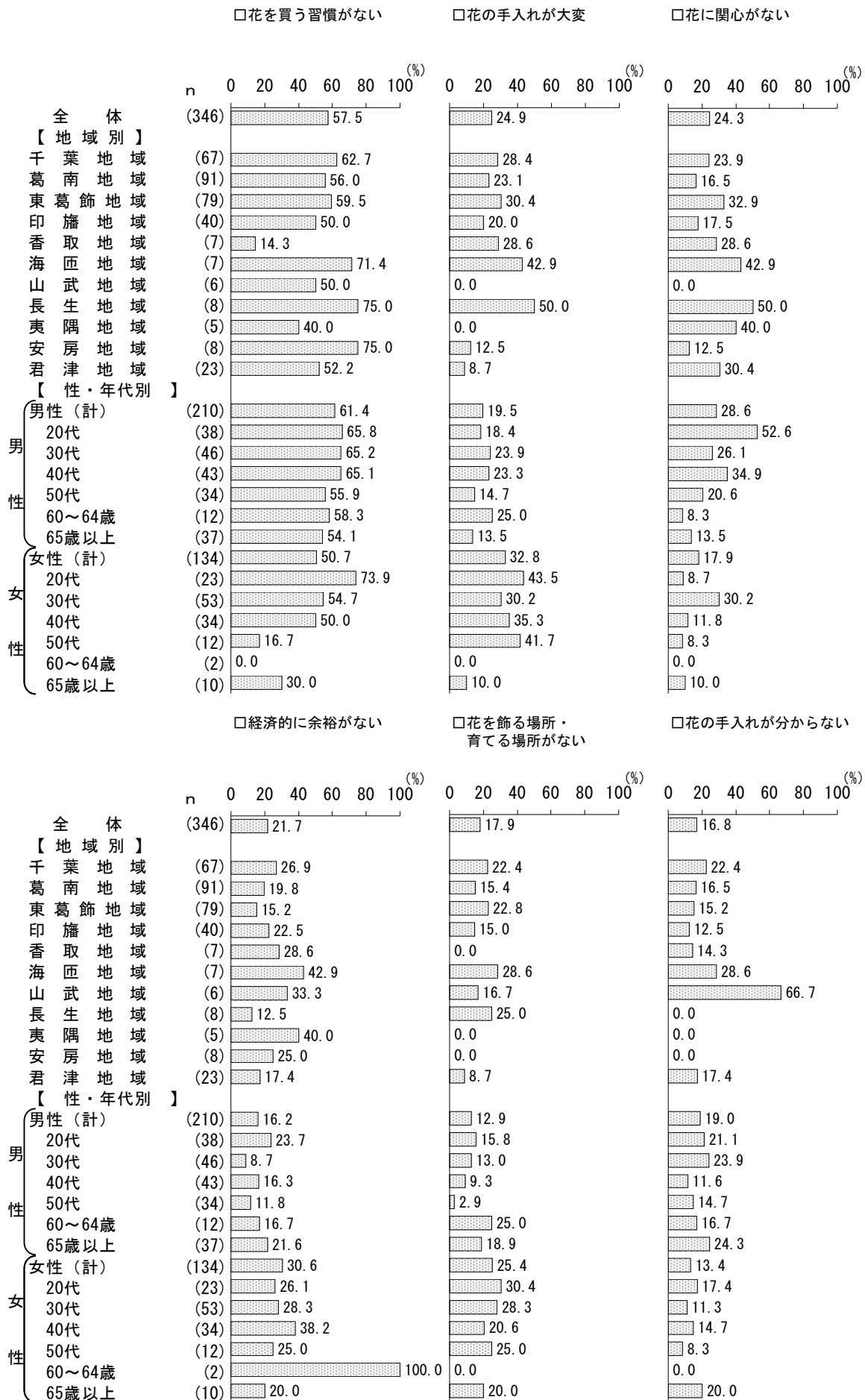
【性・年代別】

性別でみると、男性の方が「花を買う習慣がない」、「花に関心がない」、「花の手入れが分からない」が高く、女性は「花の手入れが大変」、「経済的に余裕がない」、「花を飾る場所・育てる場所がない」が高くなっている。

性・年代別でみると、「花に関心がない」は男性の20代(52.6%)で5割を超えて高くなっている。

(図表8-8)

＜図表８－８＞花を購入しない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



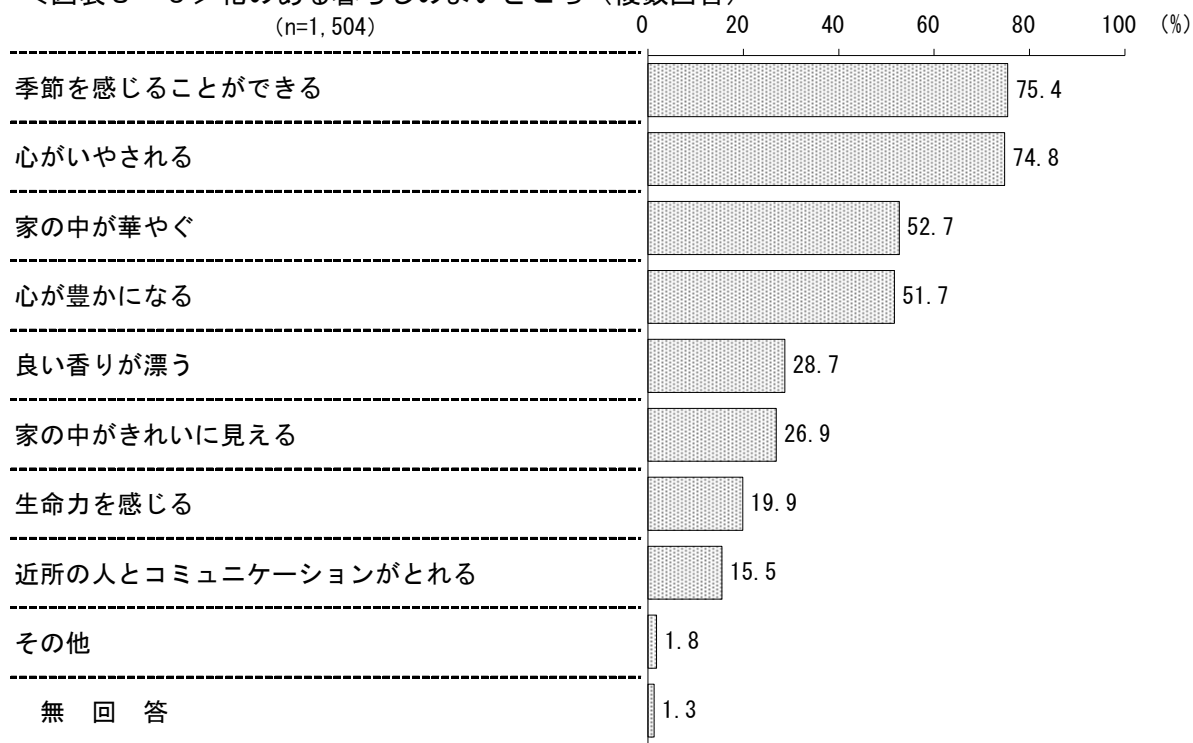
(5) 花のある暮らしのよいところ

◇「季節を感じる事ができる」、「心がいやされる」が7割台半ば

問36 花と緑には、様々な効果があると言われています。花のある暮らしのよいところはどのようなところだと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表8-9>花のある暮らしのよいところ(複数回答)

(n=1,504)



花のある暮らしのよいところはどのようなところかを聞いたところ、「季節を感じる事ができる」(75.4%)、「心がいやされる」(74.8%)が7割台半ばで共に高く、以下、「家の中が華やぐ」(52.7%)、「心が豊かになる」(51.7%)、「良い香りが漂う」(28.7%)、「家の中がきれいに見える」(26.9%)と続く。(図表8-9)

【地域別】

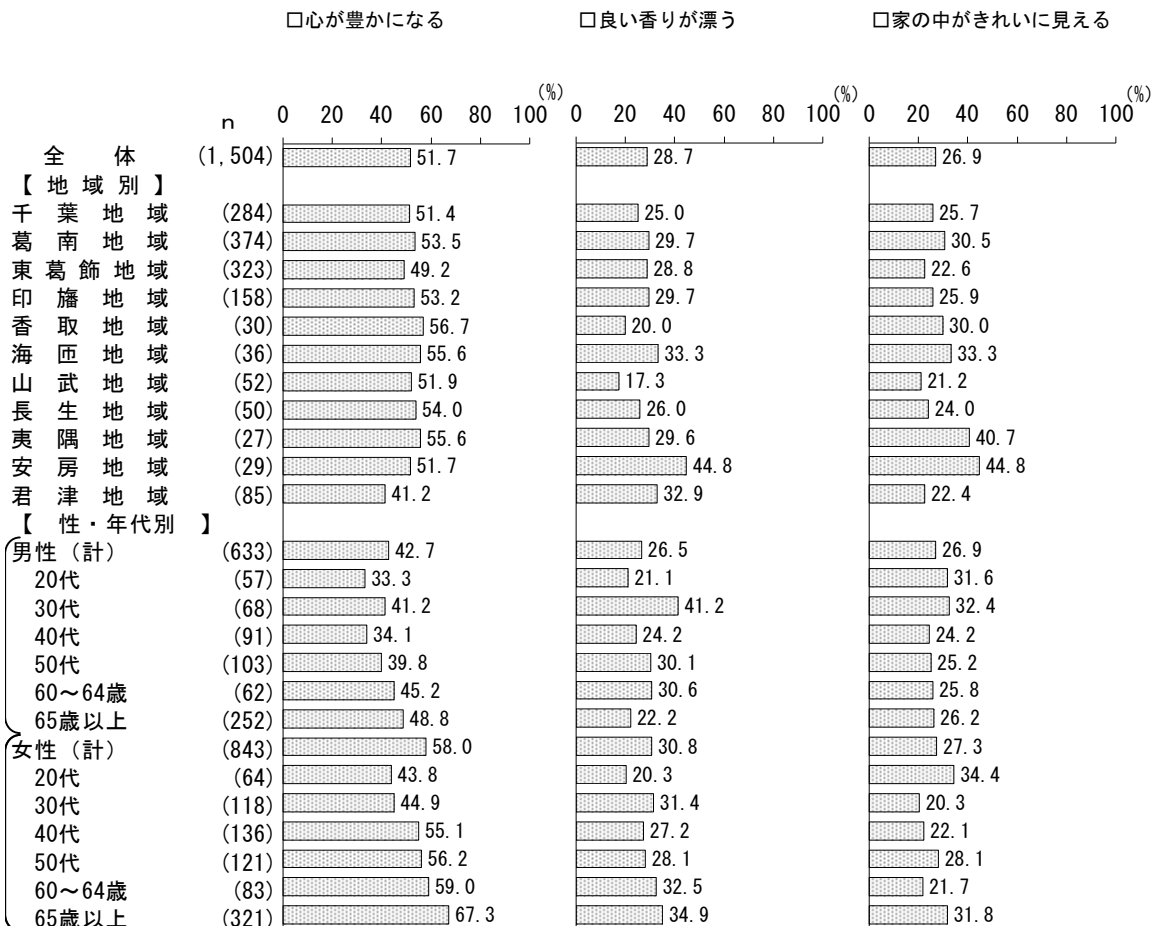
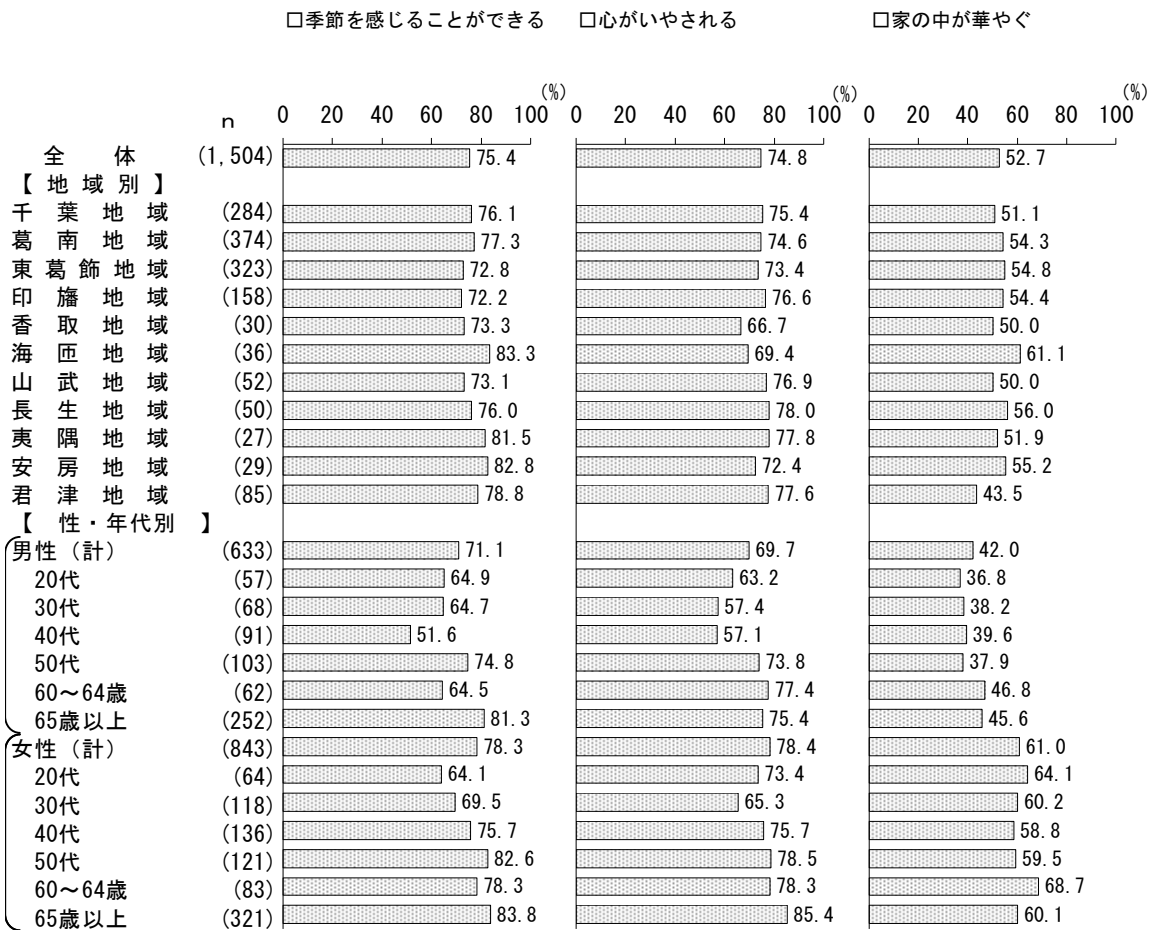
地域別にみると、「家の中がきれいに見える」は“安房地域”(44.8%)で4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表8-10)

【性・年代別】

いずれの項目も女性の方が高い。

性・年代別にみると、女性65歳以上で「季節を感じる事ができる」(83.8%)、「心がいやされる」(85.4%)が8割台半ばと特に高くなっている(図表8-10)

＜図表８－１０＞花のある暮らしのよいところ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



このほかに、「花の消費について」やここまでの質問（問32～問36）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、130 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「花の消費について」の自由回答（抜粋）

- 花は心を豊かにし、四季折々の草花が育つと、パワーを感じます。また冬の時期を迎え、さくらやさつきやあじさいが枯れてくると、来春までの準備と栄養をたくわえている様で、花が咲くのが楽しみです。（女性、40 代、香取地域）
- 趣味で、花木や草花を育てています。四季折々の花は心が癒されるとともに、また来季も咲くことを願って、手入れに力を入れています。（男性、65 歳以上、千葉地域）
- ご近所で株を分け合ったり、さし木を交換したり、いつの間にかコミュニケーションが花を通じて取れている。（女性、60～64 歳、印旛地域）
- 興味があります！！ 子供の手が離れたらガーデニングなどに力を入れたいと思っています。（女性、30 代、葛南地域）
- 花や緑のある暮らしは大切だと思っている。「花いっぱい運動」等、いっそうの推進をお願いしたい。（男性、50 代、夷隅地域）
- 小、中学校にももう少し花のある環境がほしいです。子供に花の苗を植えさせたい(特に中学校)。（女性、40 代、葛南地域）
- 花が家の中にあると心が豊かになるのは本当にうれしいが、花を購入するには経済的にゆとりがないと、特に若い人達には難しいかもしれません。（女性、65 歳以上、葛南地域）
- 緑の豊かな千葉県には癒されます。近隣のコスモスやひまわり等々、配慮されていると感じている。（女性、60～64 歳、印旛地域）
- 早春に千葉房総に一足早い春に、そして観光地としてアピールして花の消費の促進したら良いと思います。（男性、60～64 歳、山武地域）
- 四街道市では、駅前や道路脇に季節の花がよく植えかえられています。今の時期はパンジーがとてもきれいです。とても気持ちが晴れるものです。これからも続けてくれることを希望します。（女性、50 代、印旛地域）

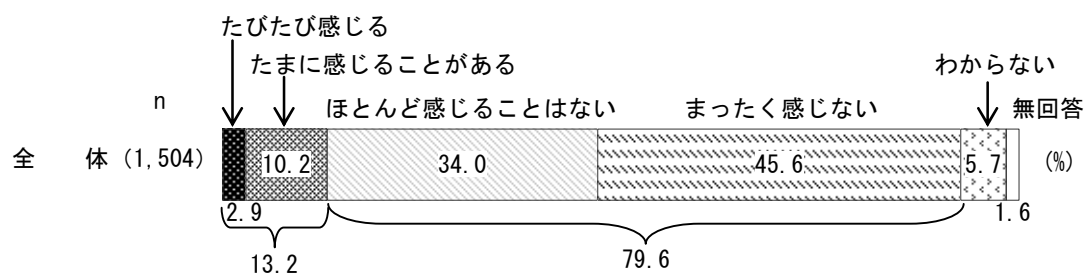
9 人権問題について

(1) 過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたこと

◇『感じる』が1割台半ば

問37 あなたは、過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたことはありますか。(○は1つ)

＜図表9－1＞過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたこと



過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたことがあるか聞いたところ、「たびたび感じる」(2.9%)と「たまに感じることもある」(10.2%)を合わせた『感じる』(13.2%)が1割台半ばであった。一方、「ほとんど感じることはない」(34.0%)と「まったく感じない」(45.6%)を合わせた『感じない』(79.6%)が約8割となっている。(図表9－1)

【地域別】

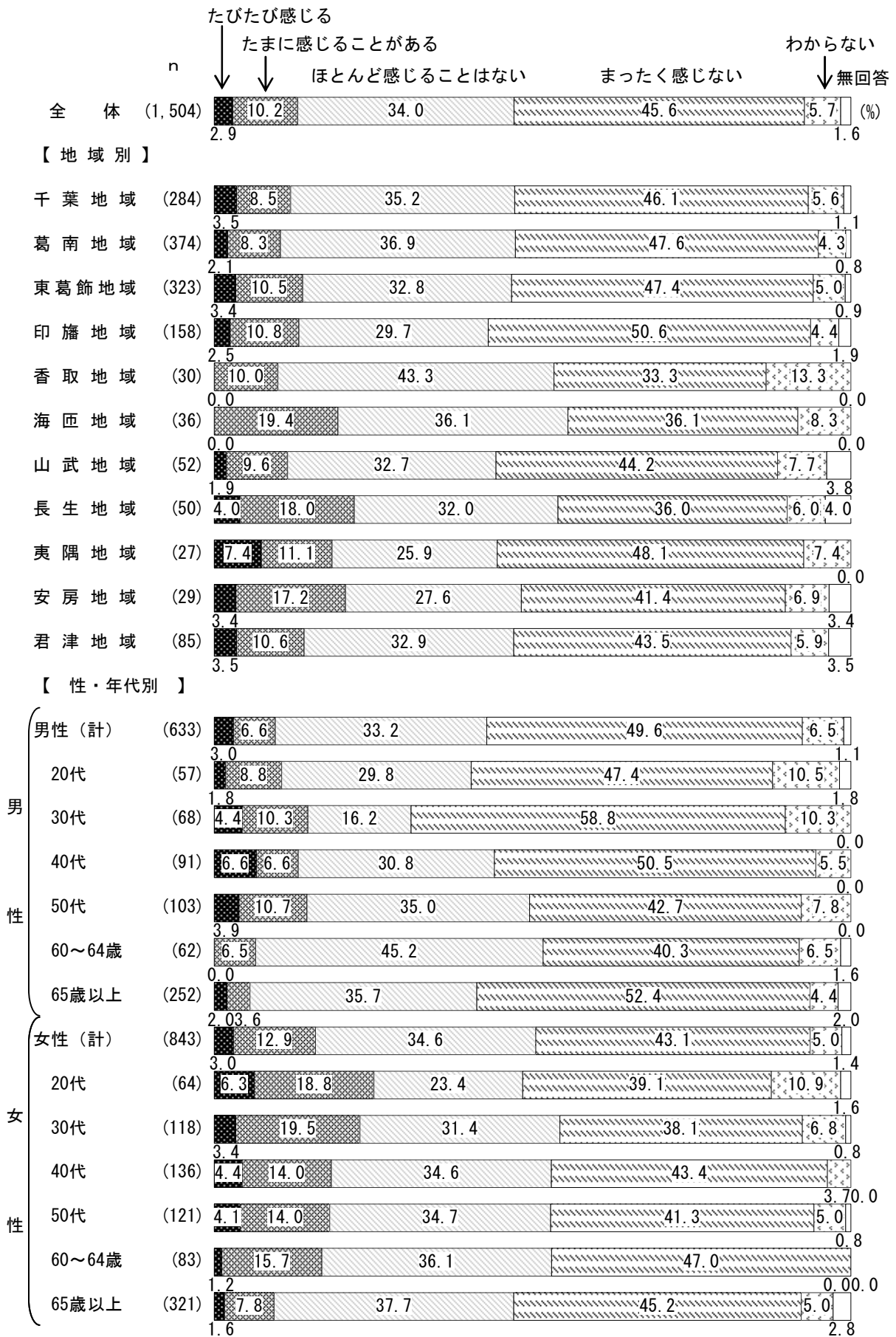
地域別にみると、『感じる』は“長生地域”(22.0%)で2割を超え、他の地域に比べてやや高くなっている(図表9－2)

【性・年代別】

性別でみると、女性の方が『感じる』(15.9%)が1割台半ばと高くなっており、性・年代別にみると、女性20代(25.0%)、女性30代(22.9%)で2割以上と、他の年代に比べて高くなっている。

(図表9－2)

＜図表９－２＞過去５年間に差別や人権侵害を受けたと感じたこと／地域別、性・年代別



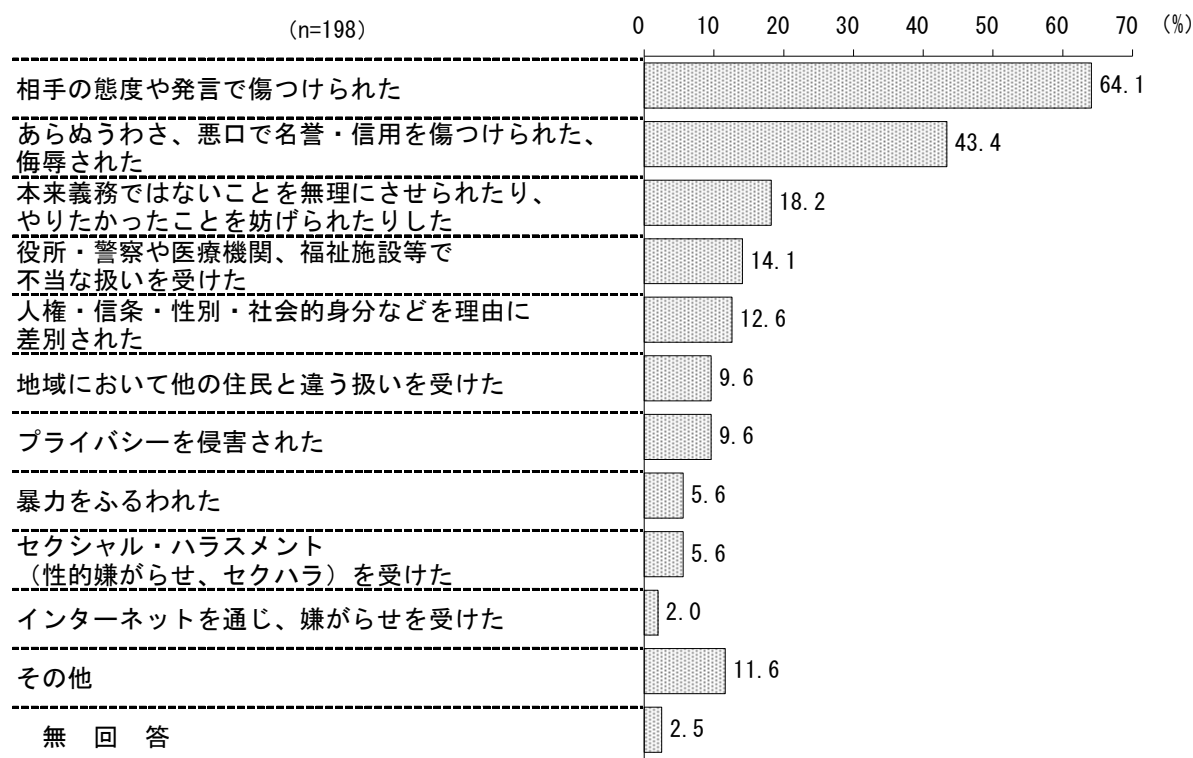
(2) 差別や人権侵害を受けた内容

◇「相手の態度や発言で傷つけられた」が6割台半ば

(問37で「たびたび感じる」「たまに感じる」のいずれかをお答えの方に)

問38 それはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

<図表9-3>差別や人権侵害を受けた内容(複数回答)



過去5年間に差別や人権侵害を受けたと「たびたび感じる」と「たまに感じる」ことがある人にどのような内容かを聞いたところ、「相手の態度や発言で傷つけられた」(64.1%)が6割台半ばで最も高く、以下、「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された」(43.4%)、「本来義務ではないことを無理にさせられたり、やりたかったことを妨げられたりした」(18.2%)と続く。

(図表9-3)

【地域別】

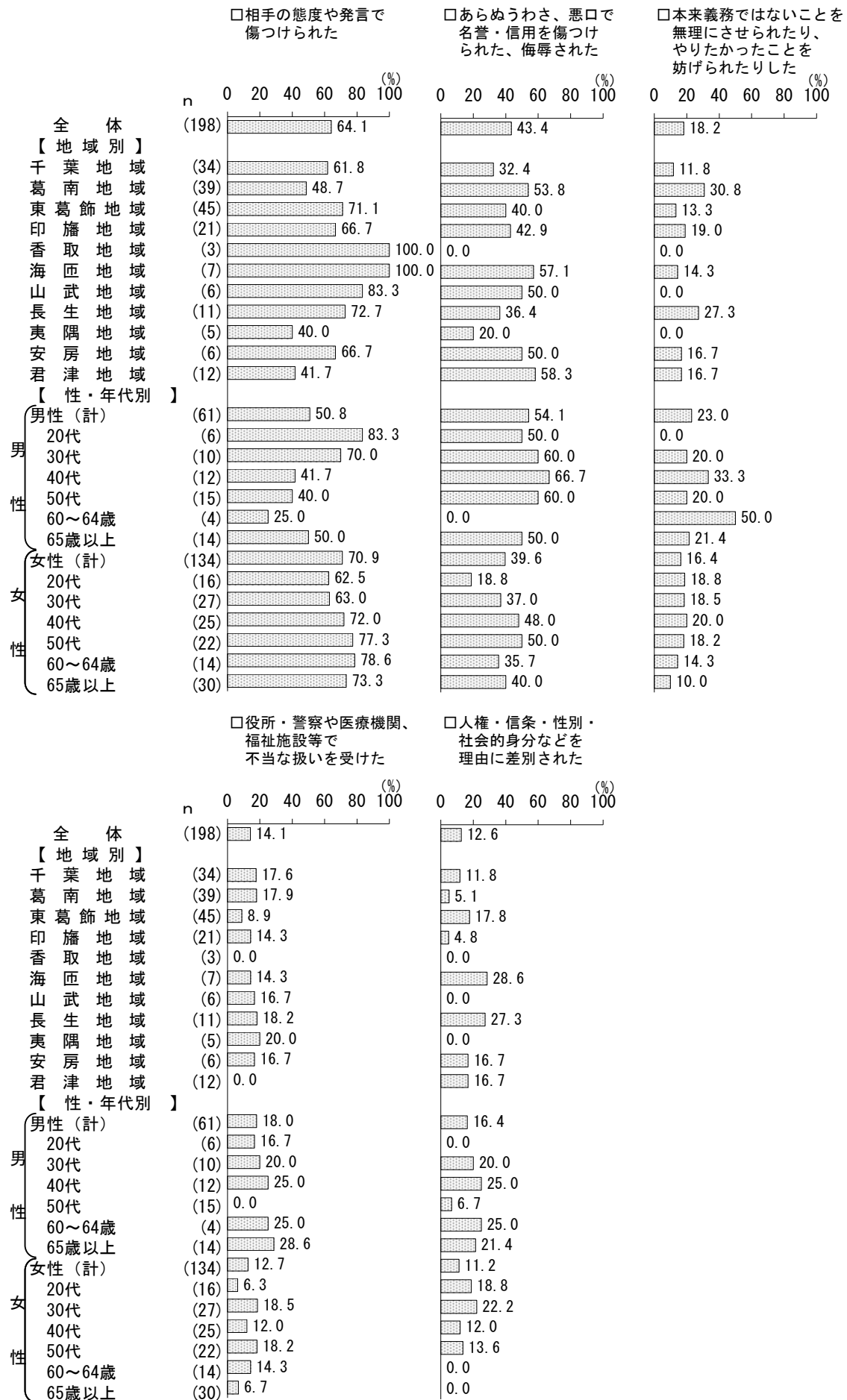
地域別にみると、「本来義務ではないことを無理にさせられたり、やりたかったことを妨げられたりした」は“葛南地域”(30.8%)で3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表9-4)

【性別】

性別でみると、「相手の態度や発言で傷つけられた」は女性(70.9%)で7割、「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された」は男性(54.1%)で5割台半ばと高くなっている。

(図表9-4)

＜図表９－４＞差別や人権侵害を受けた内容（複数回答）／地域別、性・年代別（上位５項目）



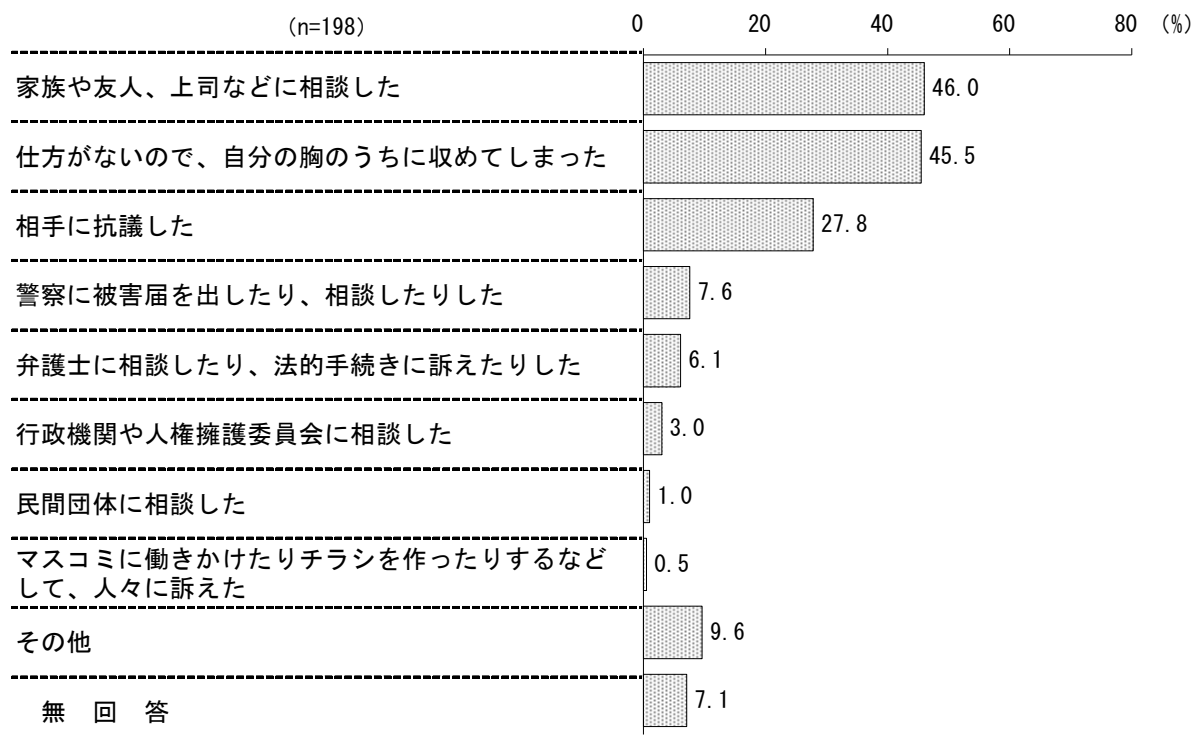
(3) 差別や人権侵害を受けた時の対応

◇「家族や友人、上司などに相談した」、「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」が共に4割台半ば

(問37で「たびたび感じる」「たまに感じる」のいずれかをお答えの方に)

問39 あなたは、そのようなとき、どのような対応をしましたか。(○はいくつでも)

<図表9-5>差別や人権侵害を受けた時の対応(複数回答)



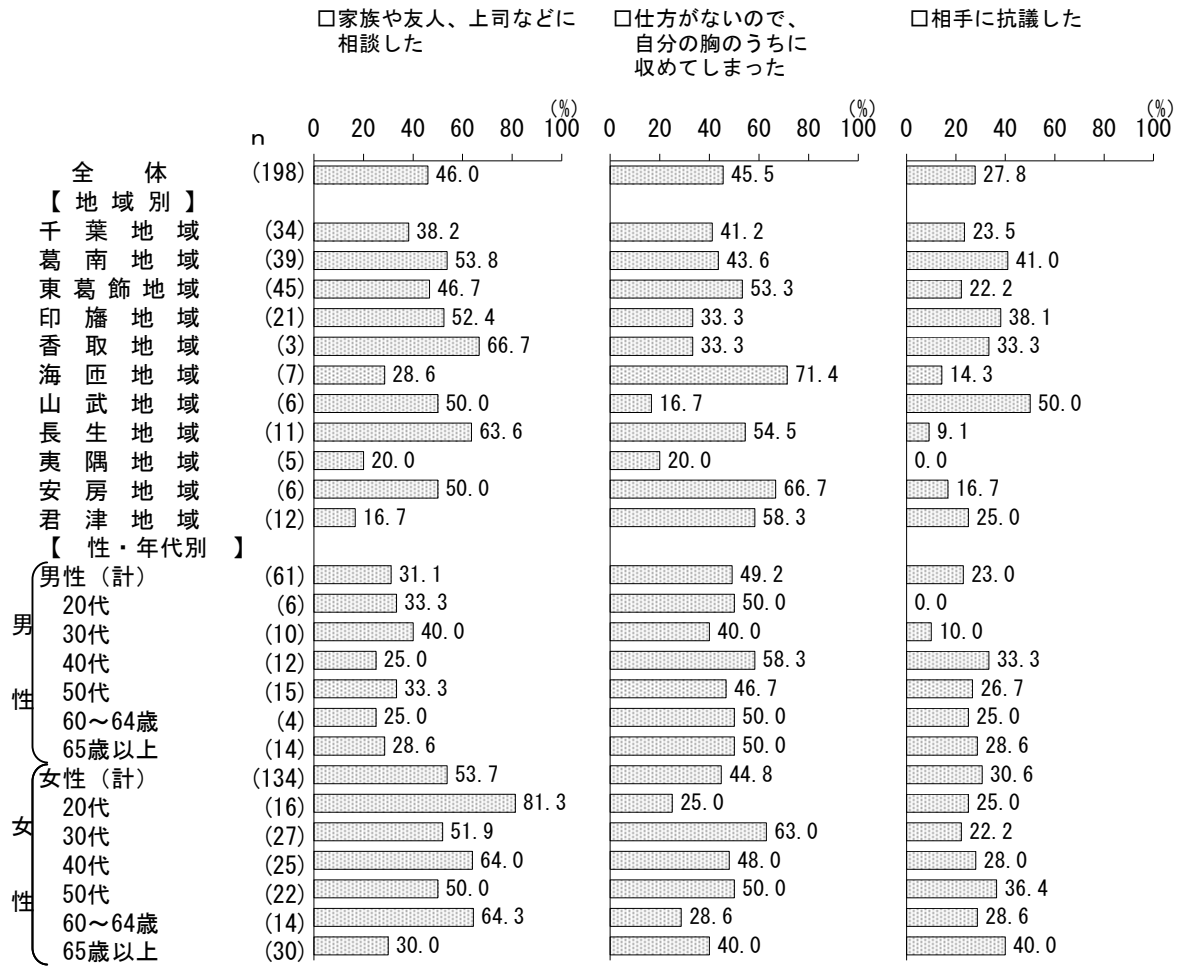
過去5年間に差別や人権侵害を受けたと「たびたび感じる」と「たまに感じることもある」人にどのような対応をしたかを聞いたところ、「家族や友人、上司などに相談した」(46.0%)、「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」(45.5%)が共に4割台半ばと高く、以下、「相手に抗議した」(27.8%)と続く。(図表9-5)

【性・年代別】

性別でみると、「家族や友人、上司などに相談した」は女性(53.7%)の方が5割台半ばと高く、性・年代別にみると、女性の20代(81.3%)で高くなっている。

「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」は女性30代(63.0%)で6割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。(図表9-6)

<図表9-6>差別や人権侵害を受けた時の対応（複数回答）／地域別、性・年代別（上位3項目）



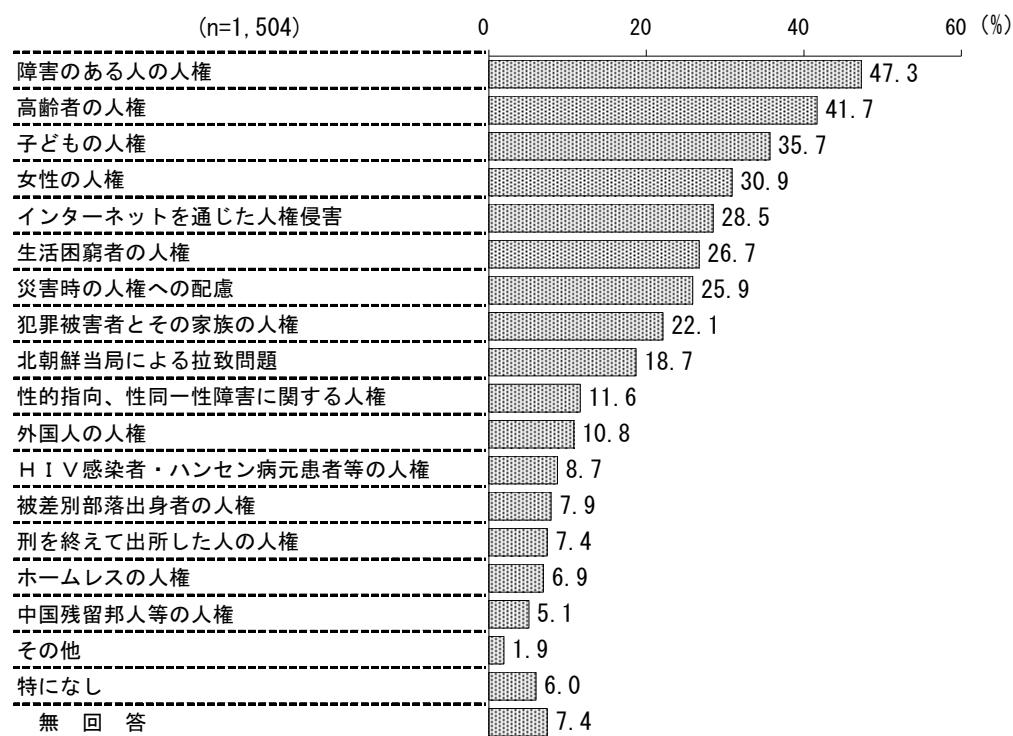
(4) 今まで以上に啓発すべき人権問題

◇「障害のある人の人権」が約5割と最も高い

問40 千葉県では、さまざまな人権問題について、その解決のための啓発に取り組んでいます。
あなたは、今後、どの問題について今まで以上に啓発すべきと思いますか。

(〇はいくつでも)

<図表9-7> 今まで以上に啓発すべき人権問題（複数回答）



さまざまな人権問題について、今後、今まで以上に啓発すべき内容としては、「障害のある人の人権」（47.3%）が約5割と最も高く、以下、「高齢者の人権」（41.7%）、「子どもの人権」（35.7%）、「女性の人権」（30.9%）、「インターネットを通じた人権侵害」（28.5%）、「生活困窮者の人権」（26.7%）と続いている。（図表9-7）

【地域別】

地域別にみると、「女性の人権」が“香取地域”（50.0%）で5割と他の地域に比べて高くなっている。（図表9-8）

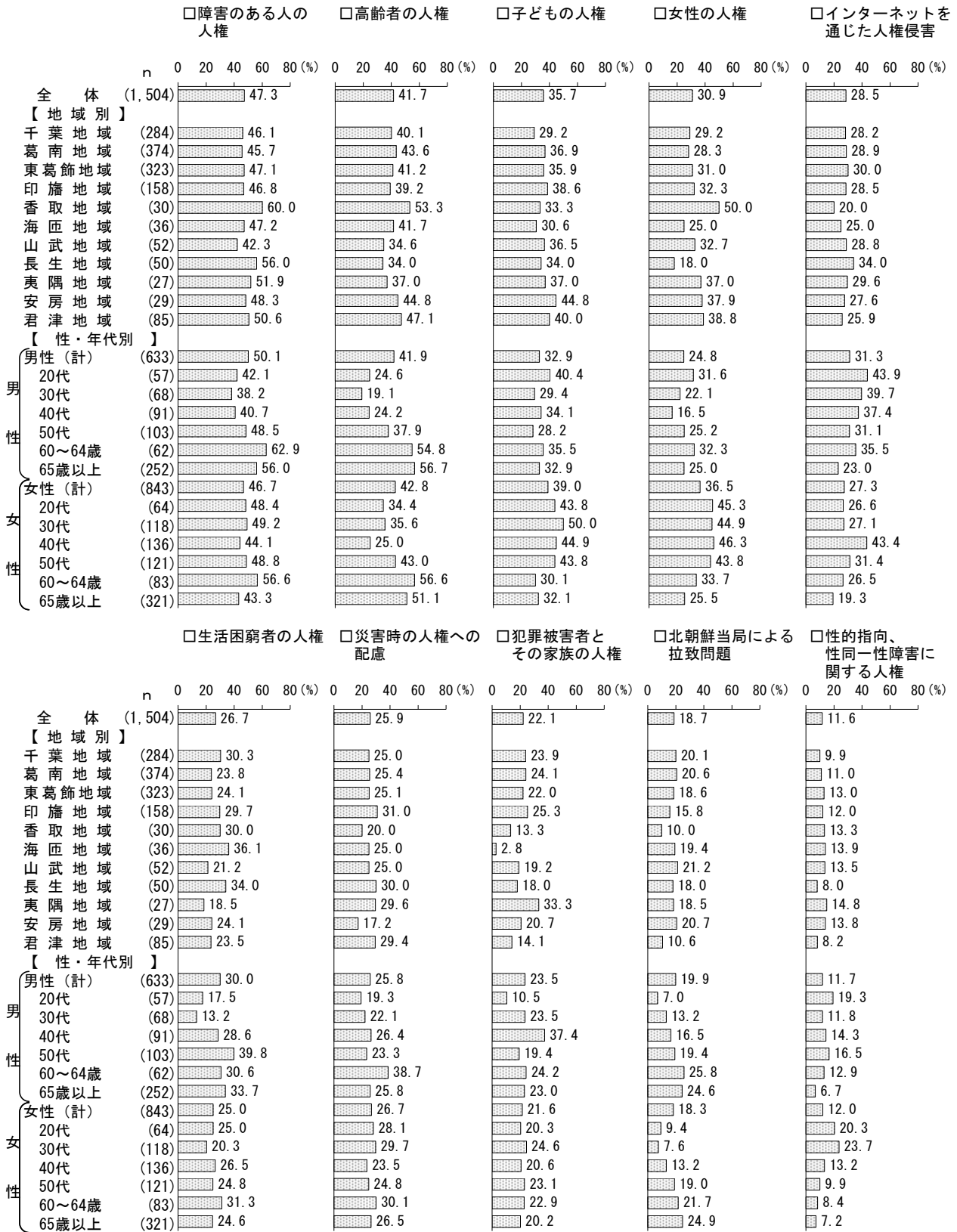
【性・年代別】

性・年代別にみると、「障害のある人の人権」は男性60～64歳（62.9%）で6割を超えて特に高い。

「高齢者の人権」は男女ともに60～64歳、65歳以上で5割以上と高くなっている。

「子どもの人権」は、女性30代（50.0%）で5割、「女性の人権」は女性の20代～50代で4割台半ば、「インターネットを通じた人権侵害」は男性20代（43.9%）、女性40代（43.4%）で4割台半ばと高くなっている。（図表9-8）

＜図表９－８＞今まで以上に啓発すべき人権問題（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）

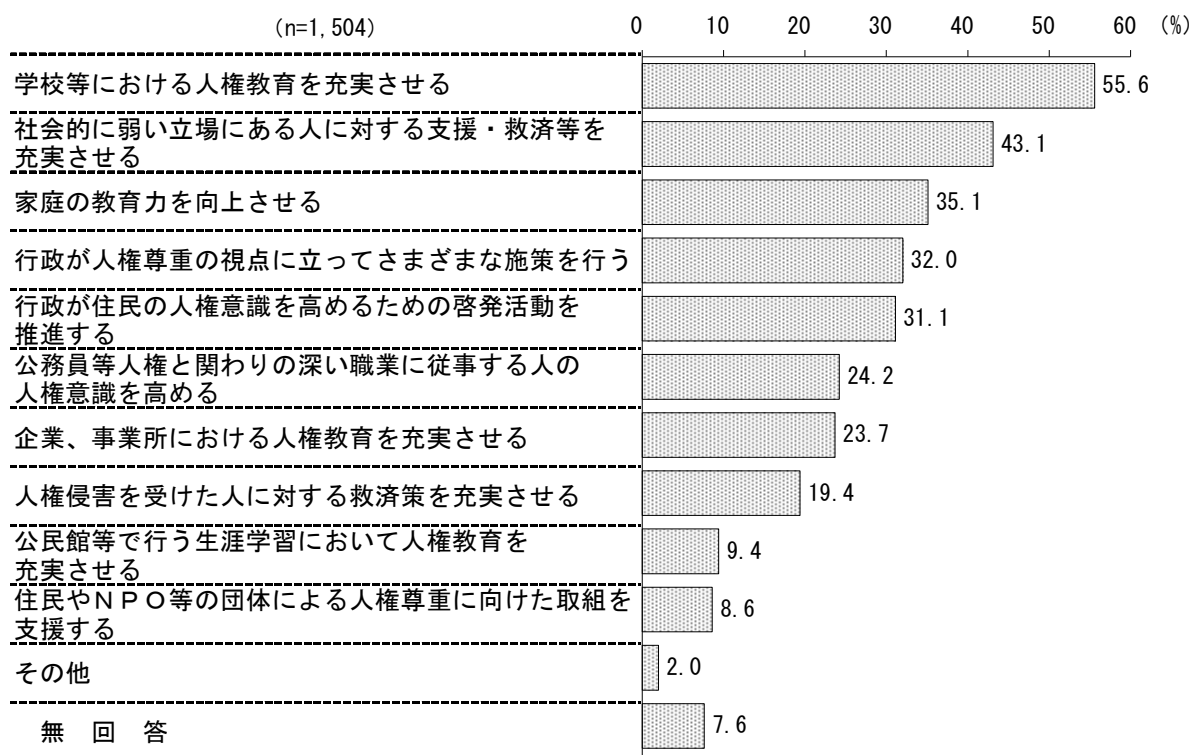


(5) 人権が尊重される社会を実現するために必要な取組

◇「学校等における人権教育を充実させる」が5割台半ばと最も高い

問41 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後、千葉県においてどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

＜図表9－9＞人権が尊重される社会を実現するために必要な取組（複数回答）



人権が尊重される社会を実現するために、今後、千葉県において必要な取組は「学校等における人権教育を充実させる」(55.6%)が5割台半ばと最も高く、以下、「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる」(43.1%)、「家庭の教育力を向上させる」(35.1%)、「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」(32.0%)、「行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する」(31.1%)と続いている。(図表9－9)

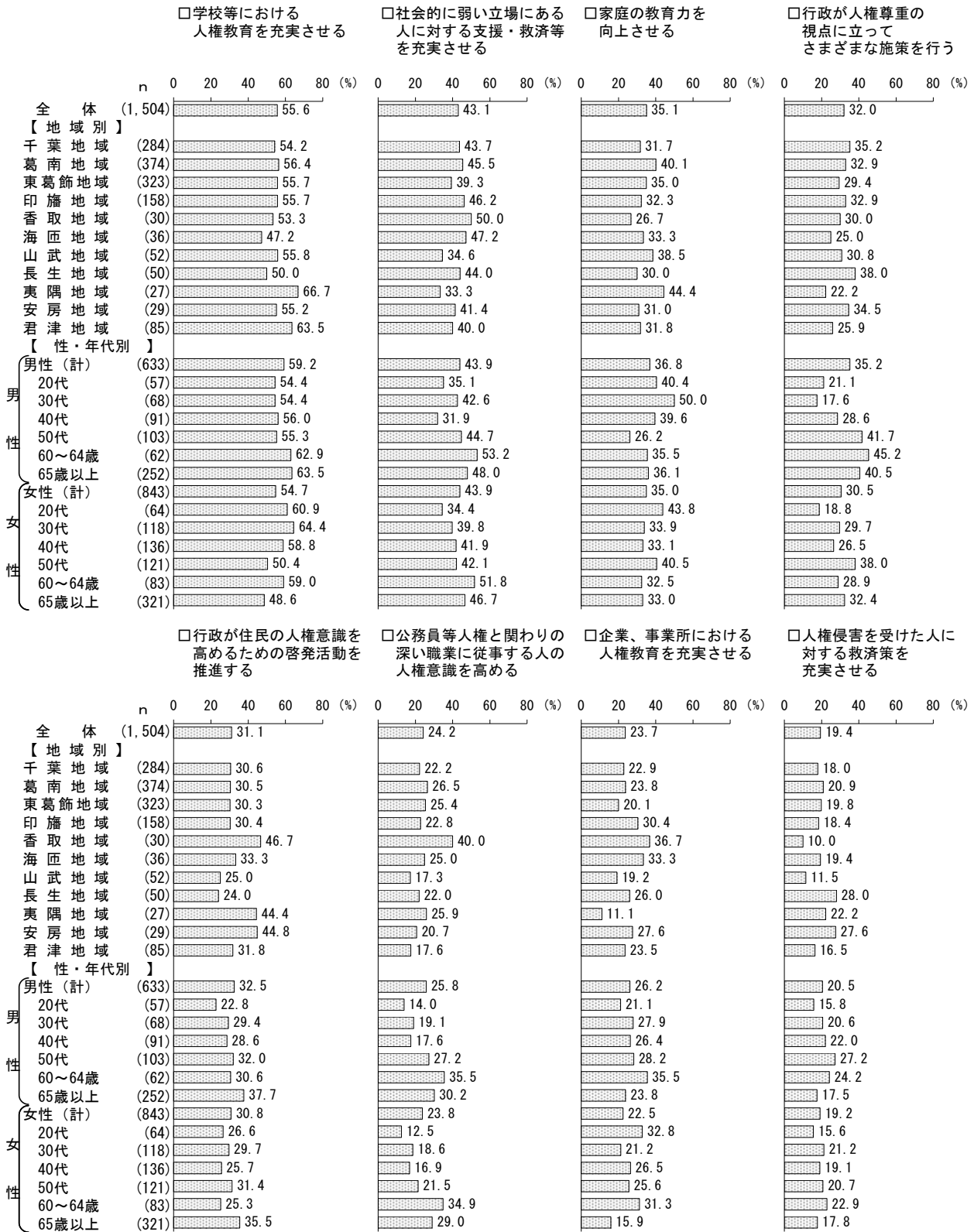
【性・年代別】

性・年代別にみると、「学校等における人権教育を充実させる」は女性30代(64.4%)、男性65歳以上で6割台半ばと特に高い。

「家庭の教育力を向上させる」は男性30代(50.0%)で5割、「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」は男性60～64歳(45.2%)で4割台半ば、「行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する」は男性65歳以上(37.7%)で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。

(図表9－10)

＜図表９－１０＞人権が尊重される社会を実現するために必要な取組（複数回答）
／地域別、性・年代別（上位８項目）



このほかに、「人権問題について」やここまでの質問（問37～問41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、105 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「人権問題について」の自由回答（抜粋）

○家族と人に対する思いやり、命の大切さ、人のいたみ、親がきちんと教えるべきだと思う。

（女性、50 代、千葉地域）

○家庭内での教育＝躾、学校等における教育、社会における実践哲学のうち、一番基本で初期に必要な躾がおろそかになっている。いま一度、有識者等により躾の大切さ、家庭内への普及について検討、実施する必要があると思います。（男性、65 歳以上、葛南地域）

○人権尊重も大事な事ですが、まずは人間形成が一番と思います。個々の人間が心豊かになれば、自然に人権を守る様になり、尊重する様になるのではと思います。（女性、20 代、香取地域）

○無知無学、自身が経験した事のない事に対して偏見や差別的発言を受ける事は非常に辛い事です。このような事がない様、家庭や学校、社会でこれらの問題に関して啓蒙活動を実践し、問題解決に近づけてほしいと思います。（男性、40 代、葛南地域）

○立場の弱い人には周りの人がよりそってあげるとか、助け合う事が必要だと思う。

（女性、60～64 歳、君津地域）

○人権に関しては、人権教育等が重要であり、様々な機会の人権について学び考える体制作りが大切と考える。

（男性、50 代、海匝地域）

○人権について子供達がしっかりとした考え方ができるようにしていくことが大事だと思う。

（女性、60～64 歳、夷隅地域）

○幼少期からの継続した教育で考えさせる、気づかせることが必要と思います。社会、学校、家庭の連携を要することかと。

（女性、65 歳以上、無回答）

10 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、234人から延べ301件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計30項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	58
第2位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	19
第3位	高齢者の福祉を充実する	15
第4位	学校教育を充実する	14
第5位	県政の情報発信について	12
第6位	便利な交通網を整備する	9
〃	道路を整備する	9
〃	公園・緑地・水辺を整備する	9
第9位	年金生活者、生活困窮者への支援	8
第10位	医療サービス体制を整備する	7
〃	人権について	7
第12位	災害から県民を守る	6
〃	交通事故から県民を守る	6
〃	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	6
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	6
〃	観光を振興する	6
〃	雇用の場を広げる	6
第18位	犯罪防止対策をすすめる	5
第19位	青少年を健全に育てる	3
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	3
〃	芸術・文化活動を振興する	3
〃	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	3
〃	地域交流について	3

（次ページに続く）

順位	項目	件数
第24位	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	2
第25位	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる	1
〃	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する	1
〃	自然を守り、緑を育てる	1
〃	下水道を整備する	1
〃	食育について	1
〃	アクアラインについて	1
	その他	70
	その他 うち、国政への要望	10
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	17
合 計		301

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

○この県に住んでいる弱者の方に目を向ける公人が多くなる様に希望しています。

（男性、65歳以上、千葉地域）

○県民の声を聞いているのだから、実効性のある施策を実施していただきたい。この調査を実のあるものにしていただきたい。やっただけということにしてほしくない。

（男性、60～64歳、千葉地域）

○県の施設で無駄な物にお金をかけないこと。利用していない物は処分すること。皆さんの税金を無駄な所に使わないでほしい。（女性、65歳以上、千葉地域）

○お年寄りに優しい県であってほしいです。（男性、30代、印旛地域）

○保守的な県のイメージが強いです。都心にも近いし、もっと住みやすい人気のある県になるといい。看護師が不足しているのはなぜでしょうか？ 待遇・育成に力を入れてほしいです。（女性、20代、東葛飾地域）

○住みたい県NO1になってほしいし、そうなれるよう私も協力していきたいです。

（女性、30代、葛南地域）

○我が家は昭和45年からこの地に暮らしています。当時は不便なことも困ることもありましたが、現在は困った事もなく暮らしています。千葉県の発展を祈ります。

（男性、65歳以上、印旛地域）

○若い世代がもっと県政に対しても、興味・関心を持てるような広報、イベントを開催すれば良いと思う（今後の超少子高齢化社会を迎えるに当たって）。（男性、20代、東葛飾地域）

○千葉県民（特に子供）たちが明るく楽しく暮らせる千葉にしてください。

（男性、40代、安房地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○私は今、小学生を持つ母ですが、世の中で子供に関する悲しい事件が多いように感じます。みんなが安全に安心して暮らせる為の地域交流の場をたくさん作っていただきたいです。大勢の大人達が子供を見守っていく事ができたら、子供達も地域の大人の方々を大切に出来ると思いますので、よろしくお願いします。（女性、40代、葛南地域）

○子供、高齢者は世間では色々守らなければいけないという話は沢山出ますが、子育て世代の人達の支援も、最も必要なのではないかと思います。（女性、65歳以上、千葉地域）

○女性が安心して子供を産むことができるようにして下さい（保育園の充実、子育てしながら働きやすい環境）。（女性、30代、印旛地域）

○若い夫婦への子育て支援をしてほしい。経済的に子供を一人以上がきびしい。

（男性、20代、葛南地域）

■高齢者の福祉を充実する

○介護福祉の人材確保と待遇を、これからの人材のためにも充実してほしい。自然豊かな千葉県に生まれ感謝しております。ありがとうございました。（男性、20代、葛南地域）

○介護をされる方には、各々家庭に過去の事情などあることをわかってほしい。介護のレベルアップに努めてほしい。（女性、50代、東葛飾地域）

○地域の過疎化により、生活や暮らしが苦しくなっており、超高齢化社会の生活の中で、介護・福祉など最優先に考えてもらいたい。また、住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地方自治体との連携を強化して、住みよい千葉県にしてもらいたい。（男性、50代、海匝地域）

■学校教育を充実する

○住みよい県へ。学校からいじめをなくす。先生たちの質と人数を増やしてほしい。

（女性、40代、君津地域）

○小学生の子どもが居り、子どもを通して千葉県のことを考える機会が多いです。教育現場、又、放課後対策事業で関わって下さる職員のスキルの向上（パート等安易な人の雇用で、質の低下がみられます）が県政で話し合われ、市政にいかせてもらえたらと思います。子どもは大人の姿をよくみています。先生方、子どもに関わる大人の質の向上は何よりの教育だと思います。（女性、40代、東葛飾地域）

○子どもが平等に教育を受けられるようにしてほしい(貧困問題で授業の格差が発生しないなど)。
(男性、40代、東葛飾地域)

■県政の情報発信について

○今迄県政に関する事はあまり伝わってこなかった様に思います。これからは関心を持っていこうと思います。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

○「地域リハビリテーション体制」や「ゲー・パー食生活」などの県の施策を知らなかった。県の施策を県民が知るために、もっと広報活動を多くとってはどうか。(女性、40代、千葉地域)

■便利な交通網を整備する

○野田市は千葉市へ向かう時、車でも鉄道でもとても時間がかかります。県内他市より移り30年以上たちますが、状況は変わっていません。交通網、鉄道網の整備をお願いしたい(例、地下鉄8号線)。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

○私の住んでいる町はバス、電車等がありますが、高齢者になっている現在、バスが通っていないところもあります。せめて1時間に1本でもバスがあると親戚等にも行くことができと思いますが、千葉県でもずいぶんかわっていると思います。車に乗れなくなってわかるのかな？
(女性、65歳以上、葛南地域)

○電車がある時間まで、バスの運行をするべき。(女性、40代、印旛地域)

○総武本線の本数を増やして下さい。25年間住んでいて、全く改善されず、不便で千葉市に引っ越してきました。佐倉から下りの地域の方は通勤通学、苦労しています。
(女性、50代、千葉地域)

■道路を整備する

○道路の歩道、自転車道を充実してほしい。（女性、50代、葛南地域）

○安全・安心の街づくりのために、行政の努力が認められるように思います。道路環境の整備、特に散歩等が安心して出来るような、歩道の整備を望みます。（男性、65歳以上、千葉地域）

○突然アンケート来たのでおどろきました。このアンケートで田舎の方の道路整備などに役立てて下さい。こっちの方は自転車専用道がない上に道もせまく大変危険です。

（女性、30代、長生地域）

■公園・緑地・水辺を整備する

○松戸、柏、流山など県の西側は、文化施設とか公園など立ち後れていると思います。これからの発展にともない、避難場所を高台に作って頂きたい。今現在では不安です。

（女性、65歳以上、東葛飾地域）

○この調査と関係ありませんが、近くに川があり、汚れが酷く、不法投棄も多いです。雑草も伸び放題なので、何とかしてほしい。素足で川遊びができるくらいになるとうれしい。

（女性、50代、千葉地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、142人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

○千葉県がもっとよくなるいいと思います。千葉県も発展してる場所と、そうでない場所の差が激しいので、千葉県全体が発展できるいいと思う。（女性、20代、東葛飾地域）

○直接、意見、提案、希望など話し合える機会がほしい。（女性、60～64歳、山武地域）

○若年者の考え方がどうなっているか知りたい。（男性、65歳以上、印旛地域）

○世論調査の内容が多義にわたる為、回答がかなり時間がかかり、忙しい人には負担がかかると感じました。（男性、60～64歳、山武地域）

○返信が遅くなり申し訳ございませんでした。初めてこの様な調査をいただき、様々なことを知るきっかけになると思いました。他人事ではなく、この調査の項目にあったことを、この機会に正しく調べ、知ろうと思います。ありがとうございました。（女性、40代、葛南地域）

○簡易的な調査の頻度を多くして下さい。各市町村の年代（年齢層）が高くなり、また都市部への転出も多くなるかもしれないので、情報の収集と公開に努めて下さい。

（男性、40代、君津地域）

(付) 調査票および単純集計結果

第51回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、
(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも) などと表示しています
ので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、
ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、
次の質問に進んでください。
- 3 お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内に
その内容を具体的に記入してください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
12月14日（月）までに郵便ポストにご投函ください。
※調査票は、折りに合わせて三つ折をお願いします。
- 5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、
お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

【高齢者が地域で暮らし続けるための施策について】

県では、高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要なサービスが提供される「地域包括ケアシステム」の構築促進に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムは、日常生活圏域（おおむね中学校の学区）において、在宅医療、訪問介護・看護、介護サービス、見守り・買物支援等の生活支援サービス等が必要に応じ組み合わせることにより、高齢者が要介護等の状態となっても、住み慣れた居宅、地域で暮らし続けることを目指すものです。

問 1 あなたは、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。n=1,504（○は1つ）

45.2	暮らし続けたい	29.5	どちらかといえば暮らし続けたい
19.5	どちらともいえない	1.9	どちらかといえば暮らし続けたくない
1.7	暮らし続けたくない	2.2	無回答

問 2 あなたは、介護が必要になっても現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。n=1,504（○は1つ）

18.0	暮らし続けられると思う
22.5	どちらかといえば暮らし続けられると思う
30.7	どちらともいえない
9.8	どちらかといえば暮らし続けられると思わない
9.2	暮らし続けられると思わない
7.2	わからない
2.5	無回答

問 3 あなたが、地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めることは何ですか。n=1,504（○はいくつでも）

31.8	住まいや道路、公共建物のバリアフリー化の取組
38.2	日常生活に密着したバス路線などの交通網の拡充
40.9	高齢者を見守り支える地域社会づくりの推進
19.5	健康寿命の延伸や介護予防の取組
51.6	医療と介護の連携の充実
54.3	訪問介護など在宅介護サービスの充実
42.0	配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実
42.8	特別養護老人ホームなどの介護施設の充実
26.1	認知症施策の充実
33.0	病院や診療所などの医療機関の充実
46.9	訪問診療など在宅医療サービスの充実
45.4	医療や介護に従事する人材の確保
2.8	その他（ ）
2.9	無回答

(すべての方に)

このほかに、「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」やここまでの質問(問1～問3)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【犯罪のない安全で安心なまちづくりについて】

犯罪のない安全で安心なまちづくりには、県民一人ひとりが防犯意識を持ち、自らが主体となって犯罪の起こりにくい環境づくりを進めていくことが重要です。

あなたの防犯に対する意識や取組についてお聞かせください。

問4 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。

n=1,504 (○は2つまで)

- | | | |
|------|-------------------------------------|---------|
| 90.8 | テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等（県警ホームページを除く） | |
| 33.5 | 自治会や町内会の広報（回覧板等を含む） | |
| 7.8 | 警察の広報（県警ホームページ、防犯座談会や警察官との情報交換を含む） | |
| 16.2 | 知り合い等から直接聞く | |
| 1.7 | 特に入手していない | |
| 3.0 | その他（具体的に | 2.3 無回答 |

問5 あなたが提供してほしい犯罪情報等は何ですか。

n=1,504 (○は2つまで)

- | | | |
|------|--------------------------------|---------|
| 70.1 | 身近な地域の犯罪発生状況に関する情報 | |
| 33.2 | 振り込め詐欺やひったくり、空き巣などの犯罪の手口に関する情報 | |
| 24.5 | 犯罪被害に遭わないための方法に関する情報 | |
| 9.7 | 防犯に役立つ防犯機器等に関する情報 | |
| 23.5 | 犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報 | |
| 3.5 | 特にない | |
| 1.6 | その他（具体的に | 2.9 無回答 |

問6 あなたは今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。

n=1,504 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|------------------------|---------|
| 81.1 | 家の戸締りを徹底している | |
| 6.0 | 防犯カメラ等の防犯設備を設置している | |
| 10.6 | 自転車に防犯ネット等を取り付けている | |
| 33.8 | 地域の犯罪の発生状況に注意している | |
| 13.2 | 留守にするときは、隣近所との連絡をとっている | |
| 9.6 | 特に何もしていない。わからない | |
| 3.6 | その他（具体的に | 2.5 無回答 |

問7 あなたは、自主防犯活動（防犯パトロール隊など）に参加していますか。

n=1,504（○は1つ）

6.3	参加している	43.4	参加していないが、機会があればしたい
9.9	参加していたが、現在はしていない	23.0	興味がない
13.6	その他（具体的に		）
		3.9	無回答

問8 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。

n=1,504（○は1つ）

43.6	犯罪の起こりにくい施設環境の整備
1.7	防犯に関する講習会等の開催
17.4	犯罪情報等の提供
5.2	自主防犯活動を行う際の支援
24.3	学校や通学路における児童、生徒の安全確保
4.4	その他（具体的に
	）
	3.3 無回答

（すべての方に）

このほかに、「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」やここまでの質問（問4～問8）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【道路整備について】

道路は、自動車、自転車、歩行者の通行、人や物資の輸送のための役割を持つほか、市街地の形成、災害時救援活動の支援や延焼の防止、緩衝空間、ライフラインの収容などの様々な役割を有しています。

問9 あなたは普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。

n=1,504（○は1つ）

39.3	通勤・通学	48.9	家事・買物
1.1	観光・レジャー	2.6	業務（営業・配送など）
0.4	業務（長距離の運送など）	2.0	その他（具体的に
		）	5.8 無回答

※「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みますので、その中で一番と思われるものを選んでください。

※4は営業や宅配などの近距離の業務を、5は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

問 10 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。

n = 1, 504 (○は1つ)

15.0 満足している	51.6 満足していない
30.1 どちらでもない	3.3 無回答

問 11 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思
いますか。 n = 1, 504 (○はいくつでも)

11.9 高速道路の整備（大都市圏の環状道路の整備、拠点を結ぶ道路の整備）
20.7 幹線道路の整備（隣接市などの地域間を結ぶ道路の整備）
60.6 生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）
34.0 渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）
38.7 交通事故対策（通学路の歩道設置など）
36.2 バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）
37.7 自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）
21.4 バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）
13.3 既存道路の有効活用（高速道路料金の引下げ、インターチェンジの増設など）
36.1 大雨や地震などの災害への備え（避難路の整備・橋の補強など）
22.2 維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など）
21.4 わかりやすい案内標識などの整備
17.2 道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）
14.2 大気汚染や騒音などの環境対策
7.4 カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）
1.9 その他（具体的に
2.2 無回答

(すべての方に)

このほかに、「道路整備について」やここまでの質問（問9～問11）について、ご意見
やご提案があればご自由にお書きください。

【障害者施策について】

県では、障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくりをすすめています。今後の取組の参考とするため、ご意見をお聞かせください。

問 12 あなたは、障害のある人に対する支援をしたことがありますか。(仕事やボランティア等) n=1,504 (○は1つ)

9.2 よくしている	17.0 たまにしている
27.7 ほとんどしたことがない	43.2 したことがない 2.9 無回答

問 13 あなたは、障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。 n=1,504 (○は1つ)

19.1 あると思う	43.9 少しはあると思う	34.4 ないと思う	2.6 無回答
------------	---------------	------------	---------

問 14 あなたは、障害のある人に対する差別をなくすための「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を知っていますか。 n=1,504 (○は1つ)

2.0 よく知っている	25.7 多少は知っている(聞いたことはある)
69.5 知らない	2.7 無回答

問 15 あなたは平成28年4月から施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)を知っていますか。 n=1,504 (○は1つ)

1.6 よく知っている	17.8 多少は知っている(聞いたことはある)
78.0 知らない	2.7 無回答

(すべての方に)

このほかに、「障害者施策について」やここまでの質問(問12～問15)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【地域リハビリテーションについて】

リハビリテーションには、体操等の予防的リハビリテーション、入院時に提供される急性期・回復期リハビリテーション、地域生活期における通所・訪問リハビリテーション等があります。

本県では、脳卒中や骨折等により障害が起きた患者や高齢者等が、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで途切れのない適切なリハビリテーションを受けることが出来るよう、地域リハビリテーション体制の整備推進を図っています。

問 16 あなた（または家族）は、地域や病院、施設等で、理学療法士、作業療法士または言語聴覚士などによるリハビリテーションを受けたことがありますか。（または現在受けていますか。）
n=1,504（○は1つ）

19.6 ある（受けている）	77.8 ない	2.6 無回答
----------------	---------	---------

（問 16 で「1」とお答えの方に）

問 17 あなた（または家族）は、地域での介護予防から入院中・退院後の生活まで、それぞれの段階で途切れのない適切なリハビリテーションが提供された（されている）と思いますか。
n=295（○は1つ）

25.1 そう思う	32.5 どちらかといえばそう思う
13.2 どちらともいえない	9.5 どちらかといえばそう思わない
13.9 そう思わない	4.1 わからない
	1.7 無回答

問 18 適切なリハビリテーションが提供されるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
n=1,504（○はいくつでも）

59.6 自分（または家族）のリハビリテーションについて相談できる窓口がある
13.8 リハビリテーションに関する知識を学ぶことができる講演会等がある
67.6 身近にリハビリテーションを受けることができる病院や施設がある
51.9 退院時に、退院後も適切なリハビリテーションを引き続き受けられるような案内や説明がある
30.4 歩いて通えるような身近な場所で気軽に参加できる体操教室等がある
24.7 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ専門職の人数を増やす
2.1 その他（ ）
6.0 無回答

問 19 あなたは、「地域リハビリテーション」（※別紙「地域リハビリテーション体制の概要」参照）という言葉を知っていましたか。
n=1,504（○は1つ）

10.0 言葉も意味も知っていた
28.8 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった
57.0 言葉を聞いたこともなかった
4.2 無回答

問 20 あなたは、「地域リハビリテーション」の推進は必要だと思いますか。

n=1,504 (○は1つ)

58.4	そう思う	27.5	どちらかといえばそう思う		
4.9	どちらともいえない	0.2	どちらかといえばそう思わない		
0.4	そう思わない	6.1	わからない	2.5	無回答

(すべての方に)

このほかに、「地域リハビリテーションについて」やここまでの質問（問 16～問 20）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【環境保全に関する取組について】

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいくことが必要です。

問 21 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。

n=1,504 (○はそれぞれ1つ)

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	55.9	34.9	6.8	0.9	0.1	1.5
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	62.0	26.0	7.0	2.0	0.9	2.0
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	39.6	30.8	17.7	5.9	2.9	3.2
(エ) レジ袋をもらわない	34.6	36.2	12.5	14.7	0.3	1.7
(オ) 車の急発進・急加速はしない	52.5	14.6	6.3	2.4	17.0	7.2

問 22 あなたは、普段、ご自宅や職場で「次世代自動車」を使用していますか。

※「次世代自動車」とは、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車を指します。

n = 1, 504 (○は 1 つ)

- | | | |
|------|-------------------------|---------|
| 13.2 | 使用している | |
| 51.2 | 使用していないが、機会があれば使用してみたい | |
| 8.5 | 使用したことはなく、あまり使用したいと思わない | |
| 13.3 | 使用したことはなく、今後も使用するつもりはない | |
| 8.3 | その他（具体的に | 5.5 無回答 |

問 23 あなたはこれまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。

n = 1, 504 (○は 1 つ)

- | | | |
|------|--------------------------|---------|
| 23.5 | 参加したことがある | |
| 32.2 | 参加したことはなく、機会があれば参加してみたい | |
| 26.5 | 参加したことはなく、あまり参加したいと思わない | |
| 14.4 | 参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない | |
| 1.8 | その他（具体的に | 1.7 無回答 |

問 24 あなたは、太陽光など再生可能エネルギーを利用する次の設備を自宅に設置していますか。

n = 1, 504 (○はそれぞれ 1 つ)

(ア) 太陽光発電設備

- | | | |
|------|--------------------------|---------|
| 5.1 | 設置している | |
| 28.4 | 設置していないが、今後、設置してみたい | |
| 24.3 | 設置していないし、あまり設置したいと思わない | |
| 31.4 | 設置したことはなく、今後とも設置するつもりはない | |
| 9.0 | その他（具体的に | 1.9 無回答 |

(イ) 太陽熱利用システム（太陽熱温水器など）

- | | | |
|------|--------------------------|---------|
| 2.9 | 設置している | |
| 27.7 | 設置していないが、今後、設置してみたい | |
| 24.3 | 設置していないし、あまり設置したいと思わない | |
| 33.4 | 設置したことはなく、今後とも設置するつもりはない | |
| 9.2 | その他（具体的に | 2.5 無回答 |

(すべての方に)

このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問 21～問 24）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【食育について】

県では、心身の健康の増進と豊かな人間形成のため、県民一人ひとりが食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができるよう、食育の推進に取り組んでいます。

「食育」には栄養バランスのとれた食事などを実践したり、マナーなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

問 25 あなたは「食育」に関心がありますか。

n=1,504 (○は1つ)

36.2 関心がある	34.8 どちらかといえば関心がある
15.3 どちらかといえば関心がない	5.3 関心がない
4.7 わからない	3.8 無回答

(問 25 で「1」「2」とお答えの方に) n=1,068

→ 問 26 あなたが「食育」に関心を持ったきっかけは何ですか。 (○はいくつでも)

32.1 家庭で日頃から親に教わっていたこと	11.0 学校で習ったこと
18.7 結婚したこと	36.9 親になったこと
7.4 子どもが学校等で学習したことに影響されて	25.5 食に関する事件
4.1 農林漁業体験	9.3 食に関するイベントへの参加
16.1 その他 (具体的に)	4.9 分からない 2.2 無回答

問 27 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについて知識があると思いますか。 n=1,504 (○は1つ)

10.1 十分あると思う	57.2 ある程度あると思う
25.0 あまりないと思う	4.8 全くないと思う 2.9 無回答

問 28 県で提案している「ちば型食生活食事実践ガイドブック (ゲー・パー食生活ガイドブック)」(※1 参照)、又は国が策定した「食事バランスガイド」(※2 参照)等の何らかの食生活上の指針を参考にして、食生活を送っていますか。 n=1,504 (○は1つ)

3.9 いつも参考にしている	25.1 ときどき参考にしている
37.6 ほとんど参考にしていない	29.8 食生活上の指針を知らない 3.6 無回答

※ 1 ちば型食生活食事実践ガイドブック（ゲー・パー食生活ガイドブック）：県民に健康で豊かな食生活を楽しく実践していただくため、県が作成したガイドブックで、望ましい1日分の食事をわかりやすいイラストで示したものの。概要は、別添資料を参照。

※ 2 食事バランスガイド：1日にとる食事の望ましい組み合わせや量の目安をイラストで示したもの
http://www.maff.go.jp/j/balance_guide/

問 29 家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を持つなど、食を通じたコミュニケーションをとっていますか。 n=1,504（○は1つ）

21.7 毎食している	19.8 ほとんどしている
40.6 時々している	11.6 あまりしていない
3.8 全くしていない	2.5 無回答

問 30 直近1年以内に、あなた又はあなたの家族の中で農林漁業に関する体験に参加したことがある人はいますか。 n=1,504（○は1つ）

12.2 いる	80.4 いない	4.5 わからない	3.0 無回答
---------	----------	-----------	---------

問 31 我が国では、四季折々の様々な食材に恵まれ、長い年月を経て地域と結びついた郷土料理、行事食（※参照）、配膳方法、作法などの食文化が形成されてきました。あなたが住まいの地域の郷土料理や行事食などを、家庭で何種類作ることができますか。 n=1,504（○は1つ）

9.4 7種類以上	13.7 5～6種類
24.1 3～4種類	24.8 1～2種類
24.9 作ったことがない	3.1 無回答

※ 行事食の例

正月（おせち・雑煮、七草粥等）、節分（まめ、煮染め等）、桃の節句（菱餅、桜餅、太巻寿司等）、春分（ぼた餅、しん粉団子等）、端午の節句（柏餅、草餅、砂糖餅、鯉の刺身等）、土用（うなぎ、もち等）、お盆（団子等）、十五夜（月見団子等）、秋分（おはぎ等）、冬至（かぼちゃ料理等）、大晦日（そば等）

（すべての方に）

このほかに、「食育について」やここまでの質問（問 25～問 31）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【花の消費について】

平成 26 年 12 月に「^か花きの振興に関する法律」が施行され、県では「(仮称)千葉県花き振興計画(平成 28 年度～32 年度)」を策定し、花き産業及び花きの文化の振興に努めることとしています。

そこで、今後の花きの振興にあたっての参考とするため、県民の花の消費についての意識をお聞かせください。

なお、この設問での花とは、切花、鉢花、観葉、花壇苗などをいいます。

問 32 あなたは、花をどれくらいの頻度で購入しますか。 n=1,504 (○は1つ)

5.3 毎週購入する	20.5 1ヶ月に1回以上購入する	→ 問 35 へ
49.6 1年に数回購入する	23.0 まったく購入しない	
1.5 無回答		

(問 32 で「1」「2」「3」とお答えの方に)

→ 問 33 あなたの子どもの頃の状況にもっとも近い状況は、次のうちどれですか。

n=1,135 (○は1つ)

13.3 家の室内に定期的に飾られていた	15.9 家の室内にときどき飾られていた
56.9 庭に花が咲いていた	6.6 花が身近になかった
1.9 その他 ()	5.4 無回答

→ (問 32 で「1」「2」「3」とお答えの方に)

問 34 あなたは、どのような時に花を購入しますか。 n=1,135 (○はいくつでも)

68.6 仏壇・墓前に供えるため	28.0 母の日の贈り物として
15.0 母の日以外の贈り物として	49.2 正月など季節行事に家に飾るため
30.6 4以外で家に飾るため	50.4 ガーデニングなどを行うため
3.0 その他 ()	0.6 無回答

(問 32 で「4」とお答えの方に)

問 35 あなたが花を購入しないのは、どのような理由ですか。

n=346 (○はいくつでも)

57.5 花を買う習慣がない	24.9 花の手入れが大変
17.9 花を飾る場所・育てる場所がない	16.8 花の手入れが分からない
21.7 経済的に余裕がない	24.3 花に関心がない
4.9 アレルギーがある	4.3 近くに花屋がない
9.8 その他 ()	0.6 無回答

問 36 花と緑には、様々な効果があると言われています。花のある暮らしのよいところはどのようなところだと思いますか。 n=1,504 (○はいくつでも)

74.8	心がいやされる	75.4	季節を感じることができる
52.7	家の中が華やぐ	51.7	心が豊かになる
19.9	生命力を感じる	28.7	良い香りが漂う
26.9	家の中がきれいに見える	15.5	近所の人とコミュニケーションがとれる
1.8	その他 ()	1.3	無回答

(すべての方に)

このほかに、「花の消費について」やここまでの質問(問 32～問 36)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【人権問題について】

県では、平成27年2月に「千葉県人権施策基本指針」を改定し、すべての県民の人権が尊重される元気な千葉県を目指して各種の人権啓発活動に取り組むとともに、県政のあらゆる分野で人権尊重の視点に立った施策を推進しています。

問 37 あなたは、過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じたことはありますか。

n=1,504 (○は1つ)

2.9	たびたび感じる	10.2	たまに感じることもある	→ 問 38、問 39 へ
34.0	ほとんど感じることはない	45.6	まったく感じない	
5.7	わからない	1.6	無回答	

(問 37 で「1」「2」とお答えの方に)

問 38 それはどのような内容ですか。

n=198 (○はいくつでも)

43.4	あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された	
5.6	暴力をふるわれた	
18.2	本来義務ではないことを無理にさせられたり、やりたかったことを妨げられたりした	
12.6	人権・信条・性別・社会的身分などを理由に差別された	
9.6	地域において他の住民と違う扱いを受けた	
64.1	相手の態度や発言で傷つけられた	
14.1	役所・警察や医療機関、福祉施設等で不当な扱いを受けた	
9.6	プライバシーを侵害された	
5.6	セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ、セクハラ）を受けた	
2.0	インターネットを通じ、嫌がらせを受けた	
11.6	その他（	2.5 無回答

(問 37 で「1」「2」とお答えの方に)

問 39 あなたは、そのようなとき、どのような対応をしましたか。

n = 198 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|----------------------------------|---------|
| 27.8 | 相手に抗議した | |
| 46.0 | 家族や友人、上司などに相談した | |
| 6.1 | 弁護士に相談したり、法的手続きに訴えたりした | |
| 7.6 | 警察に被害届を出したり、相談したりした | |
| 3.0 | 行政機関や人権擁護委員会に相談した | |
| 1.0 | 民間団体に相談した | |
| 0.5 | マスコミに働きかけたりチラシを作ったりするなどして、人々に訴えた | |
| 45.5 | 仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった | |
| 9.6 | その他 () | 7.1 無回答 |

問 40 千葉県では、さまざまな人権問題について、その解決のための啓発に取り組んでいます。あなたは、今後、どの問題について今まで以上に啓発すべきと思いますか。

n = 1,504 (○はいくつでも)

- | | | | |
|------|-----------------------|------|---------------|
| 30.9 | 女性の人権 | 35.7 | 子どもの人権 |
| 41.7 | 高齢者の人権 | 47.3 | 障害のある人の人権 |
| 7.9 | 被差別部落出身者の人権 | 10.8 | 外国人の人権 |
| 8.7 | H I V感染者・ハンセン病元患者等の人権 | 22.1 | 犯罪被害者とその家族の人権 |
| 28.5 | インターネットを通じた人権侵害 | 25.9 | 災害時の人権への配慮 |
| 11.6 | 性的指向、性同一性障害に関する人権 | 7.4 | 刑を終えて出所した人の人権 |
| 6.9 | ホームレスの人権 | 26.7 | 生活困窮者の人権 |
| 5.1 | 中国残留邦人等の人権 | 18.7 | 北朝鮮当局による拉致問題 |
| 1.9 | その他 () | 6.0 | 特になし |
| | | 7.4 | 無回答 |

問 41 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後、千葉県においてどのような取組が必要だと思いますか。

n = 1,504 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|--------------------------------|---------|
| 31.1 | 行政が住民の人権意識を高めるための啓発活動を推進する | |
| 32.0 | 行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う | |
| 35.1 | 家庭の教育力を向上させる | |
| 55.6 | 学校等における人権教育を充実させる | |
| 9.4 | 公民館等で行う生涯学習において人権教育を充実させる | |
| 23.7 | 企業、事業所における人権教育を充実させる | |
| 8.6 | 住民やN P O等の団体による人権尊重に向けた取組を支援する | |
| 43.1 | 社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる | |
| 19.4 | 人権侵害を受けた人に対する救済策を充実させる | |
| 24.2 | 公務員等人権と関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める | |
| 2.0 | その他 () | 7.6 無回答 |

(すべての方に)

このほかに、「人権問題について」やここまでの質問（問 37～問 41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1, 504 (○は1つ)

42.1 男性	56.1 女性	1.9 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1, 504 (○は1つ)

8.0 20～29 歳	12.4 30～39 歳	15.1 40～49 歳	
14.9 50～59 歳	9.6 60～64 歳	38.2 65 歳以上	1.7 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1, 504 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
0.7 農林漁業	0.5 農林漁業	5.9 管理職	36.5 主婦・主夫
1.8 商工サービス業	0.7 商工サービス業	17.6 専門技術・事務職	1.2 学生
2.8 自由業	0.6 自由業	12.2 販売・サービス職	10.3 その他
		5.1 労務職	4.1 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n = 1, 504 (○は1つ)

47.0 はい → F 5 へ	47.3 いいえ	5.7 無回答
-----------------	----------	---------

(F 4で「2」とお答えの方に)

→ F 4-1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。

n = 712 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.3 農林漁業	0.1 農林漁業	11.2 管理職	28.7 無職
4.8 商工サービス業	0.6 商工サービス業	22.1 専門技術・事務職	
5.9 自由業	0.3 自由業	10.7 販売・サービス職	5.2 無回答
		9.3 労務職	

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n=1,504 (○は1つ)

17.9 未婚	65.8 既婚 (配偶者有)	12.1 既婚 (配偶者離死別)	4.3 無回答
---------	----------------	------------------	---------

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。 n=1,504 (○は1つ)

13.4 1人	43.9 2人	12.1 3人	6.6 無回答
1.6 4人	0.2 5人以上	22.1 子どもはいない	>F7へ

(F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

→ F 6-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。 n=1,071 (○はいくつでも)

6.3 0～2歳の子ども	7.8 3歳以上の未就学の子ども	
17.2 小学校・中学校在学中の子ども	6.8 高校在学中の子ども	
1.8 短大・高専・各種学校・専修学校に在学中の子ども		
5.3 大学・大学院在学中の子ども	27.3 学校を終えた未婚の子ども	
15.4 結婚した子ども	21.9 同居している子どもはいない	10.3 無回答

F 7 あなたと一緒に住まいのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。 n=1,504 (○は1つ)

11.4 単身	27.1 夫婦のみ
41.3 二世帯世帯 (親と子)	9.1 三世帯世帯 (親と子と孫)
4.1 その他 (具体的に)	7.1 無回答

F 8 一緒にお住まいのご家族には 65 歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。 n=1,504 (○は1つ)

53.7 いる	40.7 いない	5.7 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。 n=1,504 (○は1つ)

64.2 持家 (一戸建)	11.9 分譲マンション
1.6 民間の借家 (一戸建)	11.6 賃貸のアパート・マンション
5.3 公社・UR都市機構・県市町村営住宅	0.6 社宅などの給与住宅
0.3 住み込み・寮・寄宿舍	0.8 その他 (具体的に)
3.7 無回答	

F10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。n=1,504 (○は1つ)

1.3 1年未満	1.3 1年～3年未満	1.9 3年～5年未満
3.3 5年～10年未満	4.5 10年～15年未満	4.5 15年～20年未満
16.5 20年～30年未満	63.2 30年以上	0.1 わからない 3.5 無回答

F11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。n=1,504 (○は1つ)

14.6 千葉市	1.5 銚子市	7.0 市川市
10.0 船橋市	0.9 館山市	1.8 木更津市
6.9 松戸市	2.7 野田市	1.9 茂原市
2.0 成田市	2.4 佐倉市	0.6 東金市
0.6 旭市	2.7 習志野市	5.5 柏市
0.6 勝浦市	4.3 市原市	2.6 流山市
3.2 八千代市	1.9 我孫子市	0.4 鴨川市
1.9 鎌ヶ谷市	1.7 君津市	1.0 富津市
2.1 浦安市	1.6 四街道市	1.2 袖ヶ浦市
0.6 八街市	1.3 印西市	1.1 白井市
1.2 富里市	0.6 南房総市	0.3 匝瑳市
1.5 香取市	1.1 山武市	0.7 いすみ市
0.6 大網白里市	- 印旛郡酒々井町	0.4 印旛郡栄町
0.5 香取郡神崎町	- 香取郡多古町	- 香取郡東庄町
0.7 山武郡九十九里町	- 山武郡芝山町	0.5 山武郡横芝光町
- 長生郡一宮町	- 長生郡睦沢町	- 長生郡長生村
0.8 長生郡白子町	- 長生郡長柄町	0.6 長生郡長南町
- 夷隅郡大多喜町	0.5 夷隅郡御宿町	- 安房郡鋸南町 3.7 無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
12月14日（月）までにポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 27 年度

(第 51 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 28 年 5 月発行

(平成 27 年 11 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
